

令和 8 年度
袋井市総合計画推進に係る市民意識調査
調査結果報告書

令和 8 年 8 月

袋井市

目次

I 調査概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象.....	1
3 調査期間.....	1
4 調査方法.....	1
5 回収状況（インターネット回答を含む）.....	1
6 郵送・インターネット回答状況.....	2
7 調査結果の表示方法.....	2
8 調査結果の概括.....	3
II 調査結果.....	5
1 あなたご自身のことについて.....	5
2 袋井市全般について.....	8
3 健康状態（からだところ）・食生活・生活習慣等について.....	20
4 性的マイノリティ（LGBTQ など性的少数者）について.....	46
5 運動習慣について.....	48
6 防災対策について.....	52
7 人権・男女共同参画について.....	58
8 環境意識について.....	62
9 市のデジタル化について.....	68
10 文化芸術を活かしたまちづくりについて.....	86
11 袋井市のまちづくりについて.....	93
III 資料（調査票）.....	97

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、市民の生活における意識や暮らしの状況などを聞き、袋井市の総合計画(まちづくり)の進み具合を測る指標とするとともに、今後の取り組みについて検討する基礎資料として活用するために実施いたしました。

2 調査対象

市内在住の18歳以上の方3,000人を無作為抽出

3 調査期間

令和8年5月15日～令和8年6月5日

4 調査方法

- ・ 郵送により調査票を配布
- ・ 郵送による回答及びインターネットによる回答

5 回収状況（インターネット回答を含む）

- ・ 配布数 3,000件
- ・ 有効回収数 1,418件（回収率 47.3%）
うち郵送822件（58.0%）、インターネット596件（42.0%）

6 郵送・インターネット回答状況

回答者の性別・年代		郵送		インターネット	
		件数	割合	件数	割合
全 体		822件	100.0%	596件	100.0%
男 性		313件	38.1%	301件	50.5%
	10歳代	1件	0.1%	5件	0.8%
	20歳代	3件	0.4%	34件	5.7%
	30歳代	16件	1.9%	59件	9.9%
	40歳代	22件	2.7%	73件	12.2%
	50歳代	38件	4.6%	64件	10.7%
	60歳代	77件	9.4%	45件	7.6%
	70歳以上	155件	18.9%	21件	3.5%
	年齢無回答	1件	0.1%	0件	0.0%
	女 性	452件	55.0%	283件	47.5%
	10歳代	4件	0.5%	8件	1.3%
	20歳代	13件	1.6%	36件	6.0%
	30歳代	34件	4.1%	62件	10.4%
	40歳代	30件	3.6%	72件	12.1%
	50歳代	63件	7.7%	45件	7.6%
	60歳代	101件	12.3%	38件	6.4%
	70歳以上	205件	24.9%	22件	3.7%
	年齢無回答	2件	0.2%	0件	0.0%
	回答しない・無回答	57件	6.9%	12件	2.0%
	10歳代	0件	0.0%	0件	0.0%
	20歳代	1件	0.1%	2件	0.3%
	30歳代	3件	0.4%	3件	0.5%
	40歳代	2件	0.2%	4件	0.7%
	50歳代	5件	0.6%	1件	0.2%
	60歳代	2件	0.2%	1件	0.2%
	70歳以上	16件	1.9%	1件	0.2%
	年齢無回答	28件	3.4%	0件	0.0%

7 調査結果の表示方法

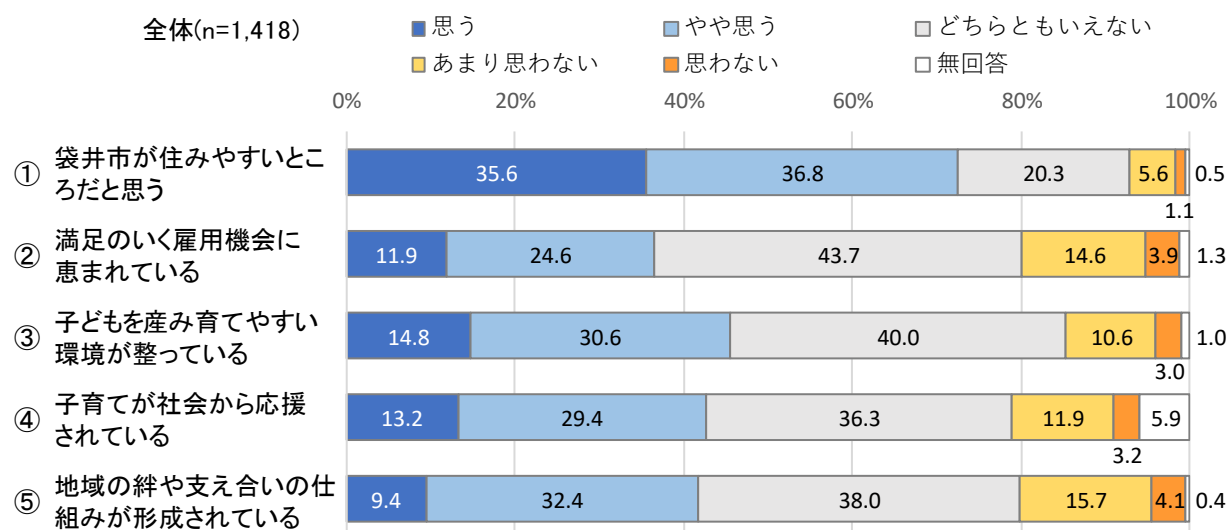
- ・ グラフに表示されているn値は有効回答数です。
- ・ 集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、内訳の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

8 調査結果の概括

調査結果から一部を抜粋し、全体の傾向をまとめました。

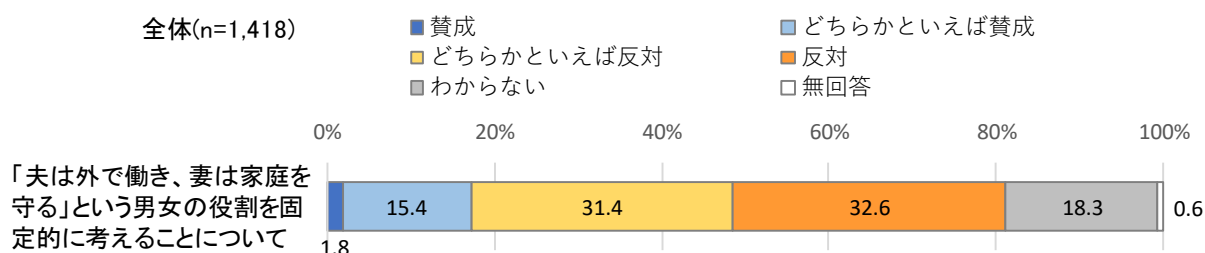
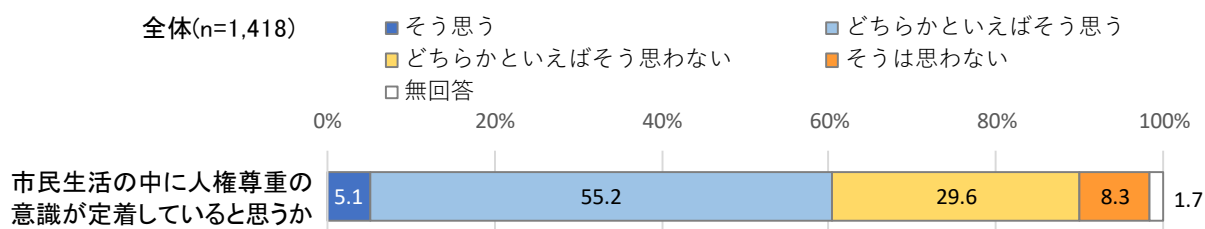
【袋井市全般について】

- ① 住みやすいところだと思うかについては、「思う」および「やや思う」が合わせて7割超となっており、特に「思う」が3割超と①～⑤の設問中では多くなっています。
- ② 雇用の機会、③ 子育て環境、④ 子育て応援、⑤ 地域の支え合いについては、「思う」および「やや思う」が合わせて4割前後となっています。
- 住みやすいまちとして認識されているものの、個々の要件について掘り下げると不満に思う点も見受けられます。



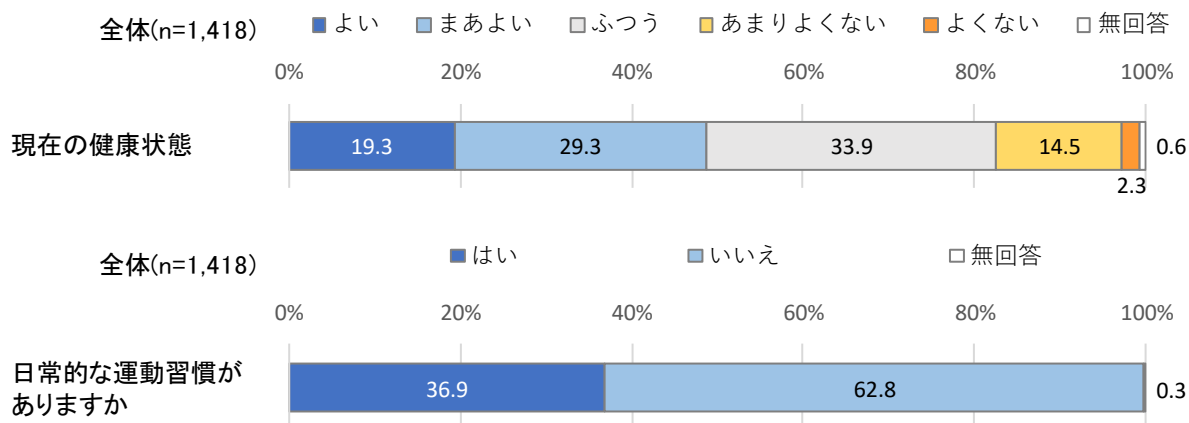
【人権・男女共同参画について】

- 人権尊重の意識の定着については、「そう思う」および「どちらかといえばそう思う」が合わせて6割を占める一方、「どちらかといえばそう思わない」および「そうは思わない」が合わせて4割近くであり、引き続き人権意識の定着が必要です。
- 男女の役割を固定的に考えることについては「どちらかといえば反対」および「反対」が合わせて6割超となっています。

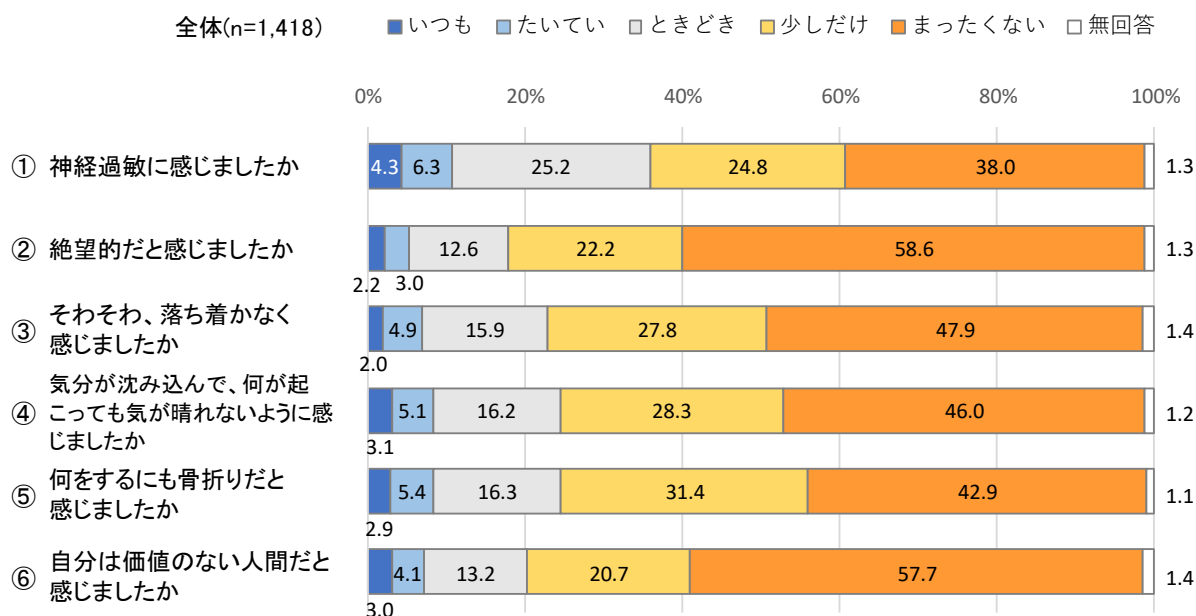


【健康状態（からだところ）、運動習慣について】

- ・ 現在の健康状態は、「よい」と「まあよい」で5割近く、「ふつう」が3割超、「あまりよくない」と「よくない」で2割近くとなっています。
- ・ 日常的な運動習慣がある人は4割近くとなっています。健康増進を図る上でも、運動習慣の定着が必要です。



- ・ 過去1か月の状態について、全設問で「まったくない」が最も多くなっています。②絶望的、⑥自分は価値がないと感じたかについては「まったくない」が6割近くと多く、①神経過敏、③落ち着かない、④気が晴れない、⑤骨折りだと感じたかについては4割前後となっています。
- ・ 各設問において「いつも」や「たいてい」の割合は多くありませんが、複数の設問にわたって「いつも」や「たいてい」を選択している場合には、深刻な状態にあることが予想されるため、改善が必要です。

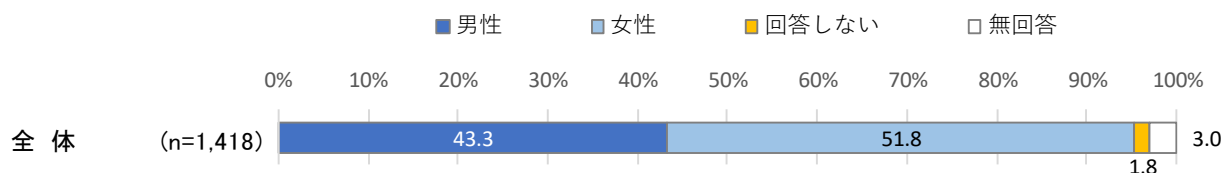


II 調査結果

1 あなたご自身のことについて

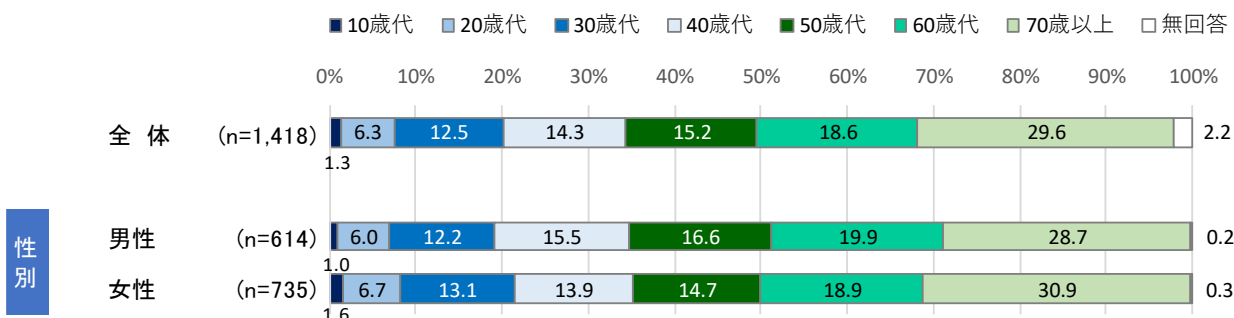
問 1 - 1 性別

性別では、「男性」43.3%、「女性」51.8%となっています。



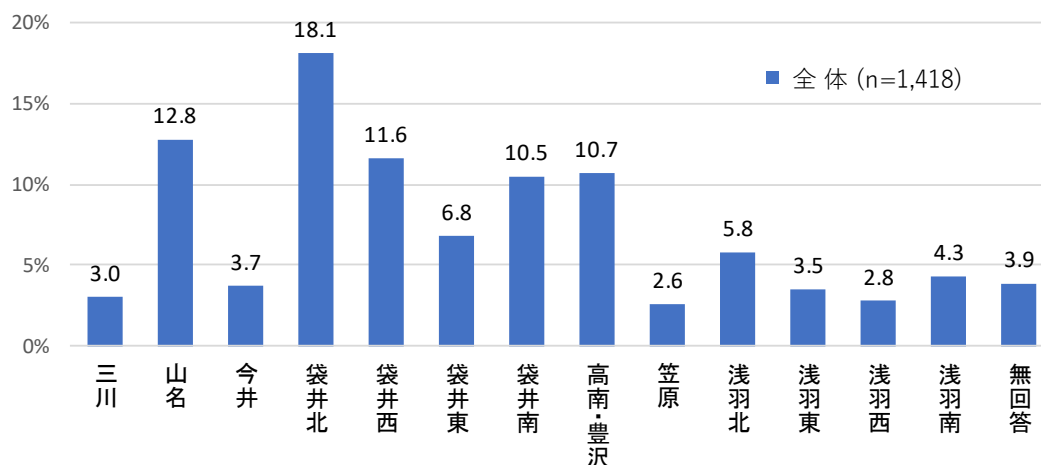
問 1 - 2 年齢

年齢では、「70歳以上」29.6%が最も多く、以下「60歳代」18.6%、「50歳代」15.2%、「40歳代」14.3%、「30歳代」12.5%となっています。



問 1 - 3 居住地区

居住地区では、「袋井北」18.1%が最も多く、以下「山名」12.8%、「袋井西」11.6%、「高南・豊沢」10.7%、「袋井南」10.5%となっています。

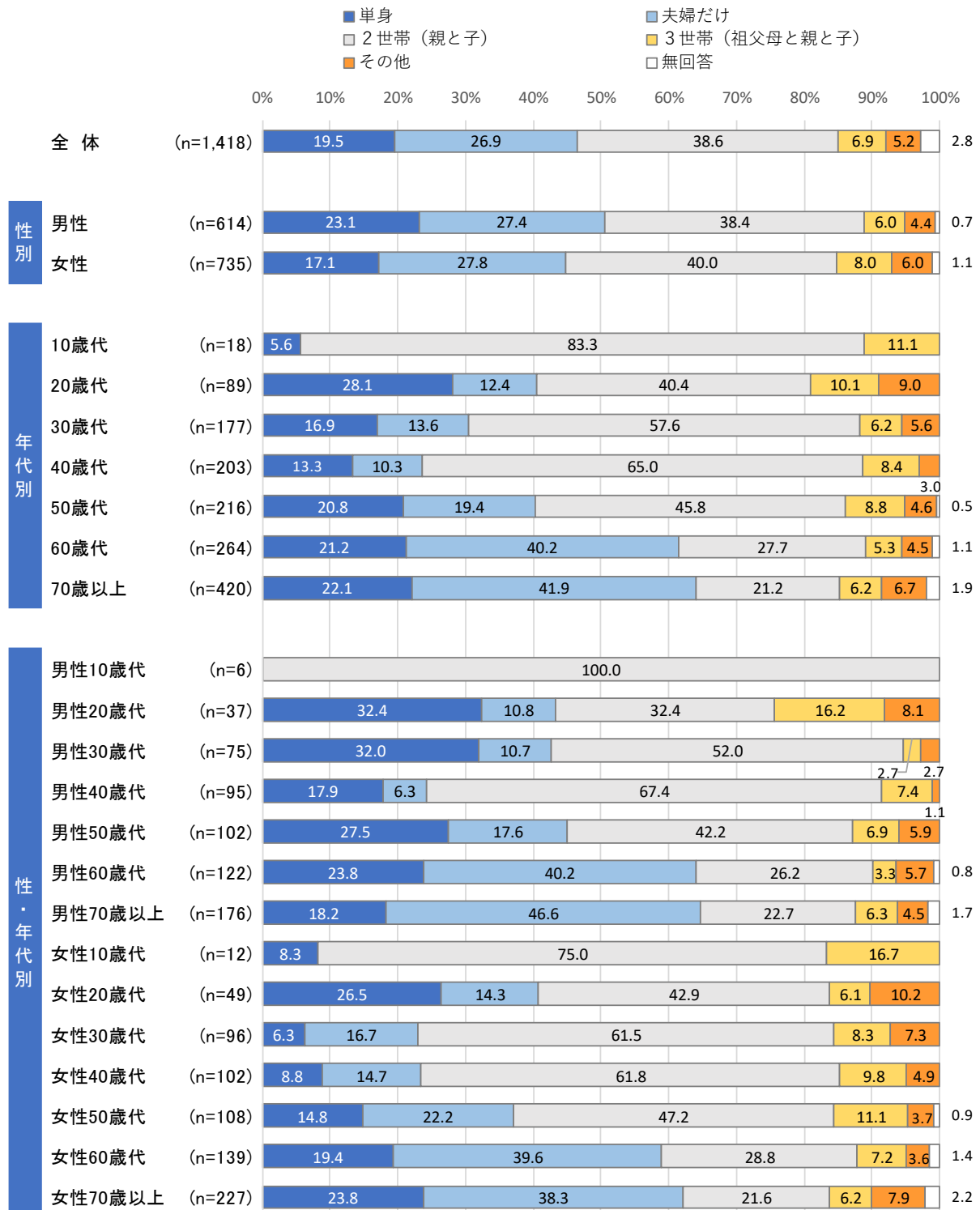


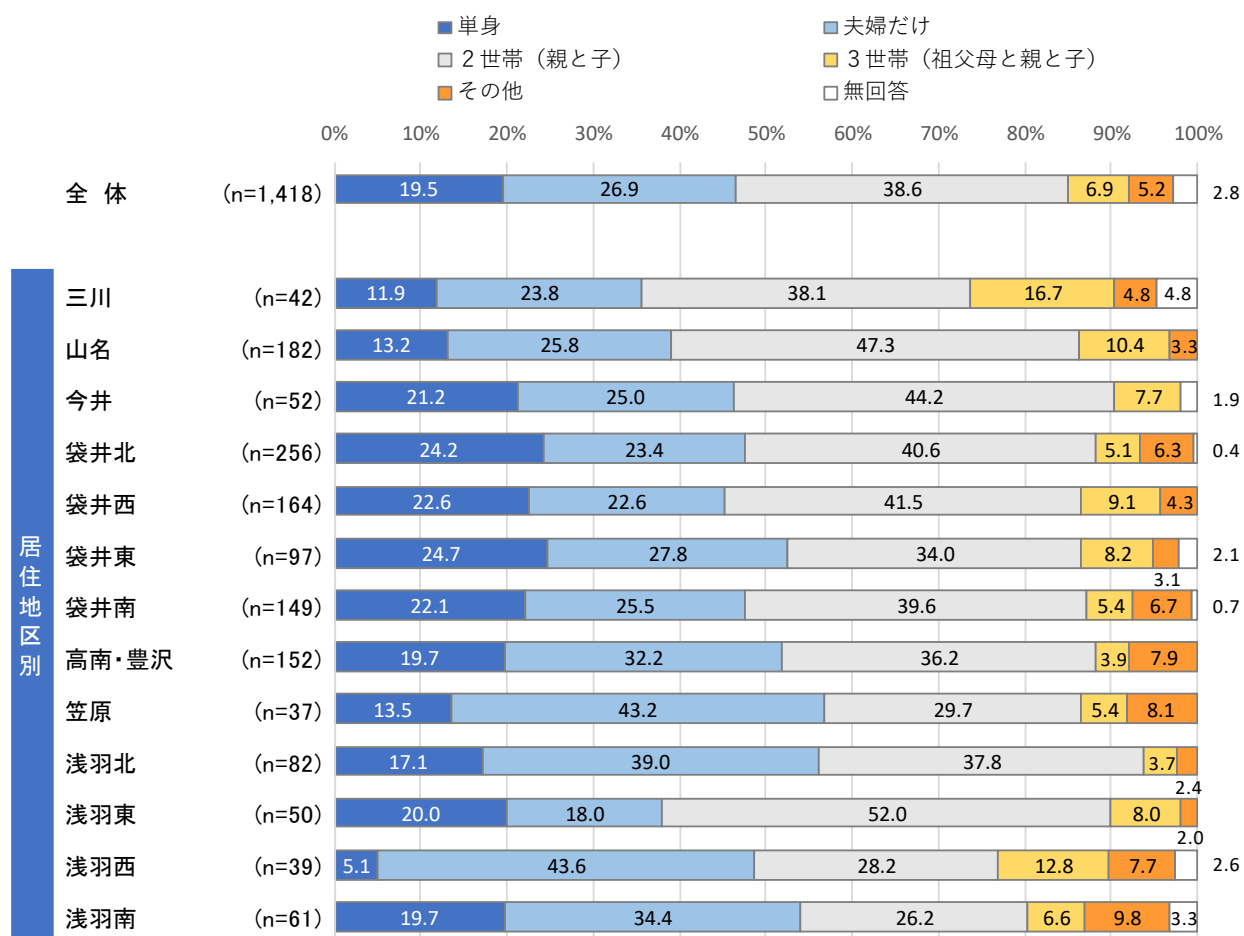
問 1 - 4 家族構成

家族構成では、「2世帯（親と子）」38.6%が最も多く、以下「夫婦だけ」26.9%、「単身」19.5%、「3世帯（祖父母と親と子）」6.9%となっています。

年代別でみると、10歳代、30歳代および40歳代で「2世帯（親と子）」が全体と比較して多くなっています。60歳代以上は「夫婦だけ」が4割超と多くなっています。

性・年代別でみると、男女共に20歳代、男性30歳代および50歳代は「単身」が全体と比較して多く、3割前後を占めています。男性30歳代、および女性10歳代は「3世帯（祖父母と親と子）」が2割近くと多くなっています。





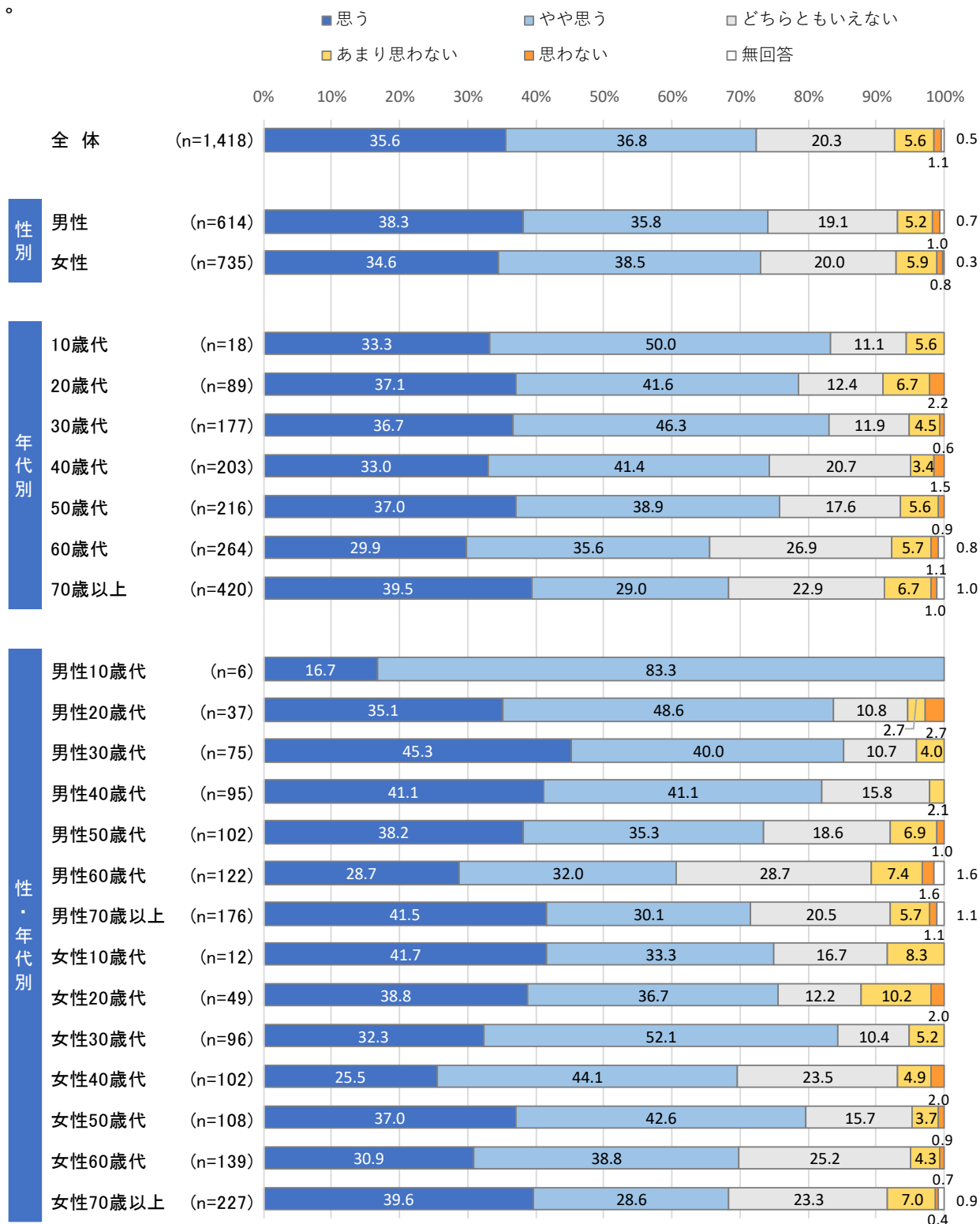
2 袋井市全般について

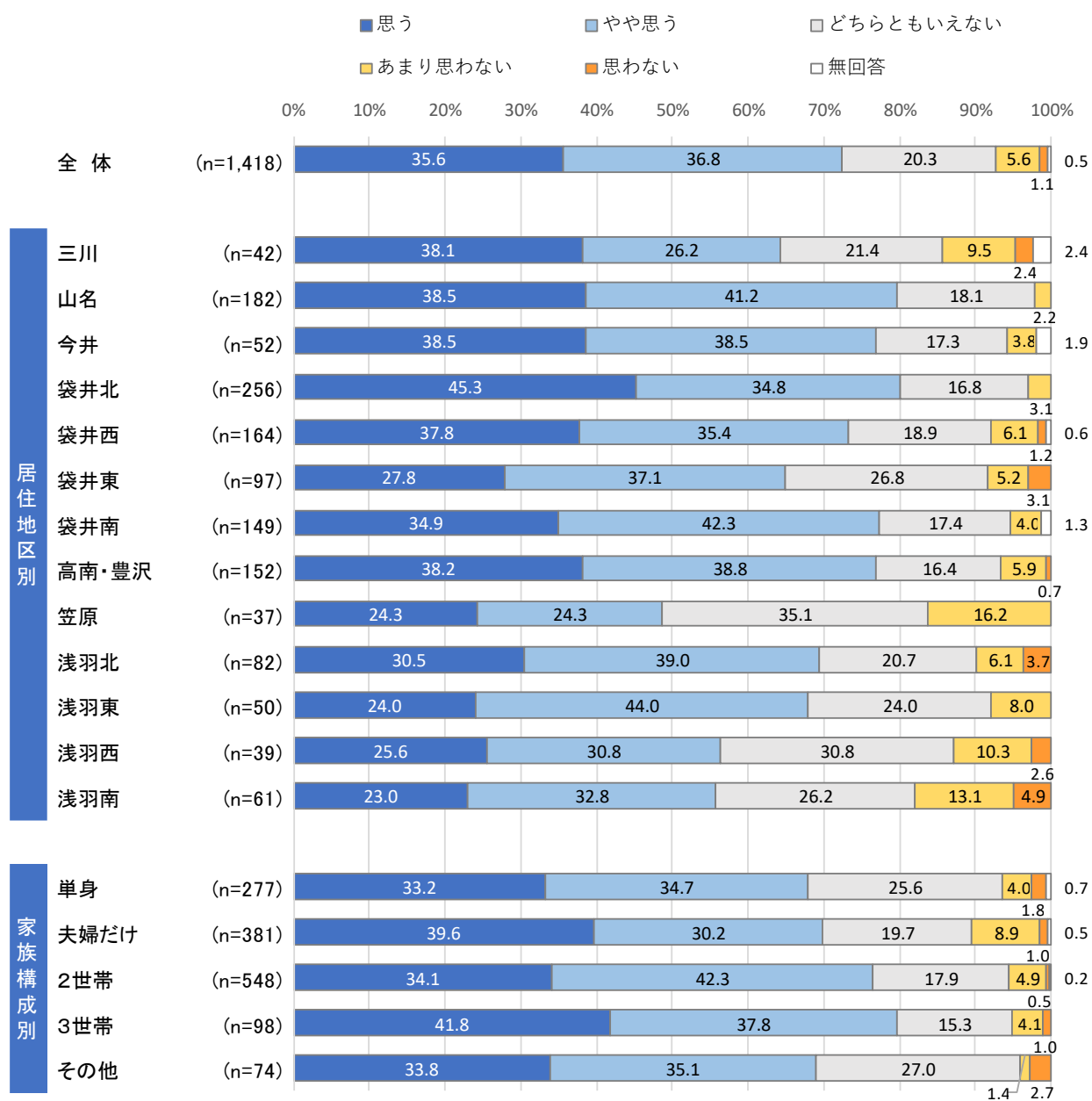
問1 袋井市が住みやすいところだと思いますか。

袋井市が住みやすいところだと思うかについては、「やや思う」36.8%が最も多く、以下「思う」35.6%、「どちらともいえない」20.3%、「あまり思わない」5.6%、「思わない」1.1%となっています。

年代別でみると、10歳代および30歳代は「思う」および「やや思う」が合わせて8割超と多くなっています。

性・年代別でみると男性30歳代、40歳代、70歳以上および女性10歳代で「思う」が4割超と多くなっています。



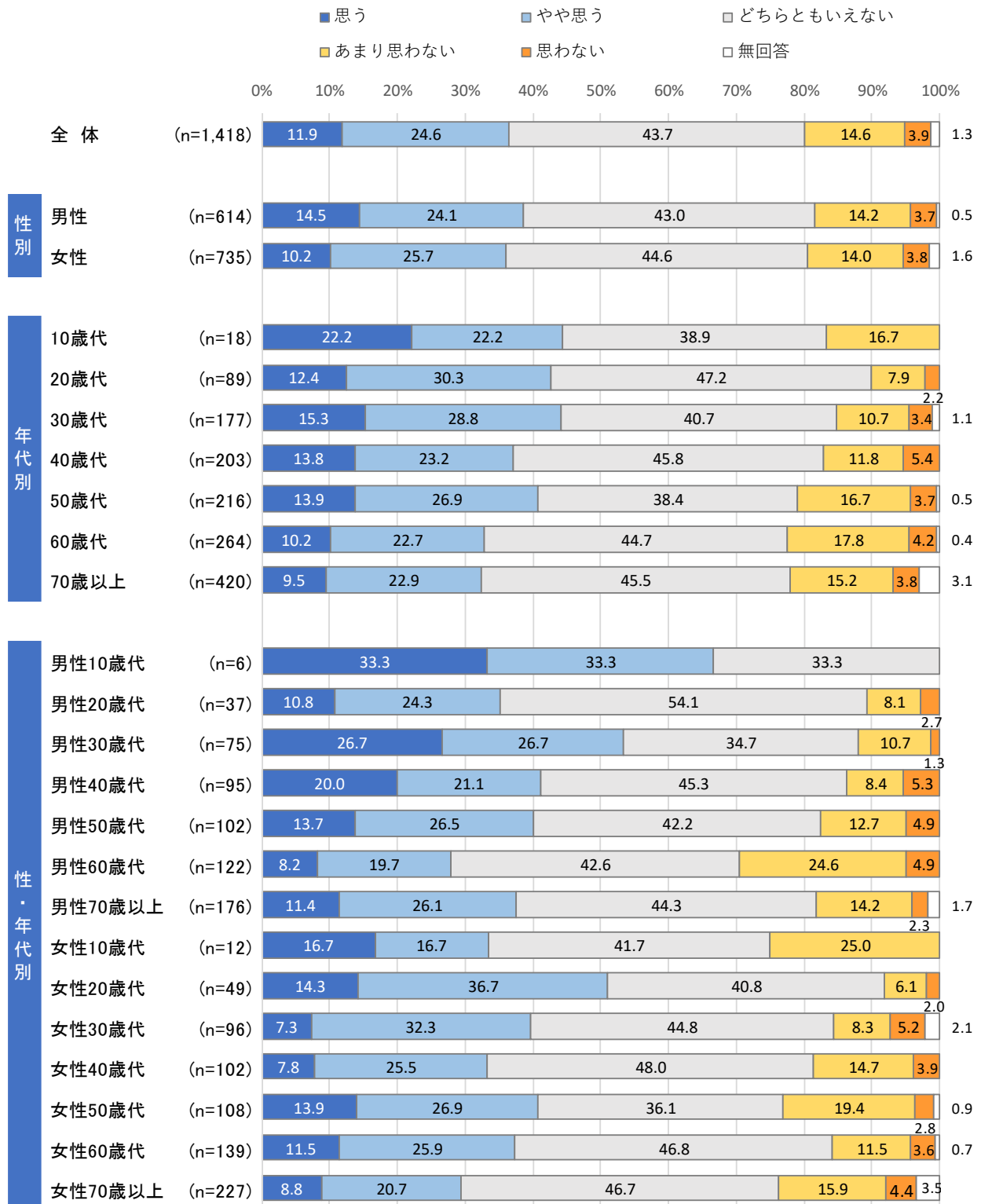


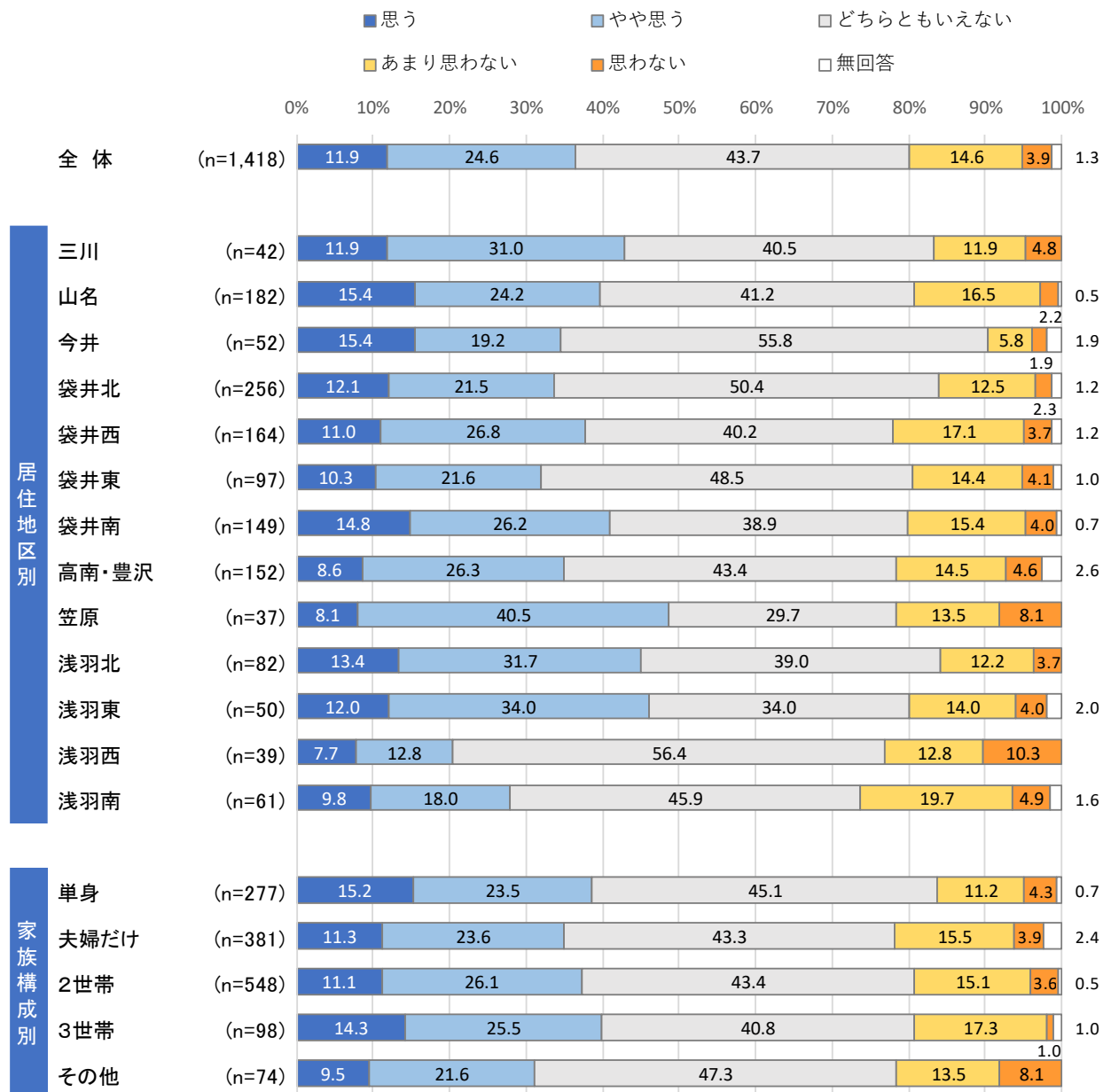
問2 満足のいく雇用機会に恵まれていると思いますか。

満足のいく雇用機会に恵まれていると思うかについては、「どちらともいえない」43.7%が最も多く、以下「やや思う」24.6%、「あまり思わない」14.6%、「思う」11.9%、「思わない」3.9%となっています。

年代別でみると30歳代以下および50歳代は「思う」および「やや思う」が4割超と多くなっています。一方、50歳代および60歳代は「思わない」および「あまり思わない」が2割超とやや多くなっています。

性・年代別でみると、男性10歳代、30歳代および40歳代は「思う」が2割超となっており、女性より男性の方が雇用機会があると実感しているといえます。



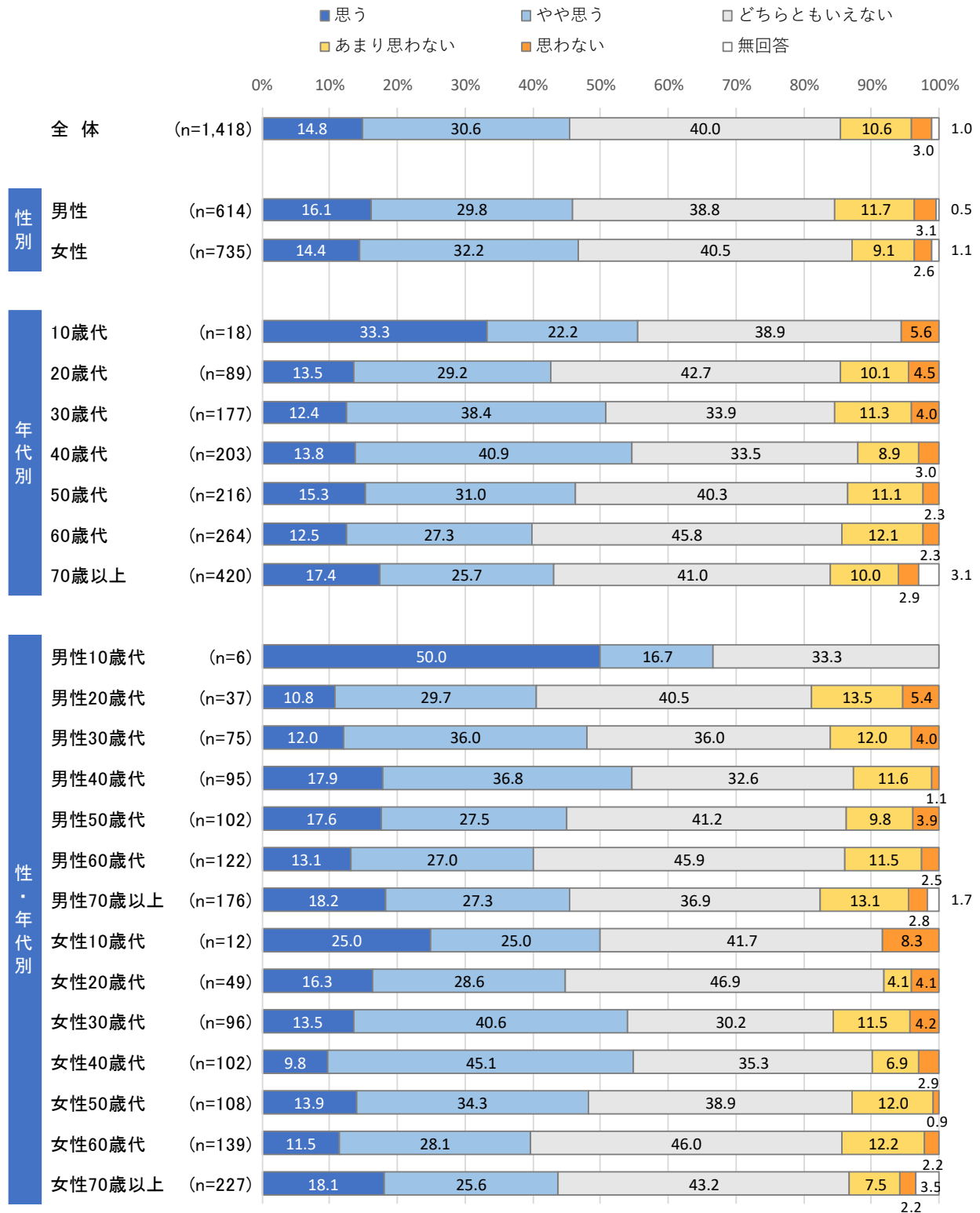


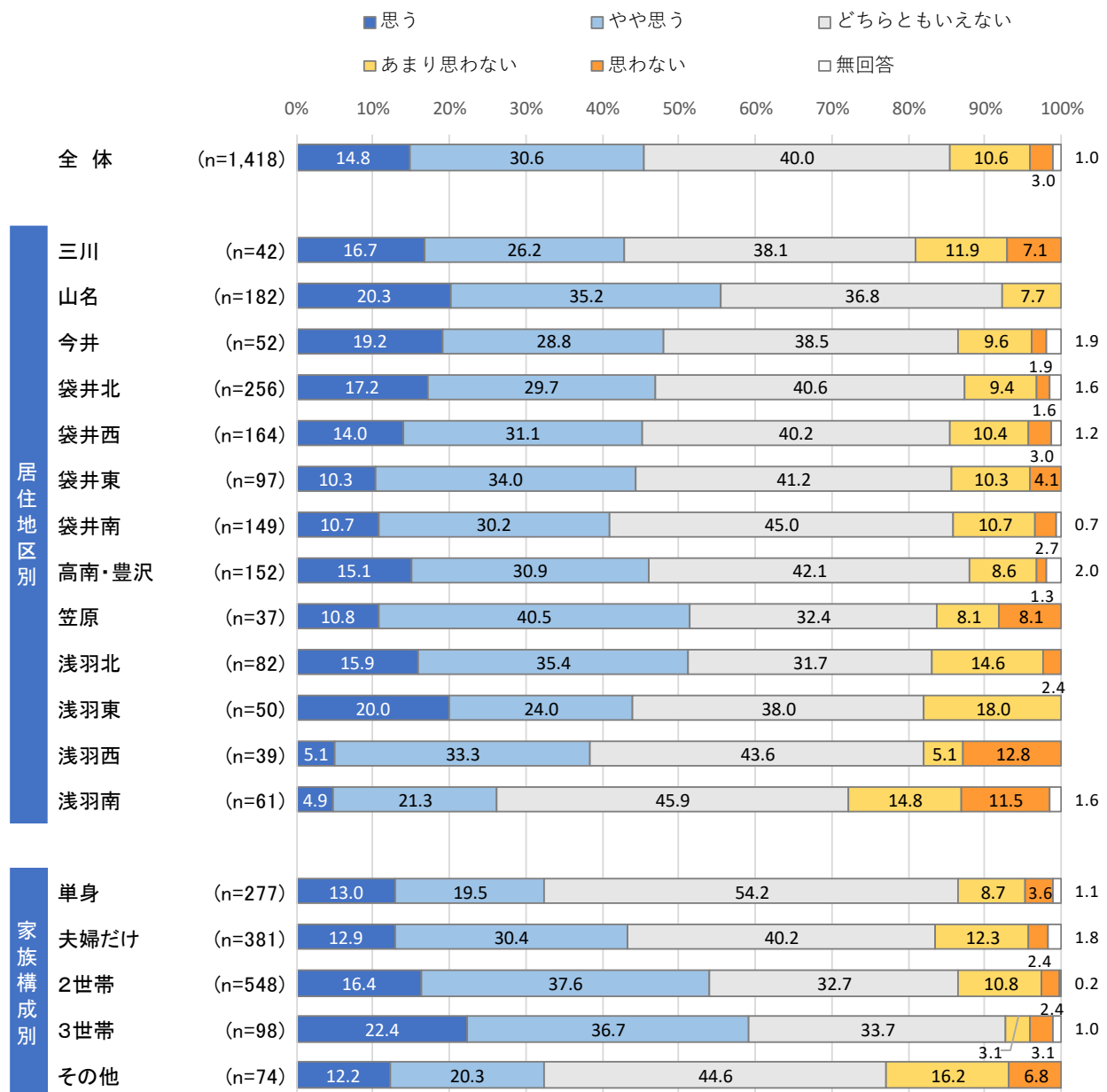
問3 子どもを産み育てやすい環境が整っていると思いますか。

子どもを産み育てやすい環境が整っていると思うかについては、「どちらともいえない」40.0%が最も多く、以下「やや思う」30.6%、「思う」14.8%、「あまり思わない」10.6%、「思わない」3.0%となっています。

年代別でみると、10歳代、30歳代および40歳代は「思う」および「やや思う」が合わせて5割超と多くなっています。

性・年代別でみると、男女共に10歳代は「思う」が全体と比較して多く、一方、女性40歳代は「思う」が1割未満と少なくなっています。



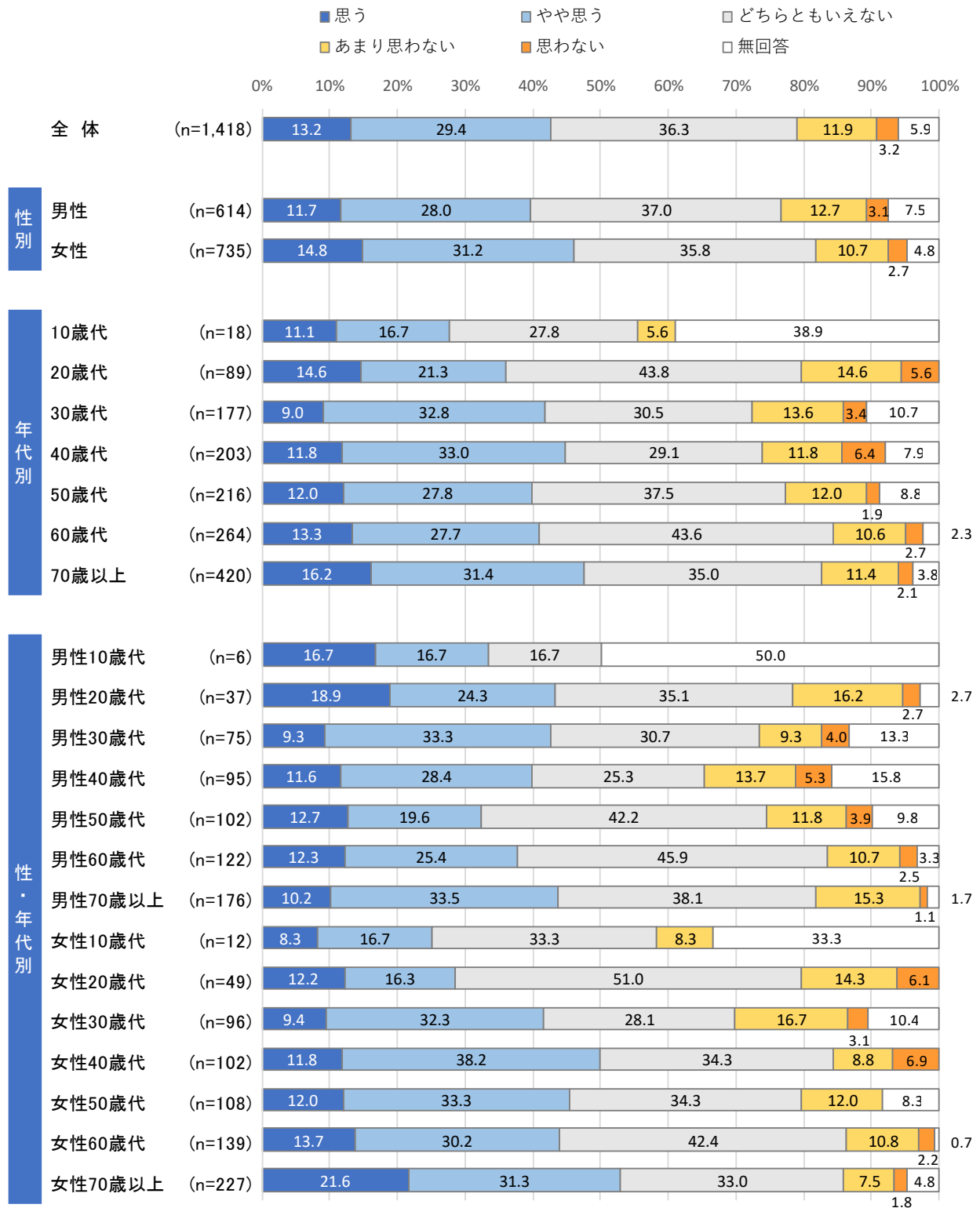


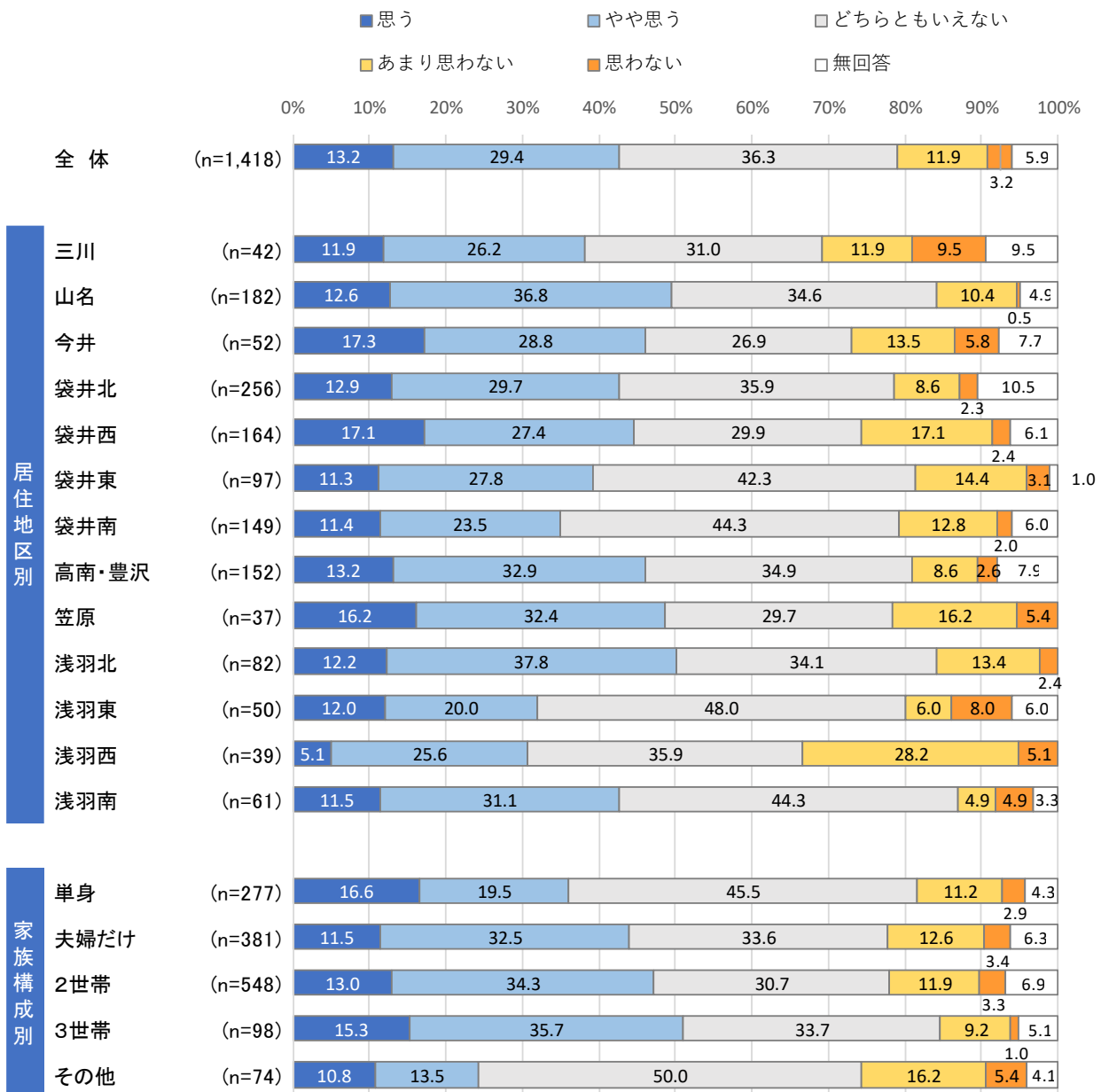
問4 子育てが社会から応援されていると思いますか。

子育てが社会から応援されていると思うかについては、「どちらともいえない」36.3%が最も多く、以下「やや思う」29.4%、「思う」13.2%、「あまり思わない」11.9%、「思わない」3.2%となっています。

年代別でみると、70歳以上は「思う」および「やや思う」が合わせて5割近くと多くなっています。

性・年代別でみると、女性40歳代および女性70歳以上は「思う」および「やや思う」が合わせて5割超と多くなっています。一方、女性20歳代は「思わない」および「あまり思わない」が合わせて2割と多くなっています。



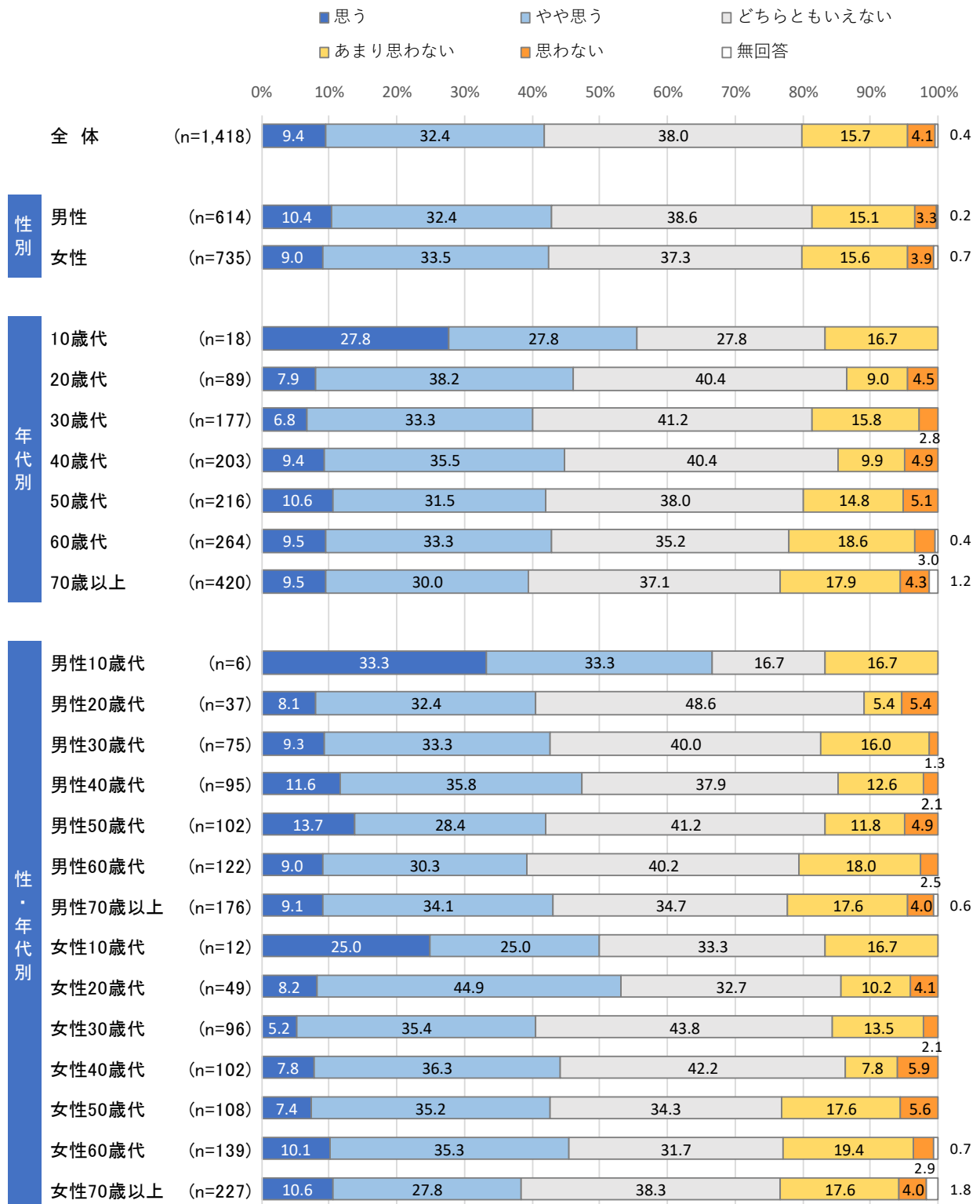


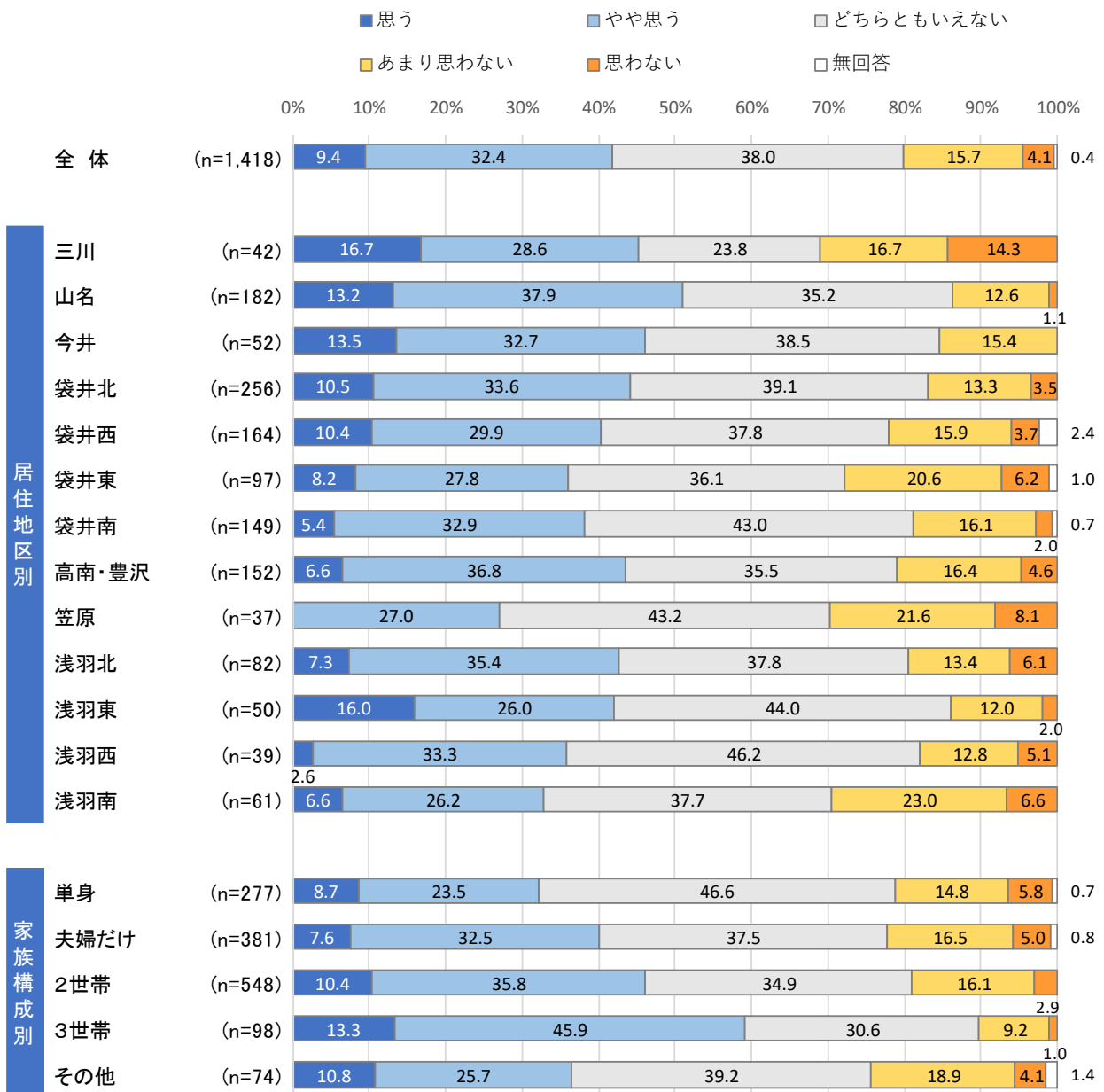
問5 地域の絆や支え合いの仕組みが形成されていると思いますか。

地域の絆や支え合いの仕組みが形成されていると思うかについては、「どちらともいえない」38.0%が最も多く、以下「やや思う」32.4%、「あまり思わない」15.7%、「思う」9.4%、「思わない」4.1%となっています。

年代別でみると、10歳代および50歳代は「思う」が全体と比較してやや多くなっています。

性・年代別でみると、男女共に10歳代および女性20歳代は「思う」および「やや思う」が合わせて5割超と多くなっています。



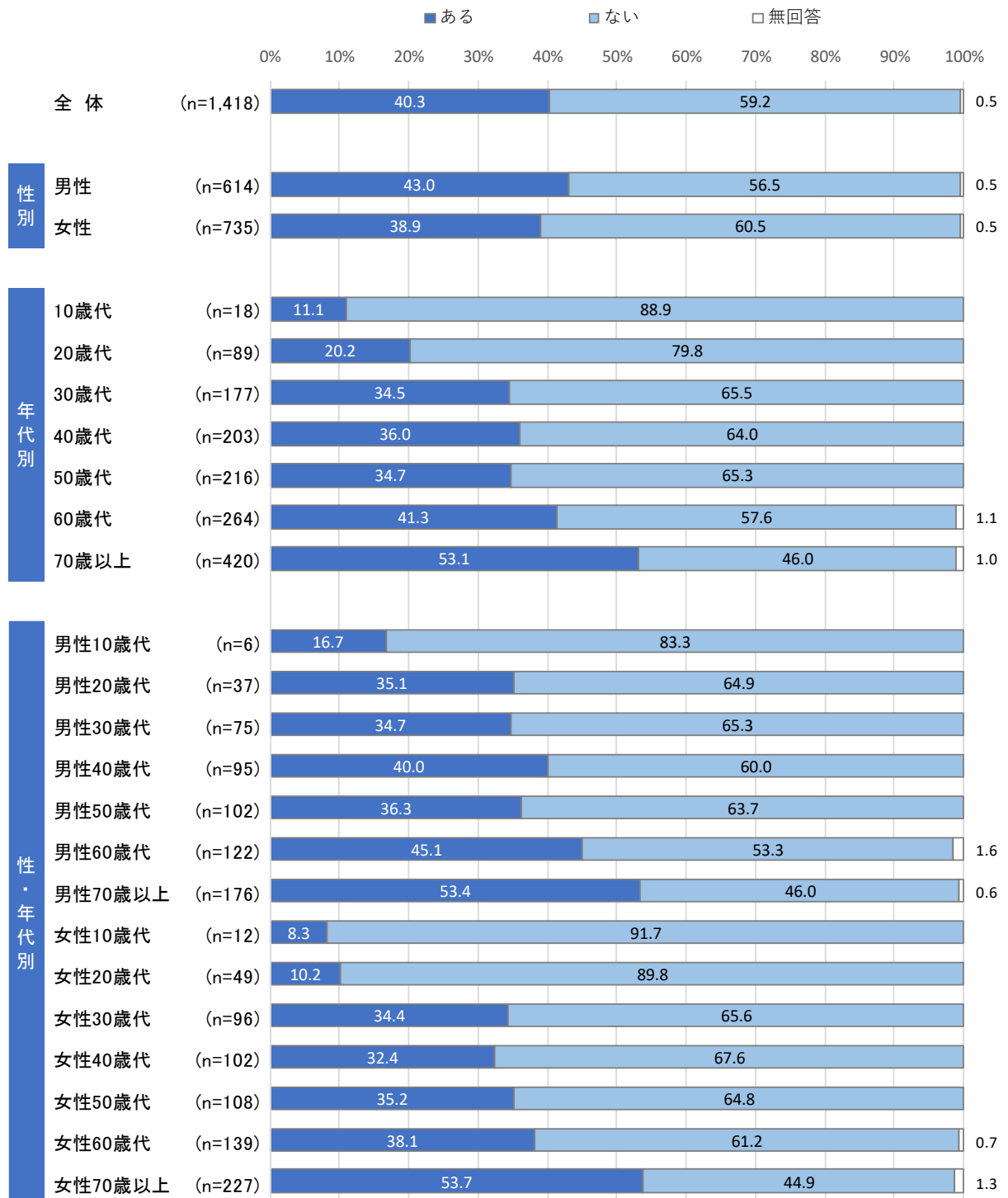


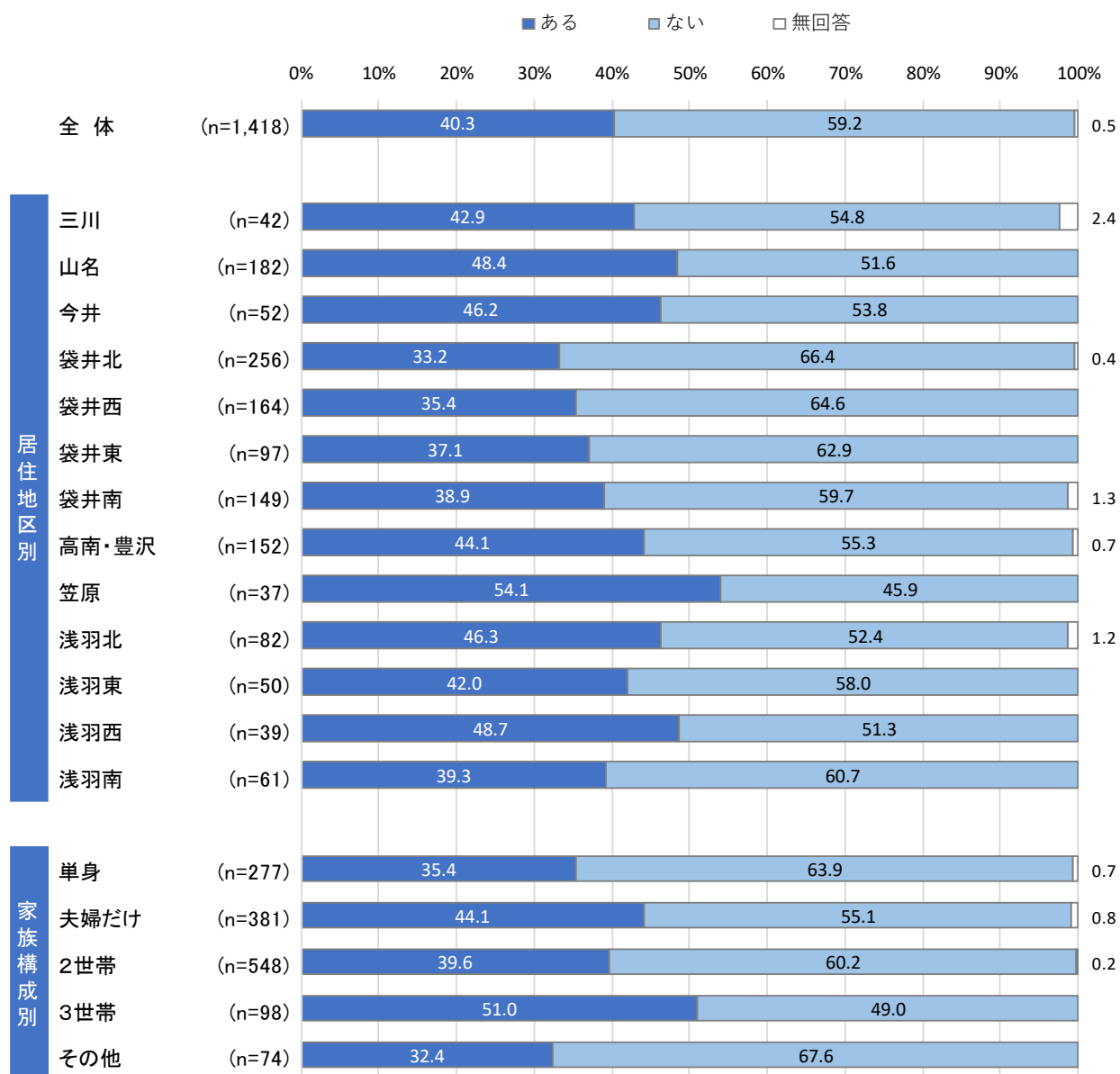
問6 仕事や家庭以外に参加しているコミュニティ（人の集まり）はありますか。

仕事や家庭以外に参加しているコミュニティ（人の集まり）の有無については、「ない」59.2%、「ある」40.3%となっています。

年代別でみると、70歳以上は「ある」が5割超と全体と比較して多くなっています。一方、20歳代以下は「ない」が8割前後と多くなっています。

性・年代別でみると、60歳代以下では女性より男性の方が「ある」が多くなっています。女性20歳代以下は「ある」が1割前後と少なくなっています。





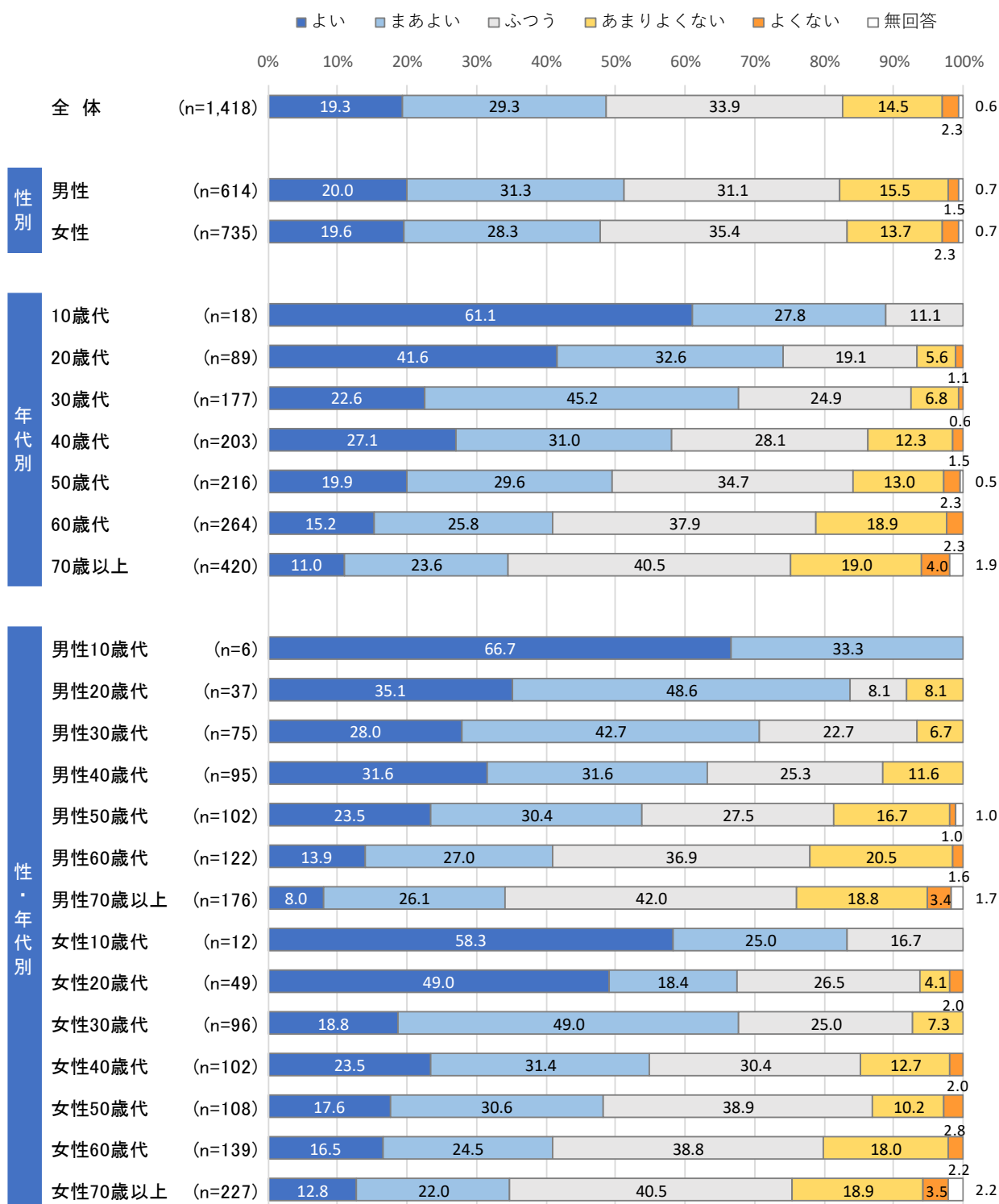
3 健康状態（からだところろ）・食生活・生活習慣等について

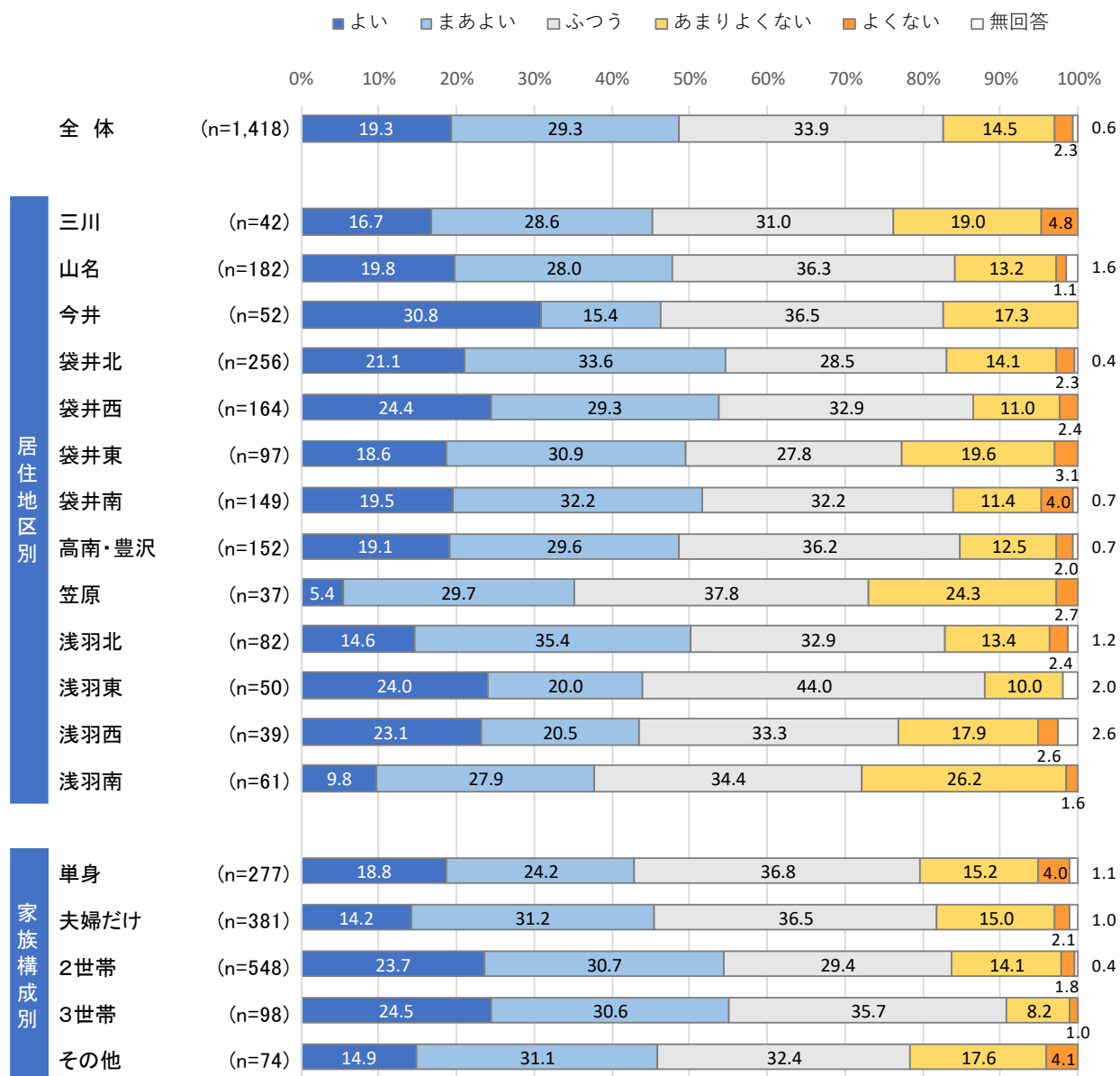
問7 あなたの現在の健康状態はいかがですか。

現在の健康状態については、「ふつう」33.9%が最も多く、以下「まあよい」29.3%、「よい」19.3%、「あまりよくない」14.5%、「よくない」2.3%となっています。

年代別でみると、年代が上がるほど「よい」および「まあよい」を合わせた割合が少なくなる傾向にあり、50歳代以上では「よい」が2割未満となっています。

性・年代別でみると、男女共に70歳以上は「よい」および「まあよい」が合わせて4割未満と少なくなっています。





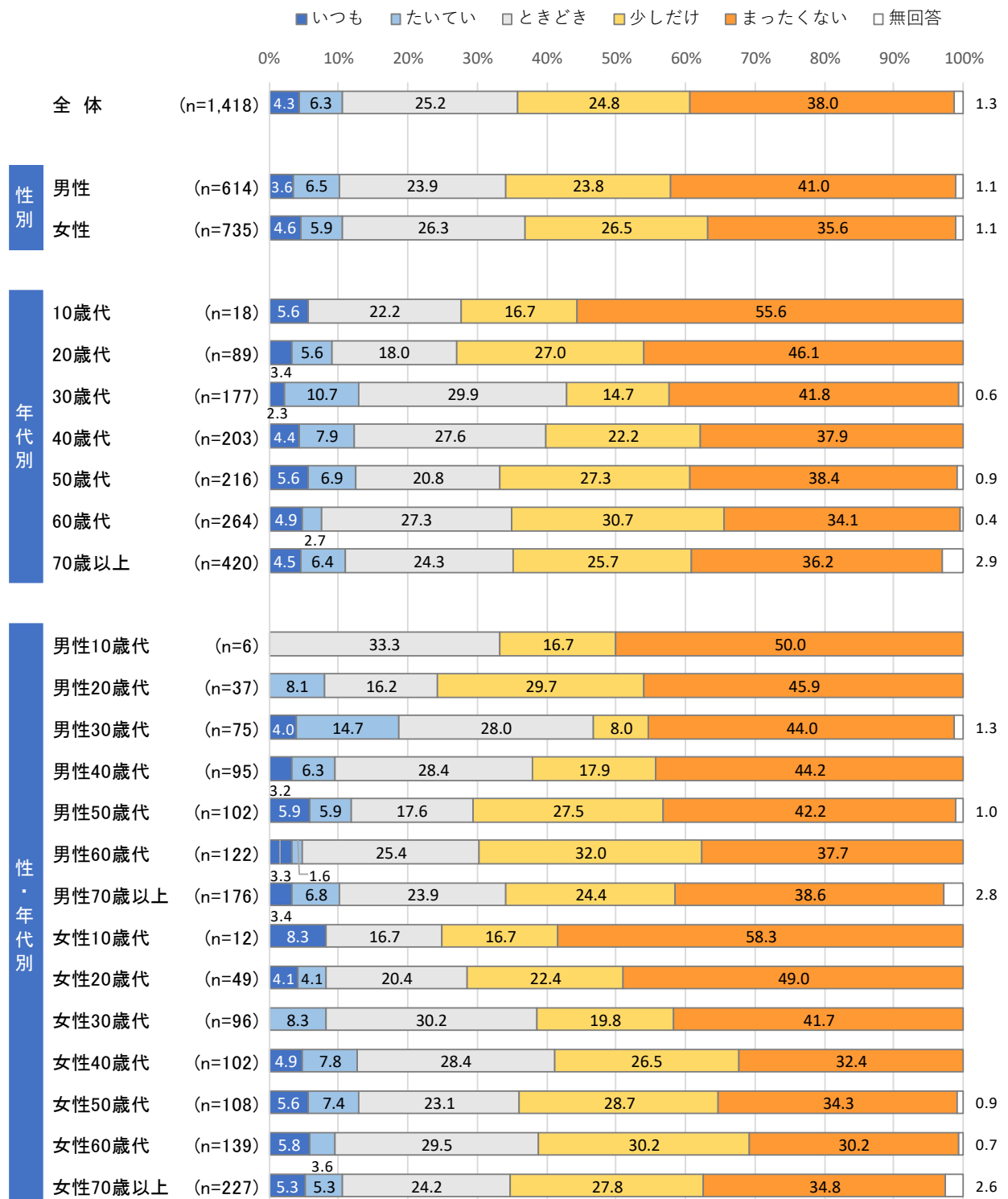
問8 次の（ア）から（カ）の質問について、過去1か月の間はどのようなでしたか。

（ア）神経過敏に感じましたか。

神経過敏に感じたかについては、「まったくない」38.0%が最も多く、以下「ときどき」25.2%、「少しだけ」24.8%、「たいてい」6.3%、「いつも」4.3%となっています。

年代別でみると、30歳代以下は「まったくない」が4割超と全体と比較して多くなっています。

性・年代別でみると、男性30歳代は「たいてい」が1割超と多くなっています。

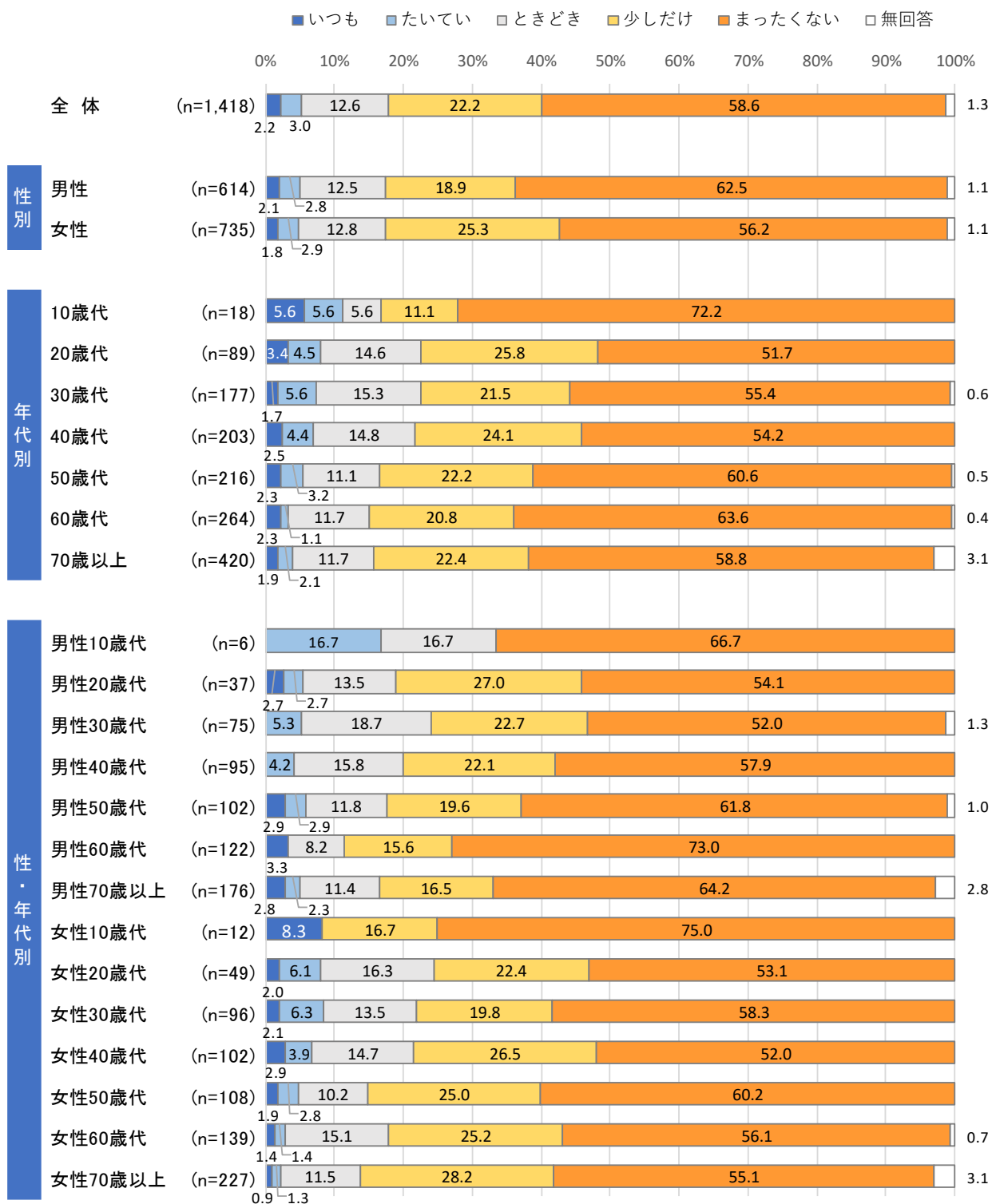


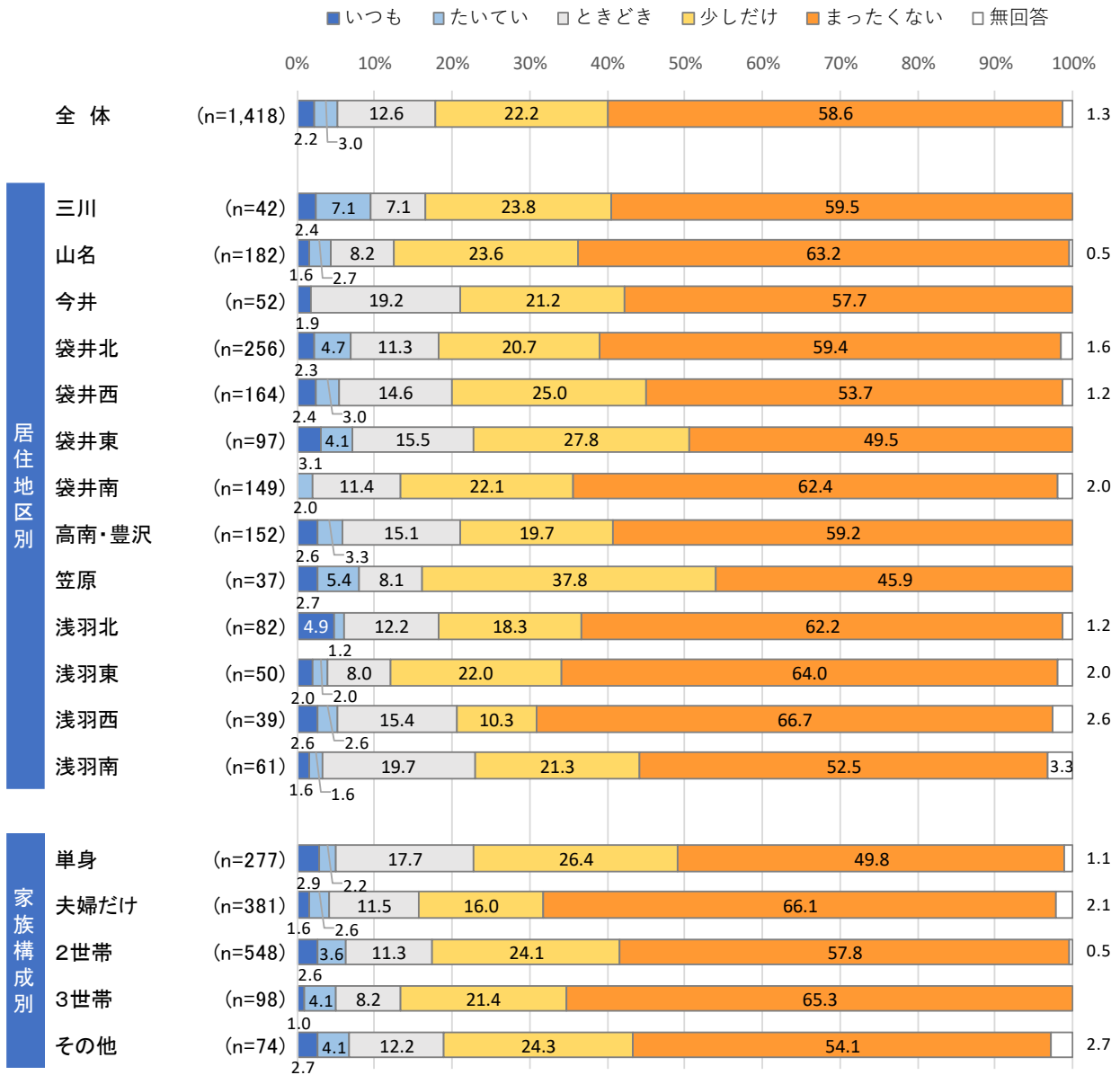
(イ) 絶望的だと感じましたか。

絶望的だと感じたかについては、「まったくない」58.6%が最も多く、以下「少しだけ」22.2%、「ときどき」12.6%、「たいてい」3.0%、「いつも」2.2%となっています。

年代別でみると、10歳代、50歳代および60歳代は「まったくない」が6割超と全体と比較して多くなっています。

性・年代別でみると、女性10歳代で「いつも」が1割近くと多くなっています。一方、男性60歳代および女性10歳代は「まったくない」が7割超と多くなっています。



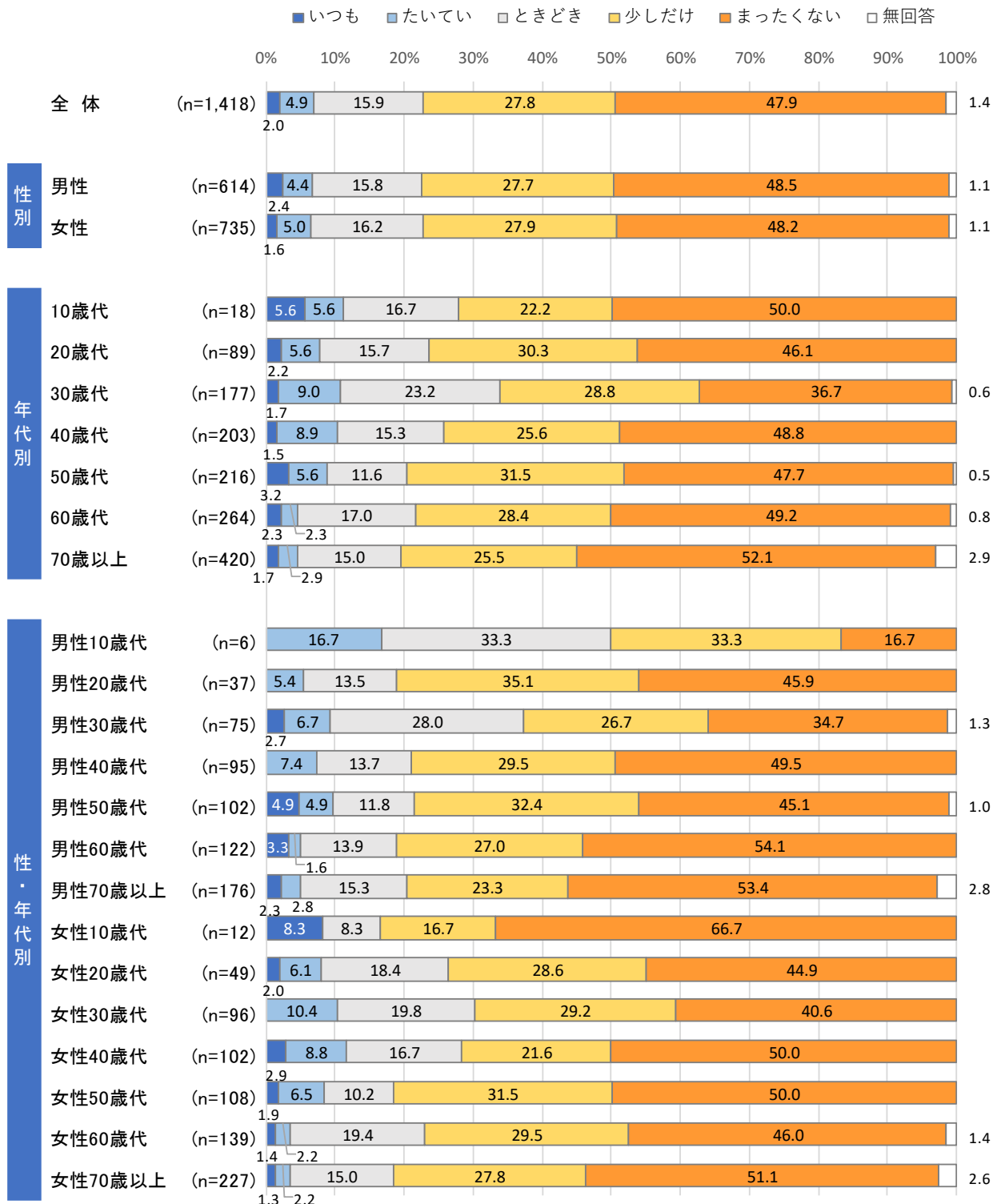


(ウ) それぞれ、落ち着かなく感じましたか。

それぞれ、落ち着かなく感じたかについては、「まったくない」47.9%が最も多く、以下「少しだけ」27.8%、「ときどき」15.9%、「たいてい」4.9%、「いつも」2.0%となっています。

年代別でみると、30歳代は「まったくない」が4割未満と少なくなっています。

性・年代別でみると、男性10歳代および女性30歳代は「たいてい」が1割超と多くなっています。一方、男性60歳以上、女性10歳代および女性70歳以上は「まったくない」が5割超と多くなっています。

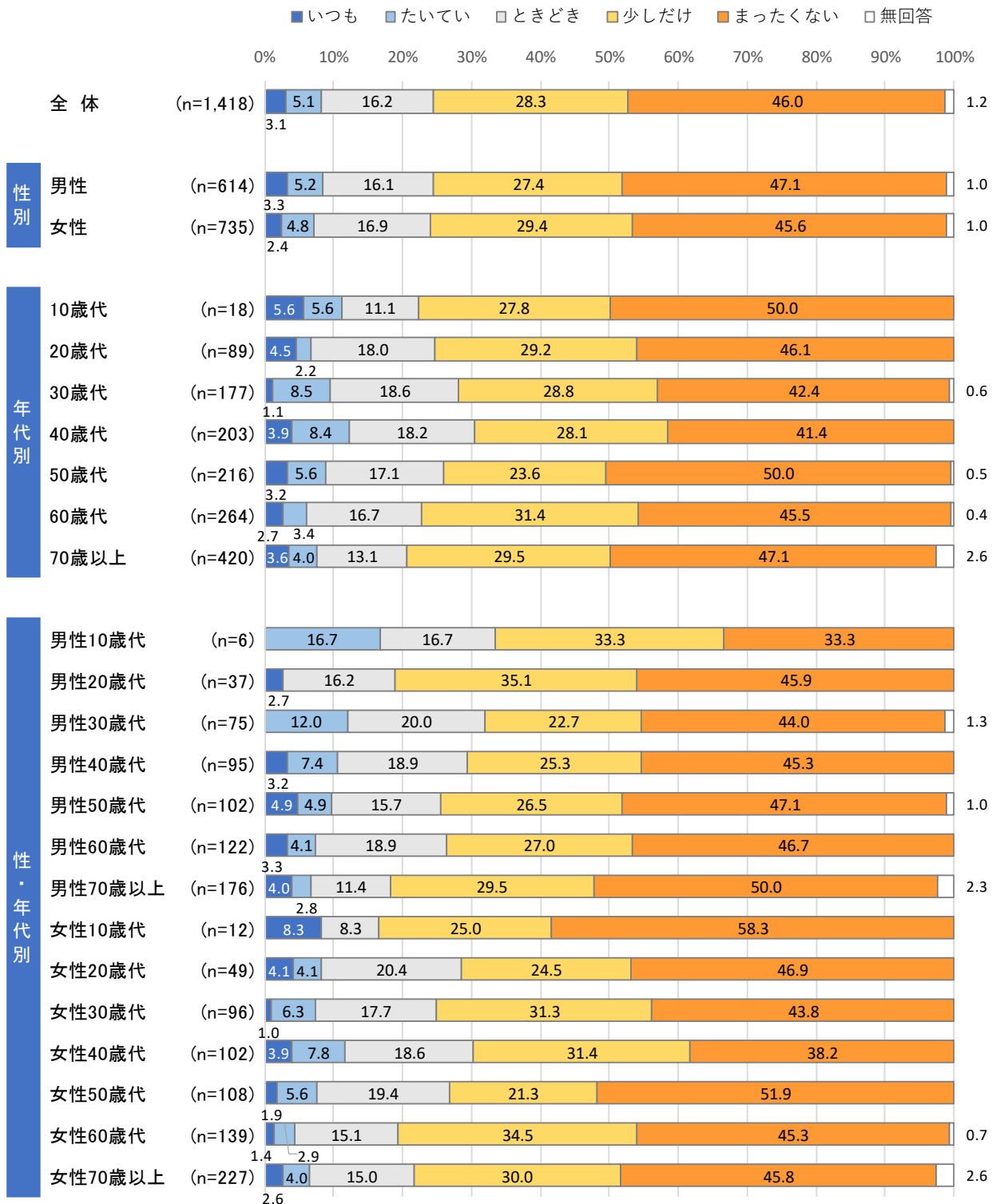


(エ) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか。

気分が沈み込んで気が晴れないように感じたかについては、「まったくない」46.0%が最も多く、以下「少しだけ」28.3%、「ときどき」16.2%、「たいてい」5.1%、「いつも」3.1%となっています。

年代別でみると、10歳代および40歳代は「いつも」および「たいてい」が合わせて1割超とやや多くなっています。

性・年代別でみると、女性10歳代は「いつも」が1割近くと多く、男性10歳代、30歳代は「たいてい」が1割超と多くなっています。

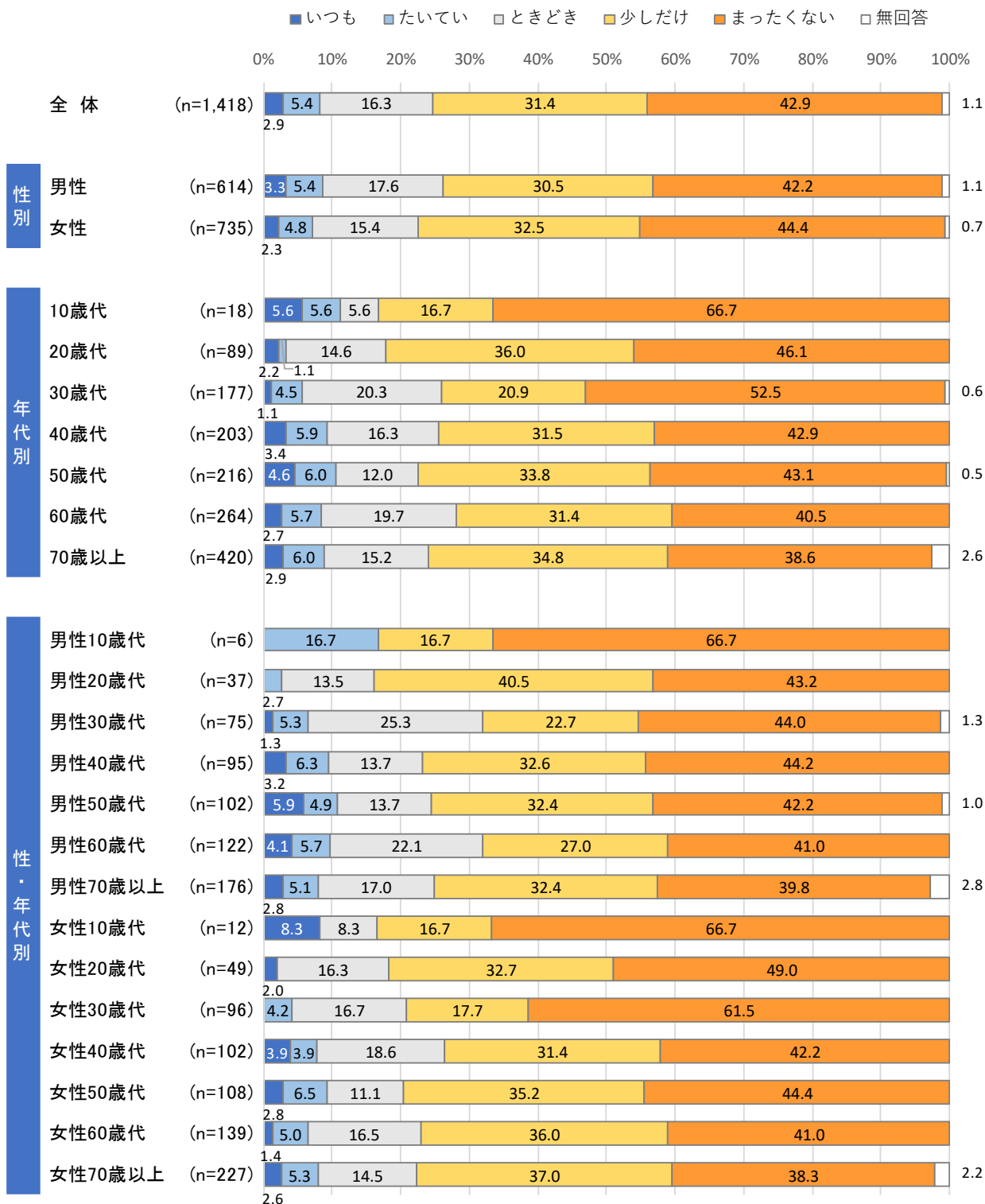


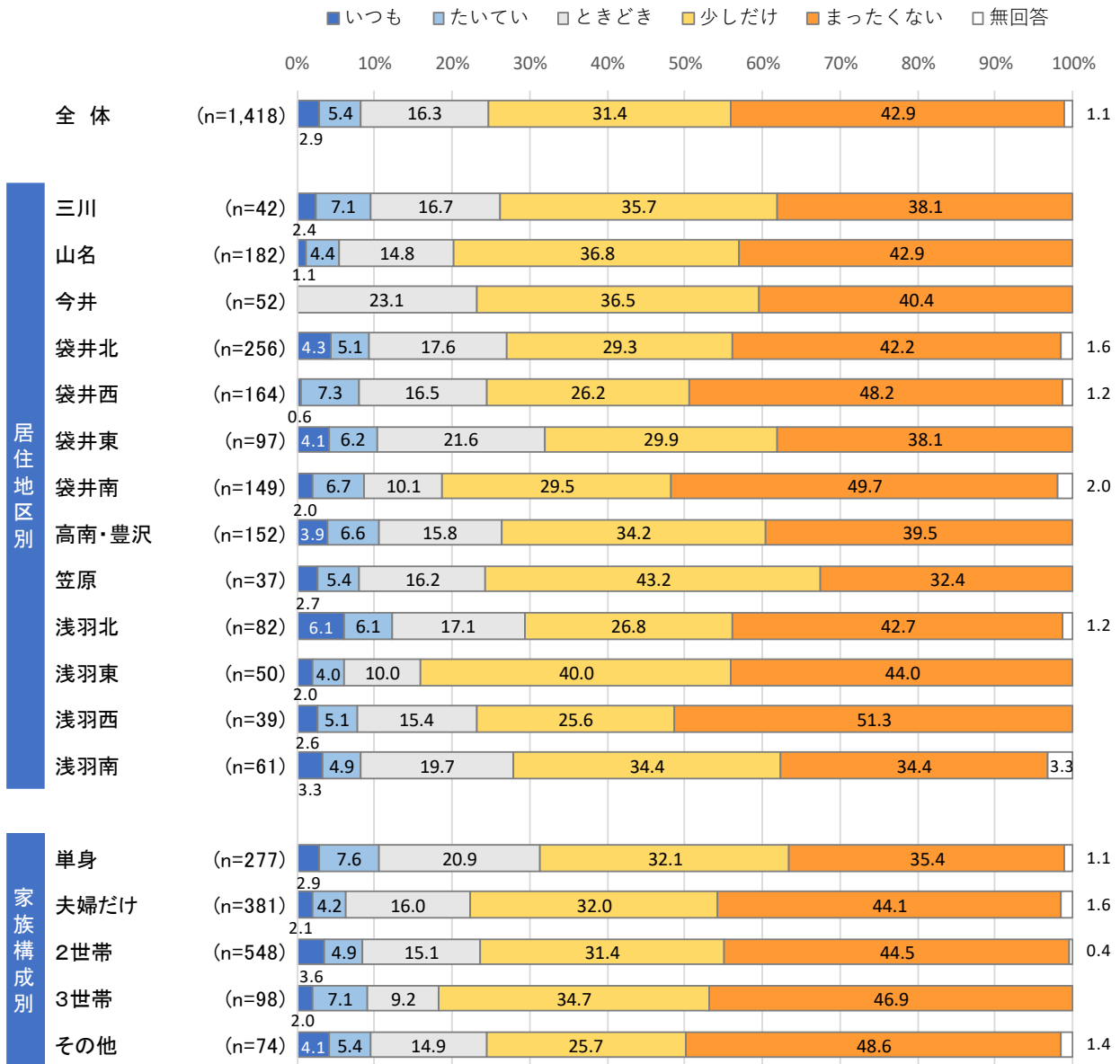
(オ) 何をするにも骨折りだと感じましたか。

何をするにも骨折りだと感じたかについては、「まったくない」42.9%が最も多く、以下「少しだけ」31.4%、「ときどき」16.3%、「たいてい」5.4%、「いつも」2.9%となっています。

年代別でみると、10歳代および50歳代は「いつも」が全体と比較してやや多くなっています。一方、10歳代および30歳代は「まったくない」が5割超と多くなっています。

性・年代別でみると、男性50歳代は「いつも」および「たいてい」が合わせて1割超と多く、男性10歳代は「たいてい」が2割近くと多くなっています。



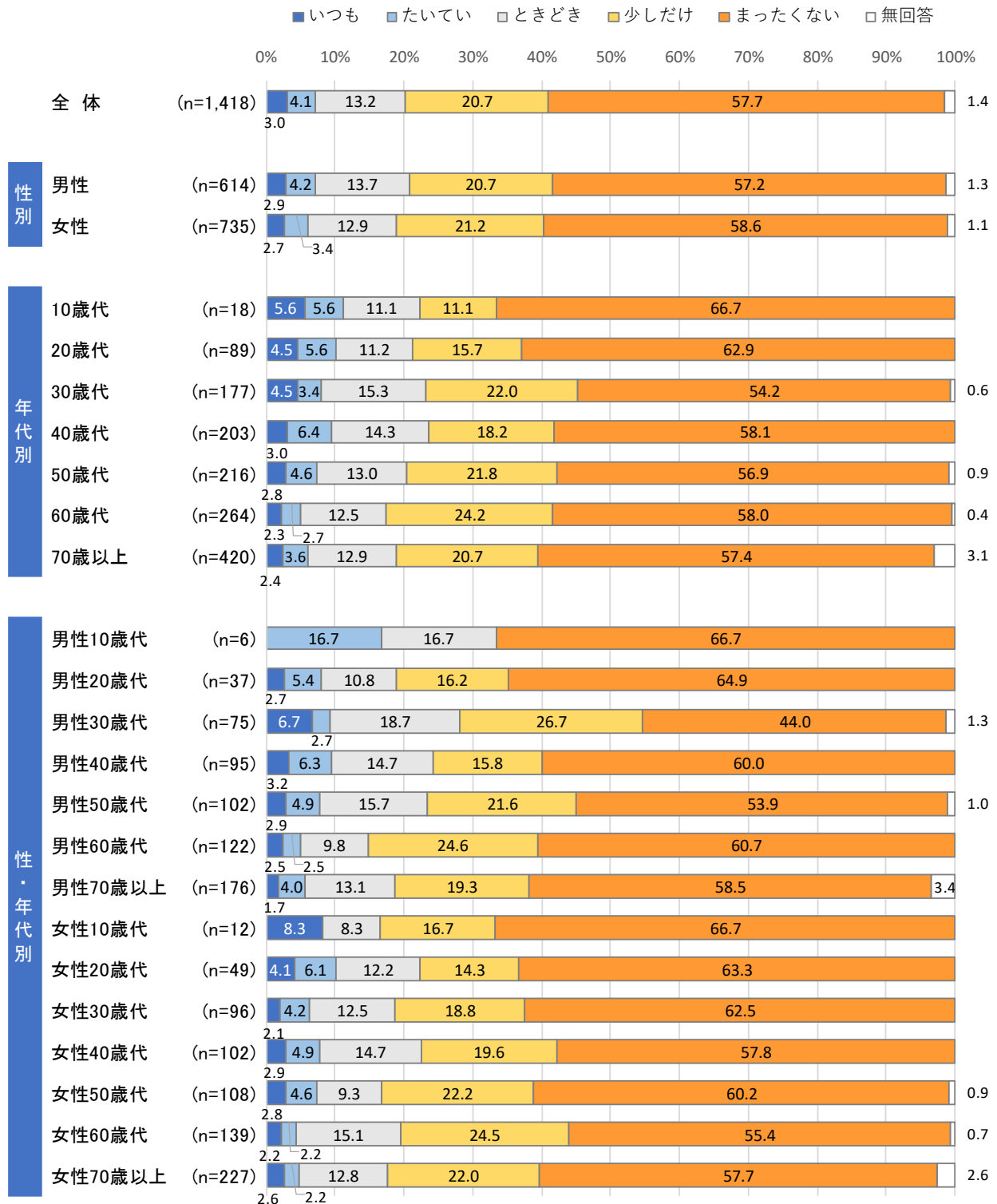


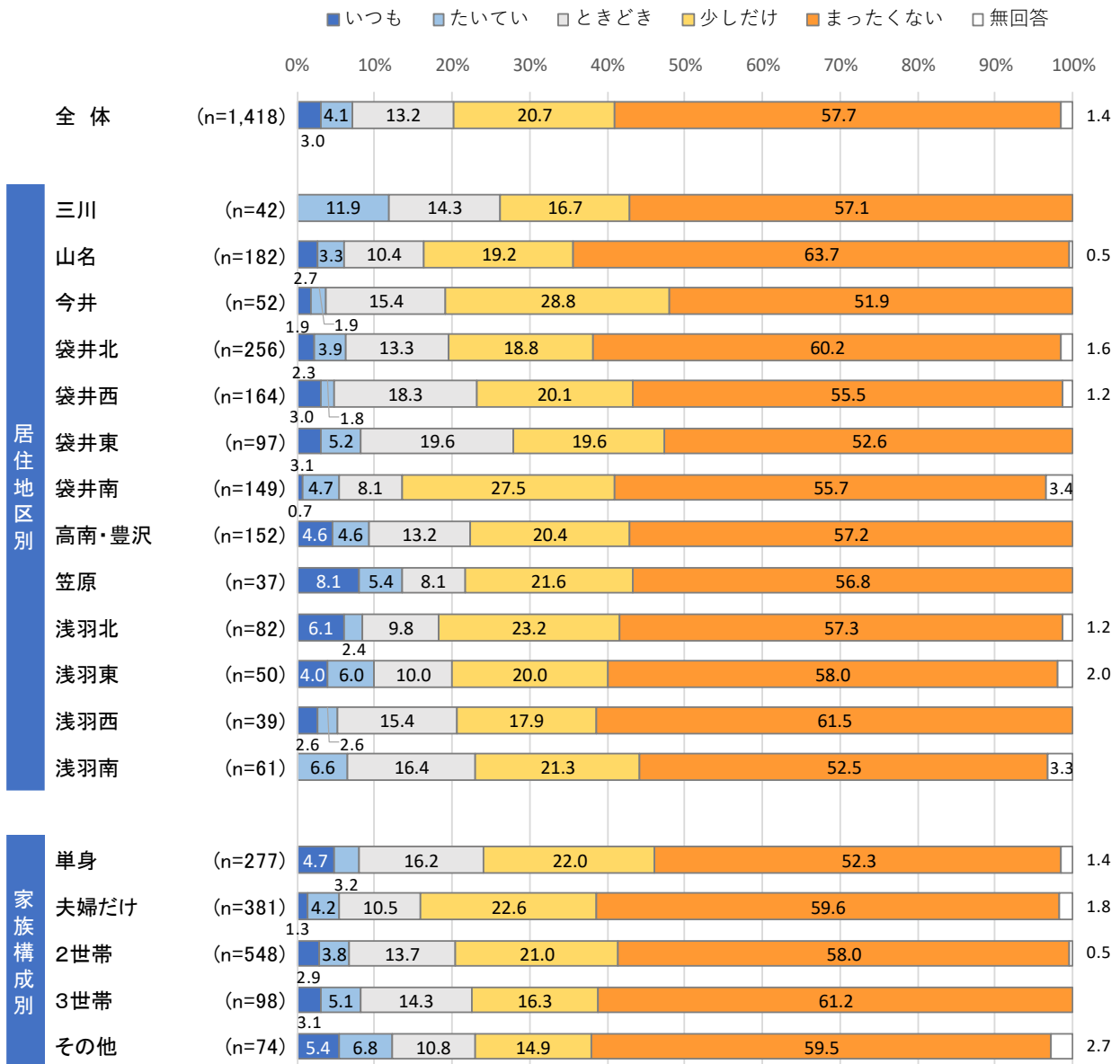
(カ) 自分は価値のない人間だと感じましたか。

自分は価値のない人間だと感じたかについては、「まったくない」57.7%が最も多く、以下「少しだけ」20.7%、「ときどき」13.2%、「たいてい」4.1%、「いつも」3.0%となっています。

年代別でみると、20歳代以下は「いつも」および「たいてい」が合わせて1割超と多くなっています。

性・年代別でみると、男性30歳代および女性10歳代は「いつも」が1割近くと他の性・年代と比較して多く、また、男性30歳代は「まったくない」が5割未満と少なくなっています。



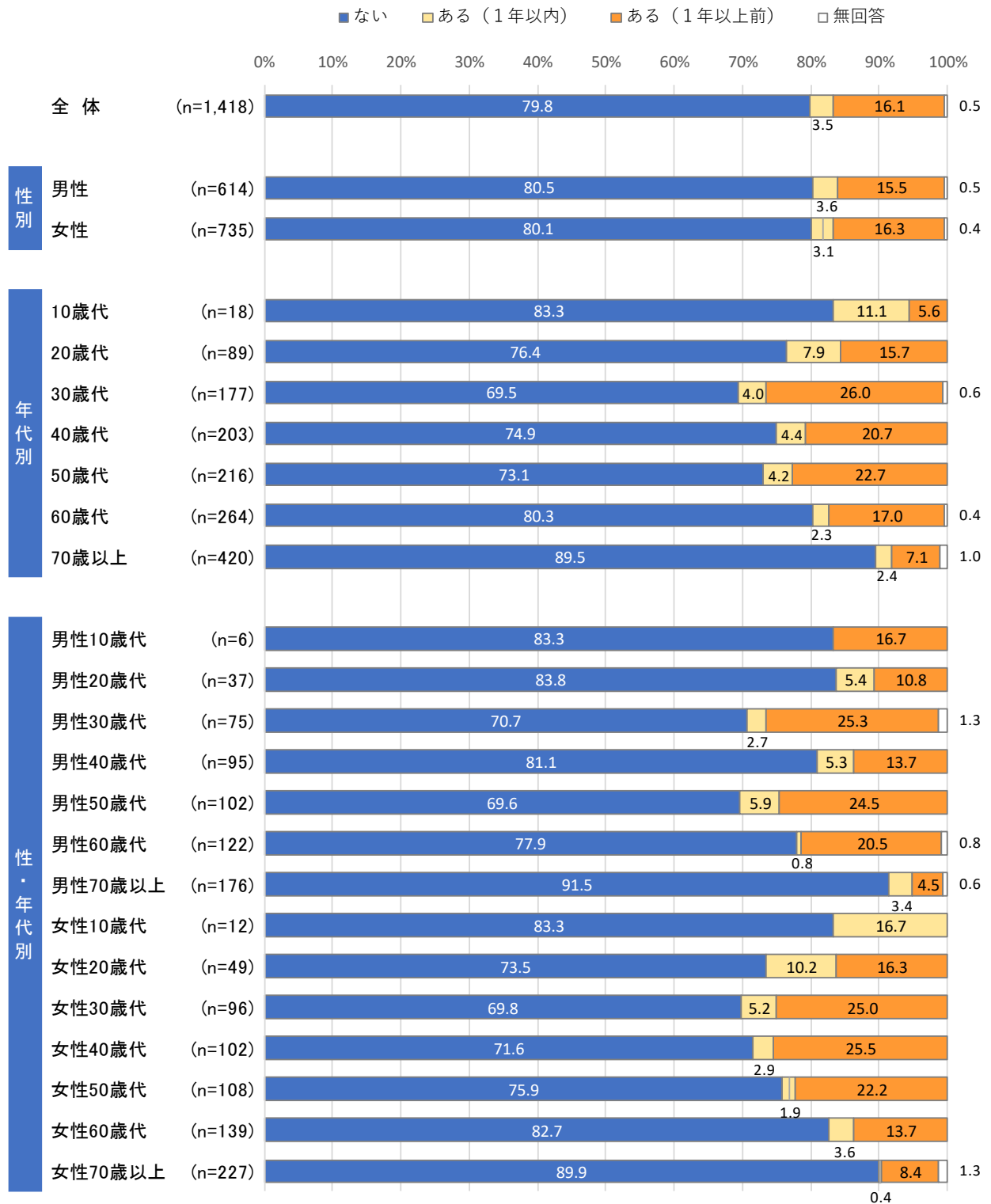


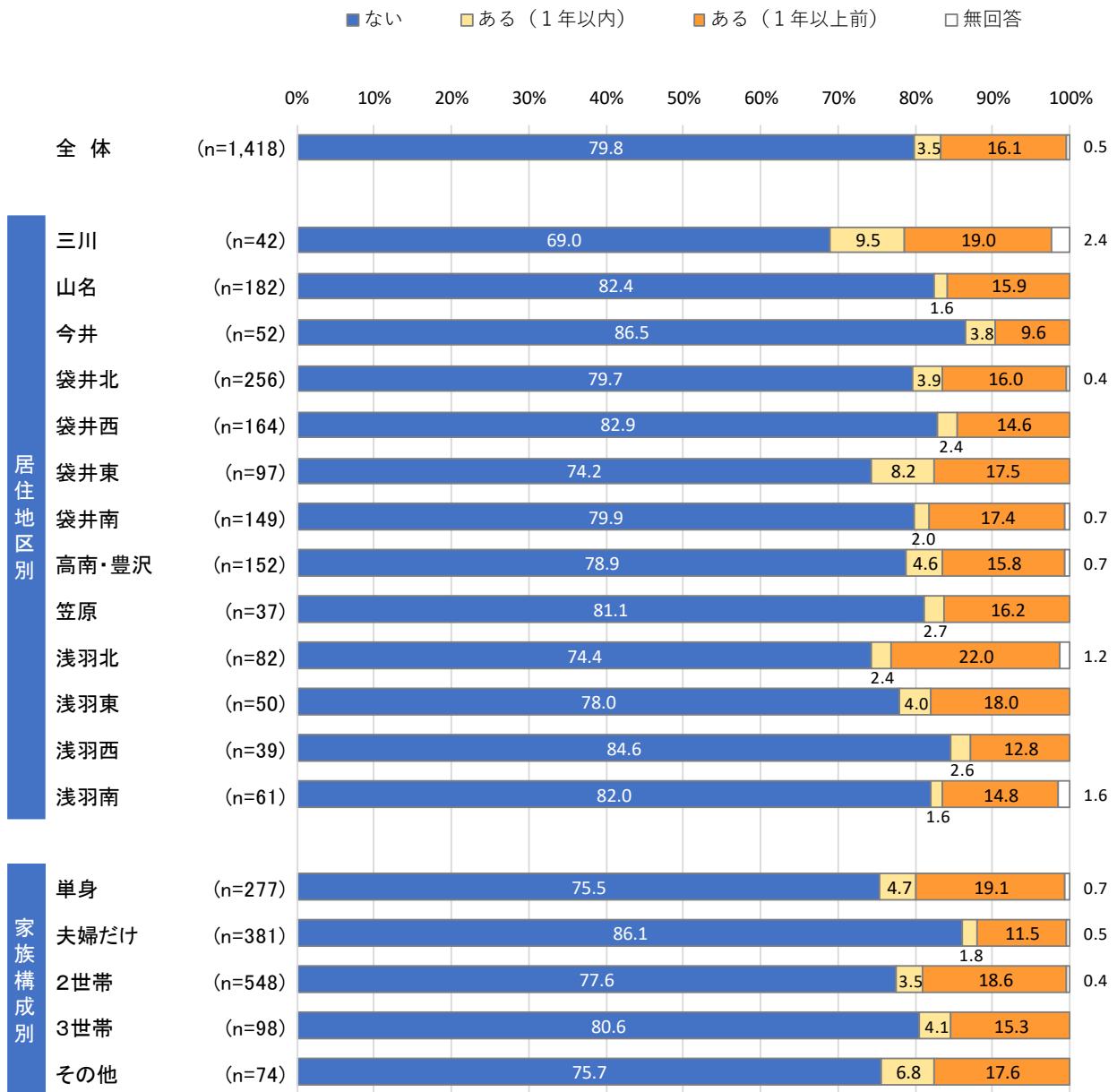
問9 これまでの人生の中で、本気で自殺したいと考えたことがありますか。

本気で自殺したいと考えたことについては、「ない」79.8%が最も多く、以下「ある（１年以上前）」16.1%、「ある（１年以内）」3.5%となっています。

年代別でみると、20歳代～50歳代は「ある（１年以上前）」および「ある（１年以内）」で、いずれも全体と比較して多くなっています。また、20歳代以下では「ある（１年以内）」が１割前後と多くなっています。

性・年代別でみると、男性50歳代および女性30歳代は「ある（１年以内）」および「ある（１年以上前）」が３割となっています。また、女性20歳代以下は「ある（１年以内）」が１割超と多くなっています。





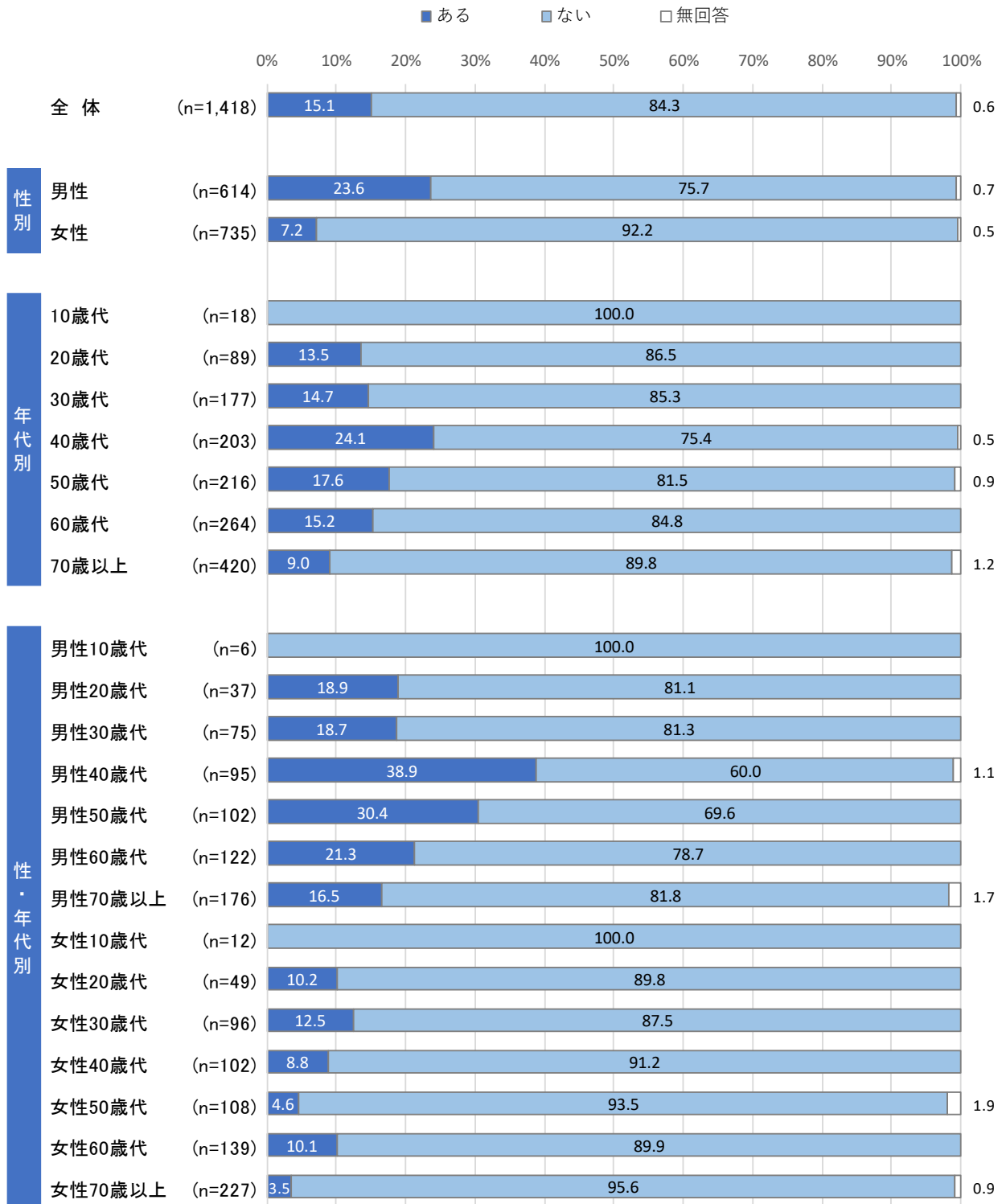
問10 日常的に喫煙する習慣がありますか。

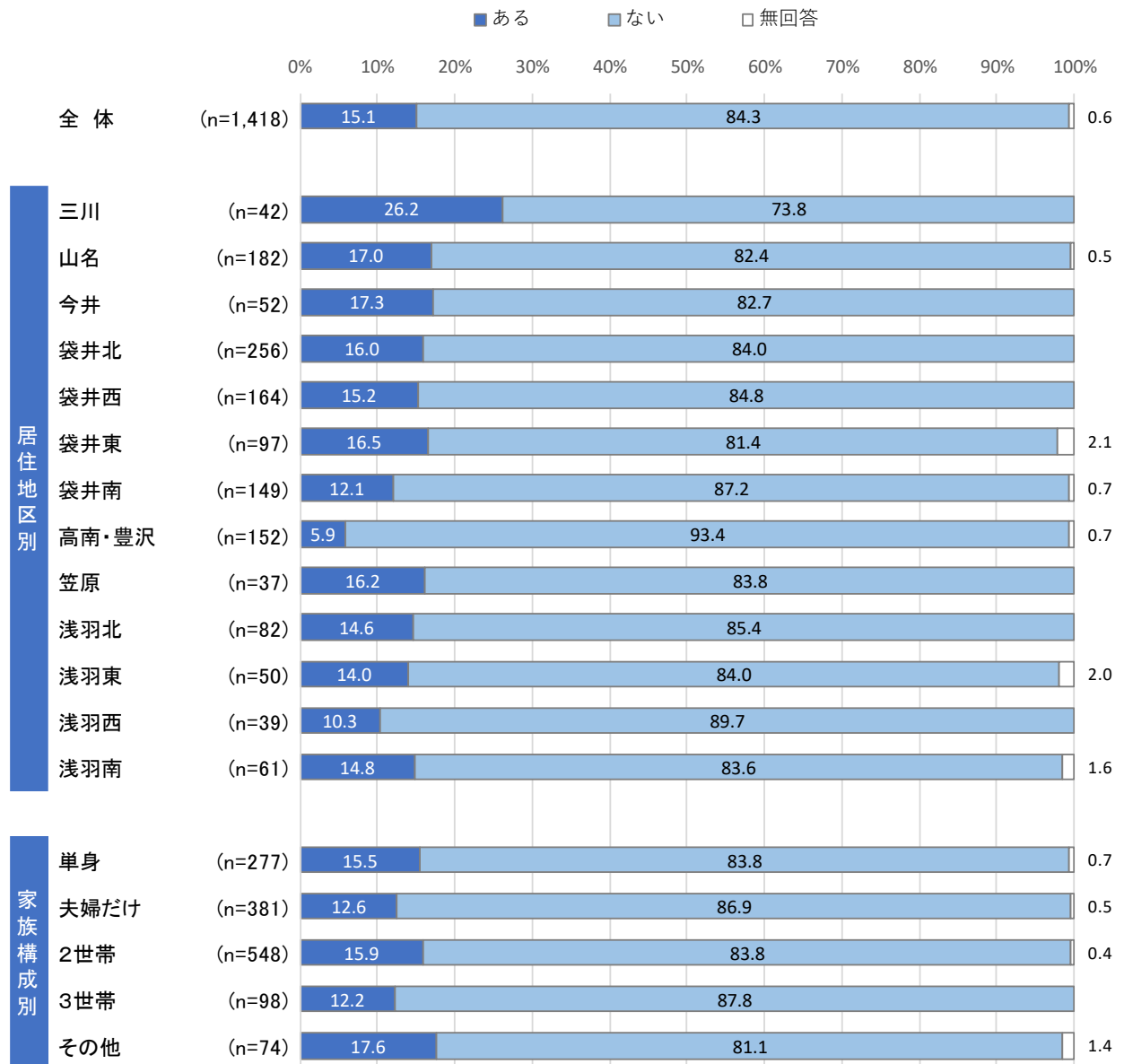
日常的に喫煙する習慣の有無については、「ない」84.3%、「ある」15.1%となっています。

性別でみると、男性は「ある」23.6%と全体と比較して多く、女性は「ない」が9割超と多くなっています。

年代別でみると、40歳代は「ある」が2割超と他の年代と比較して多くなっています。50歳代以上は年代が上がるとつれて喫煙習慣が少なくなっています。

性・年代別でみると、男性では40歳代で「ある」が4割近くとなっており、他の年代でも全体と比較して多くなっています。女性においては20歳代、30歳代および60歳代で「ある」が1割超となっています。



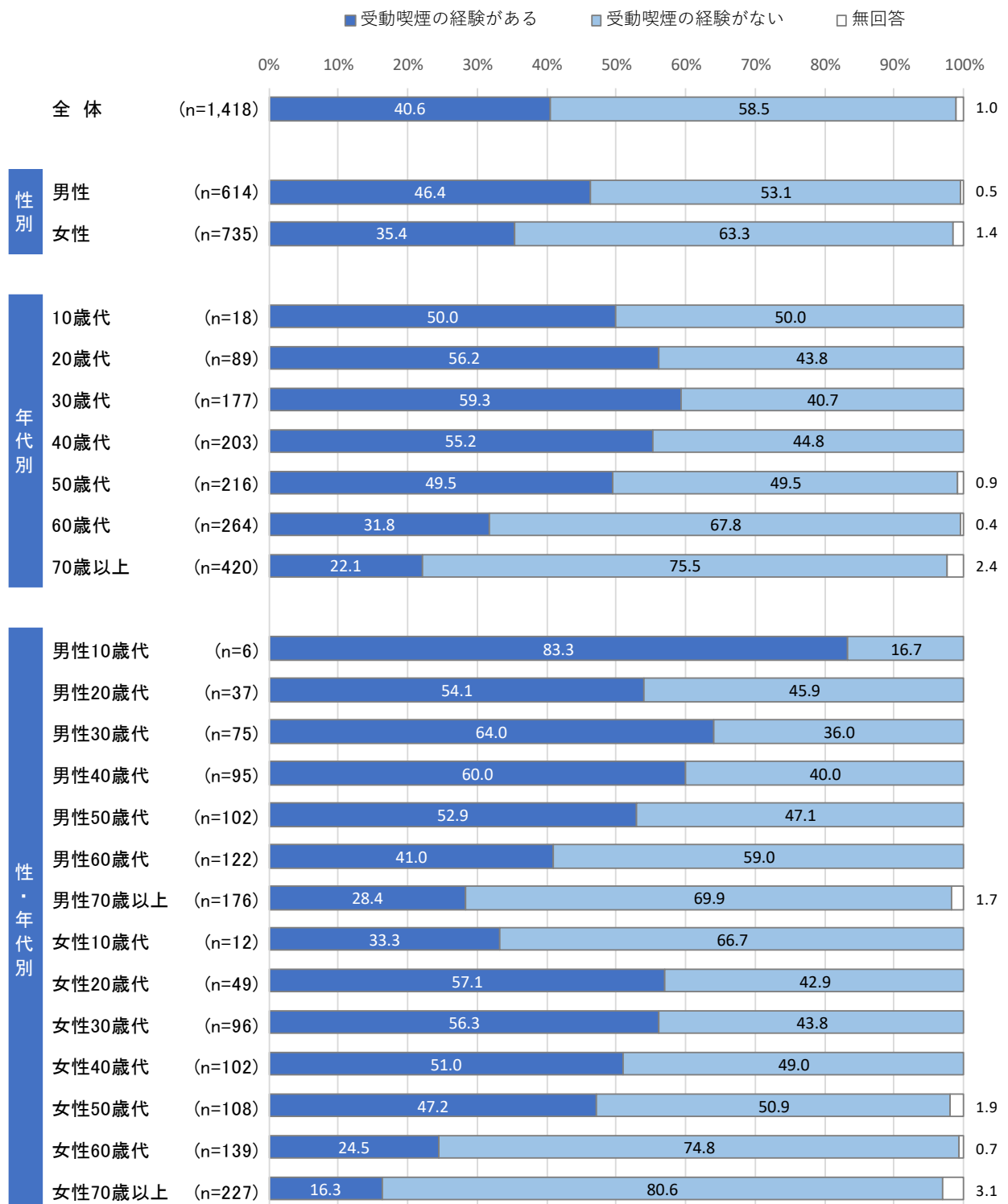


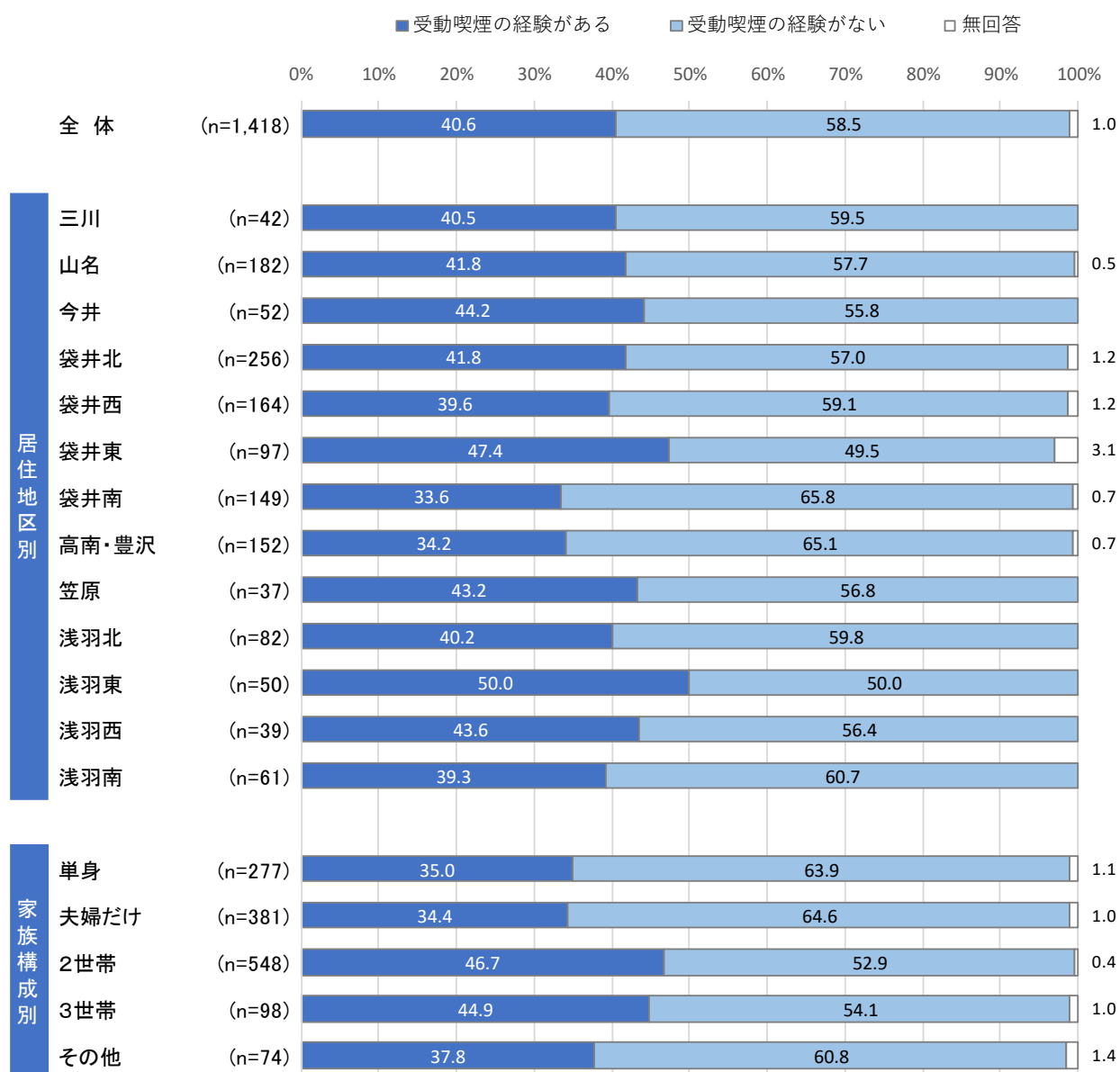
問11 過去1年の間で「受動喫煙」を受けた経験がありますか。

過去1年間における受動喫煙の経験の有無については、「受動喫煙の経験がない」（以下「経験なし」）は58.5%、「受動喫煙の経験がある」（以下「経験あり」）は40.6%となっています。

年代別でみると、40歳代以下において、10歳代で5割、20歳代から40歳代で6割近くと、「経験あり」が全体と比較して多くなっています。

性・年代別でみると、女性より男性の方が「経験あり」が多い傾向にあり、男性10歳代で8割超、30歳代および40歳代では6割超となっています。また、女性20歳代～40歳代でも「経験あり」が5割超となっており、特に女性20歳代は「経験あり」が同年代の男性よりも多くなっています。





問12 食生活で何か心がけていることがありますか。

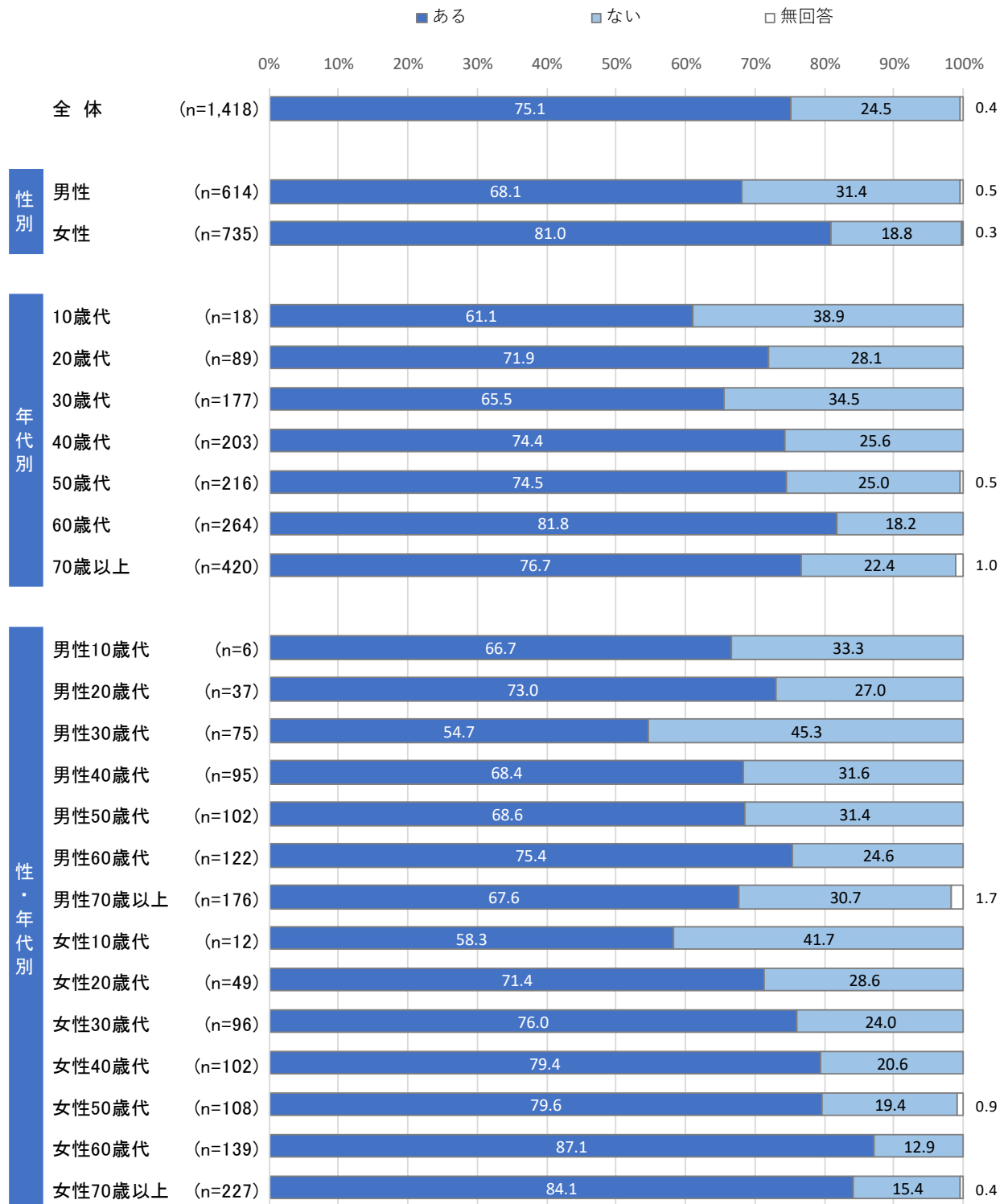
※食事のバランス、よく噛んで食べる、甘いものを控えめにするなど

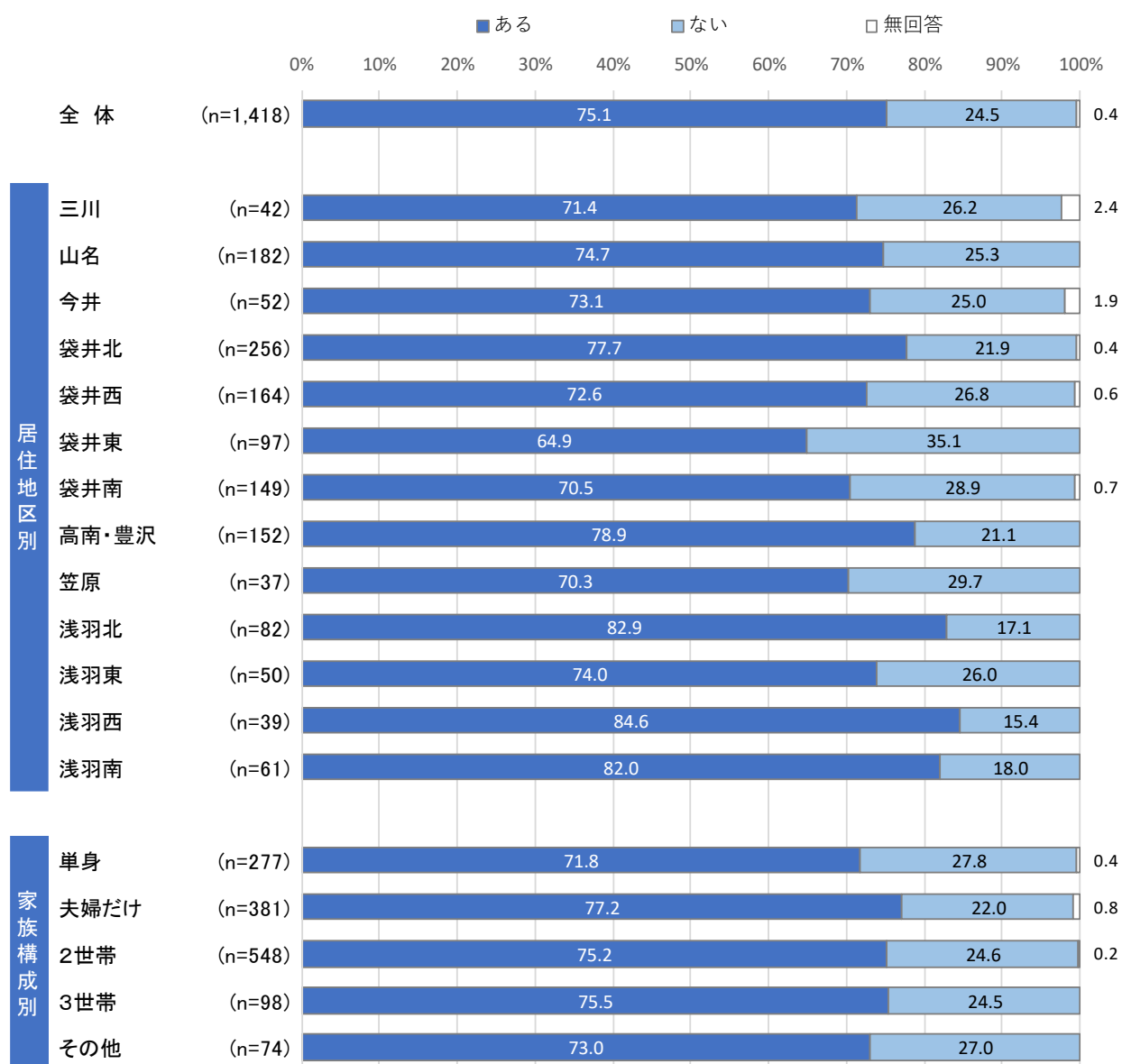
食生活で心がけていることの有無については、「ある」75.1%、「ない」24.5%となっています。

性別でみると、女性は「ある」81.0%と全体と比較して多くなっています。

年代別でみると、10歳代および30歳代は「ない」が3割超と全体と比較して多くなっています。

性・年代別でみると、女性60歳代以上では「ある」が8割超と他の性・年代と比較して多くなっています。





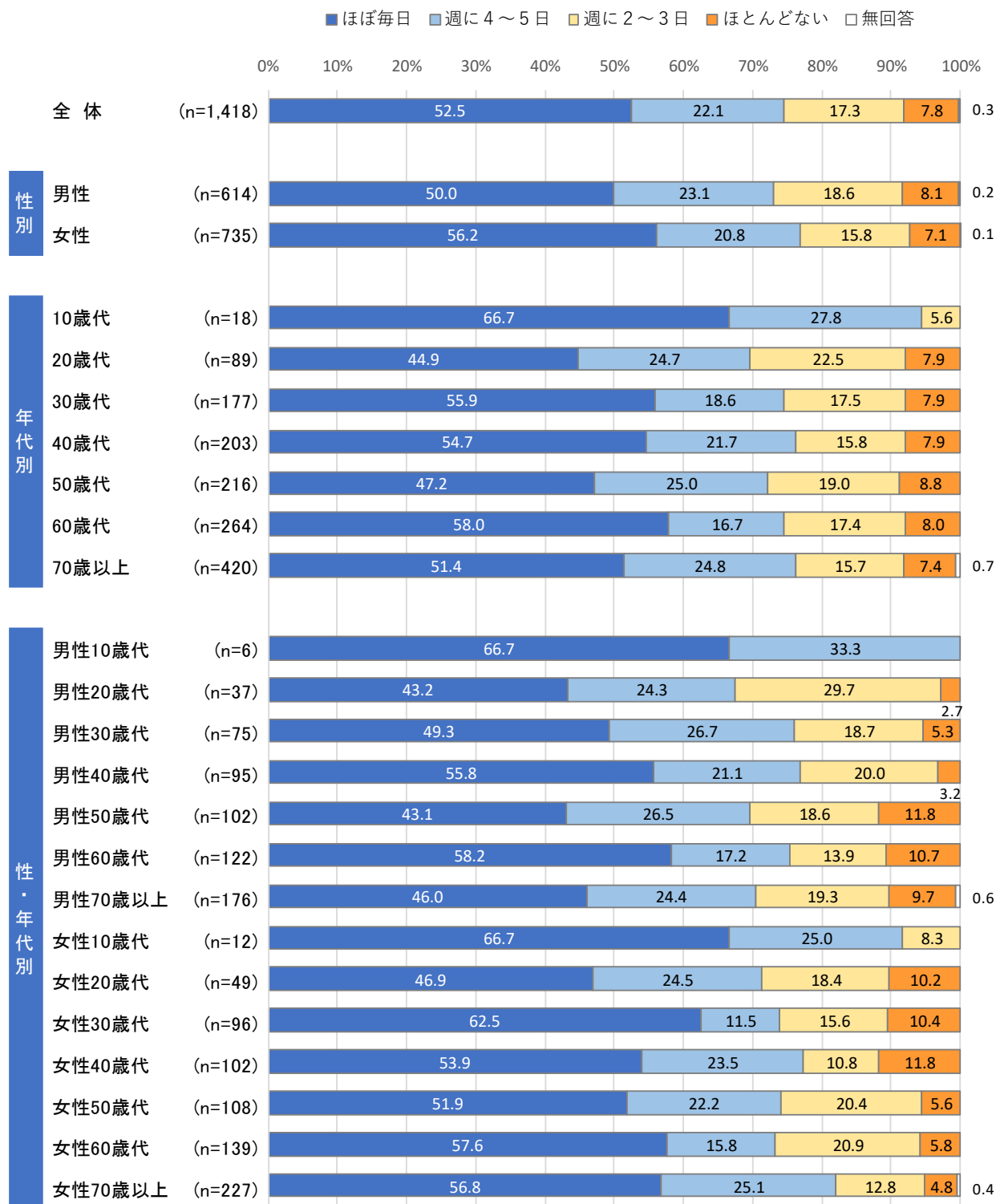
問13 主食・主菜・副菜の3つ揃えた食事が、1日2食以上あるのは週何回ありますか。

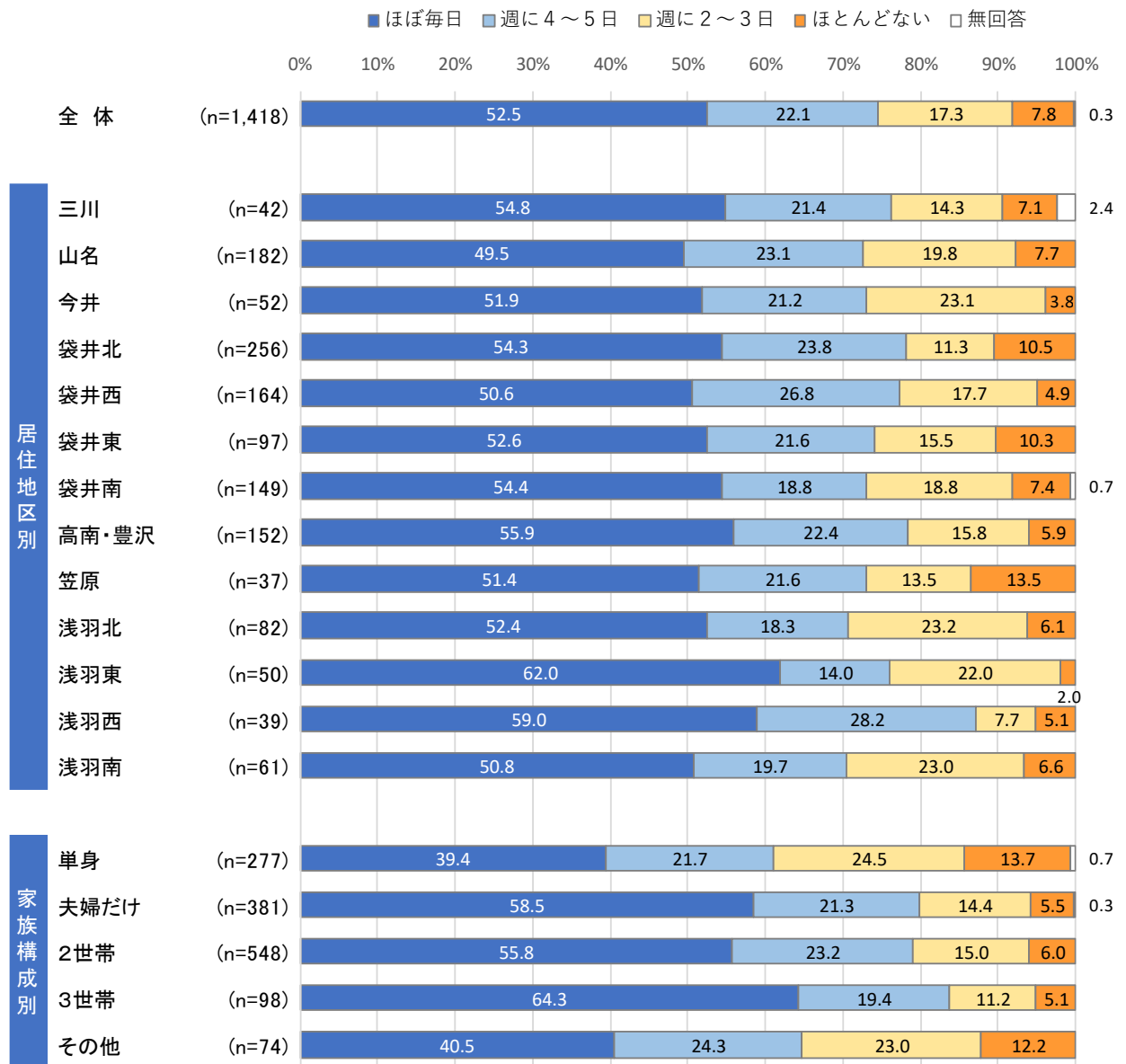
※主食（ごはん、パン、麺など）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）

主食・主菜・副菜の3つ揃えた食事が1日2食以上週何回あるかについては、「ほぼ毎日」52.5%が最も多く、以下「週に4～5日」22.1%、「週に2～3日」17.3%、「ほとんどない」7.8%となっています。

年代別でみると、10歳代および60歳代は「ほぼ毎日」が6割前後と全体と比較して多くなっています。

性・年代別でみると、男女共に10歳代および女性30歳代は「ほぼ毎日」が6割前後と多くなっています。一方、男性50歳代以上および女性20歳代～40歳代で「ほとんどない」が1割前後と多くなっています。





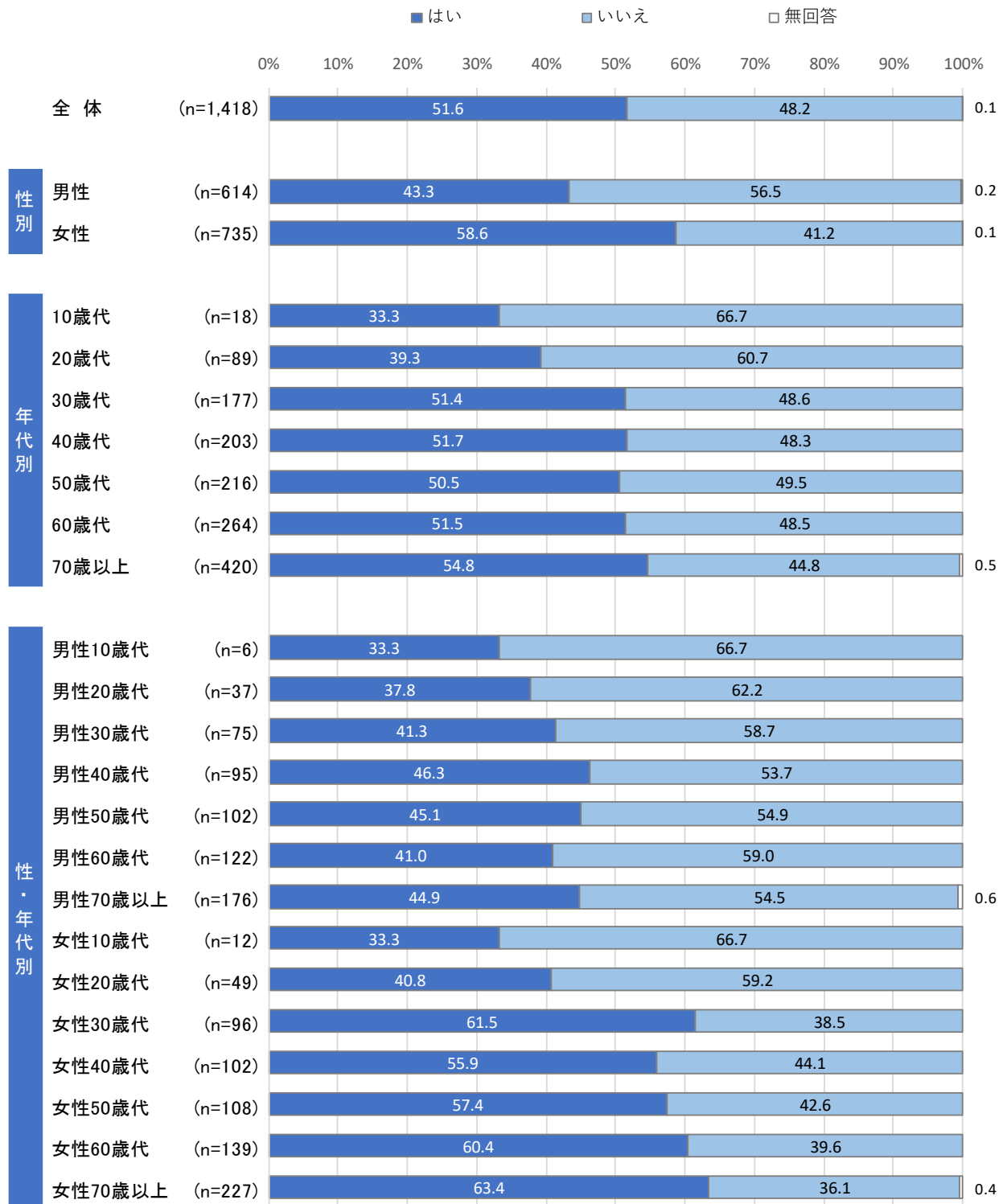
問14 年に1回以上、歯科の検診を受けていますか。

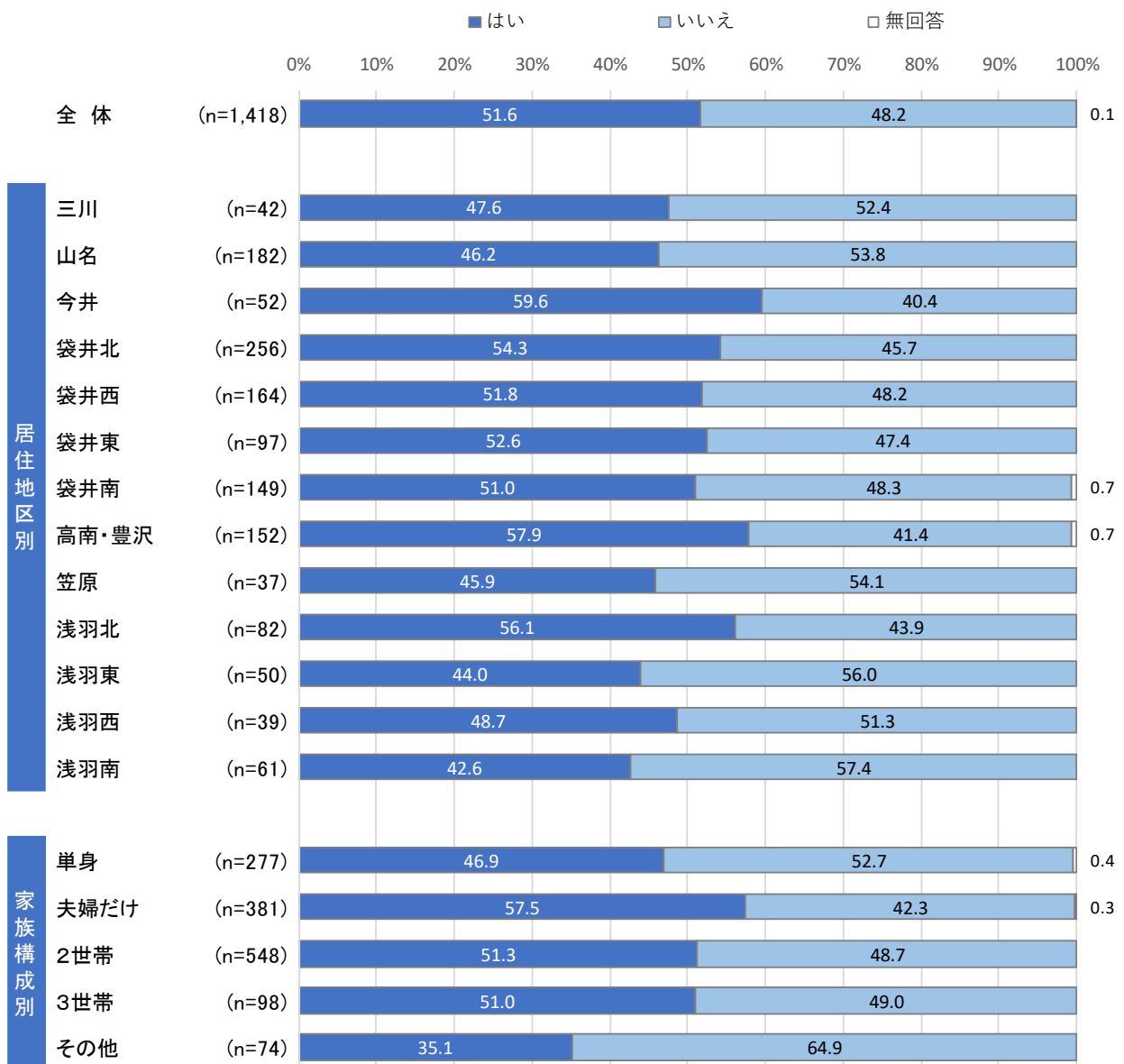
年に1回以上、歯科検診を受けているかについては、「はい」51.6%、「いいえ」48.2%となっています。

性別でみると、女性は「はい」58.6%と全体と比較して多くなっています。

年代別でみると、20歳代以下は「はい」が4割未満と全体と比較して少なくなっています。

性・年代別でみると、女性30歳代および女性60歳代以上は「はい」が6割超と多くなっています。





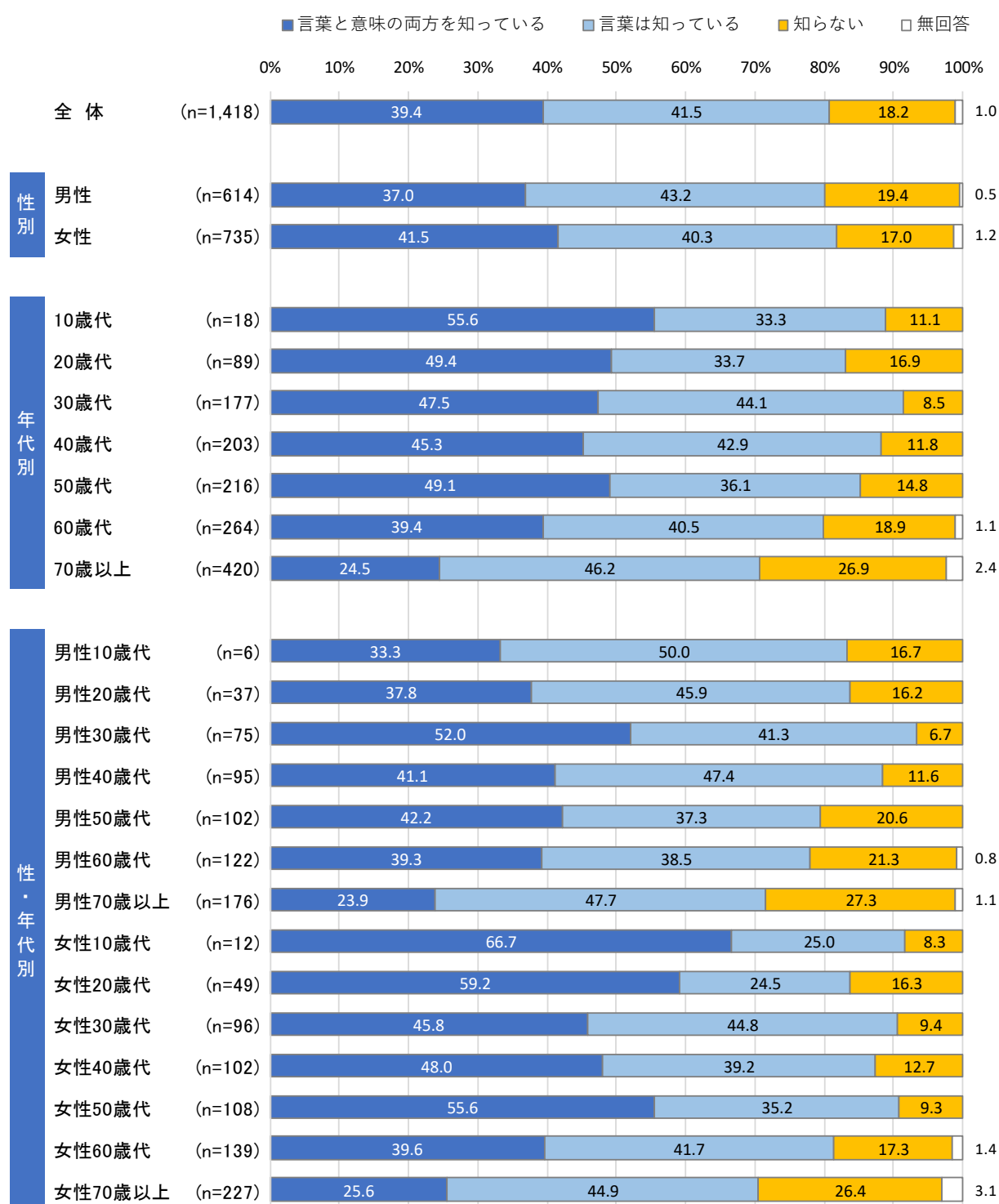
4 性的マイノリティ（LGBTQなど性的少数者）について

問15 性的マイノリティについて、どの程度知っていますか。

性的マイノリティについての認知状況については、「言葉は知っている」41.5%が最も多く、以下、「言葉と意味の両方を知っている」39.4%、「知らない」18.2%となっています。

年代別でみると、年代が上がるほど「言葉と意味の両方を知っている」が少なくなる傾向にあり、特に70歳以上では3割未満と少なくなっています。

性・年代別でみると、女性20歳代以下は「言葉と意味の両方を知っている」が6割前後と他の性・年代と比較して多くなっています。



5 運動習慣について

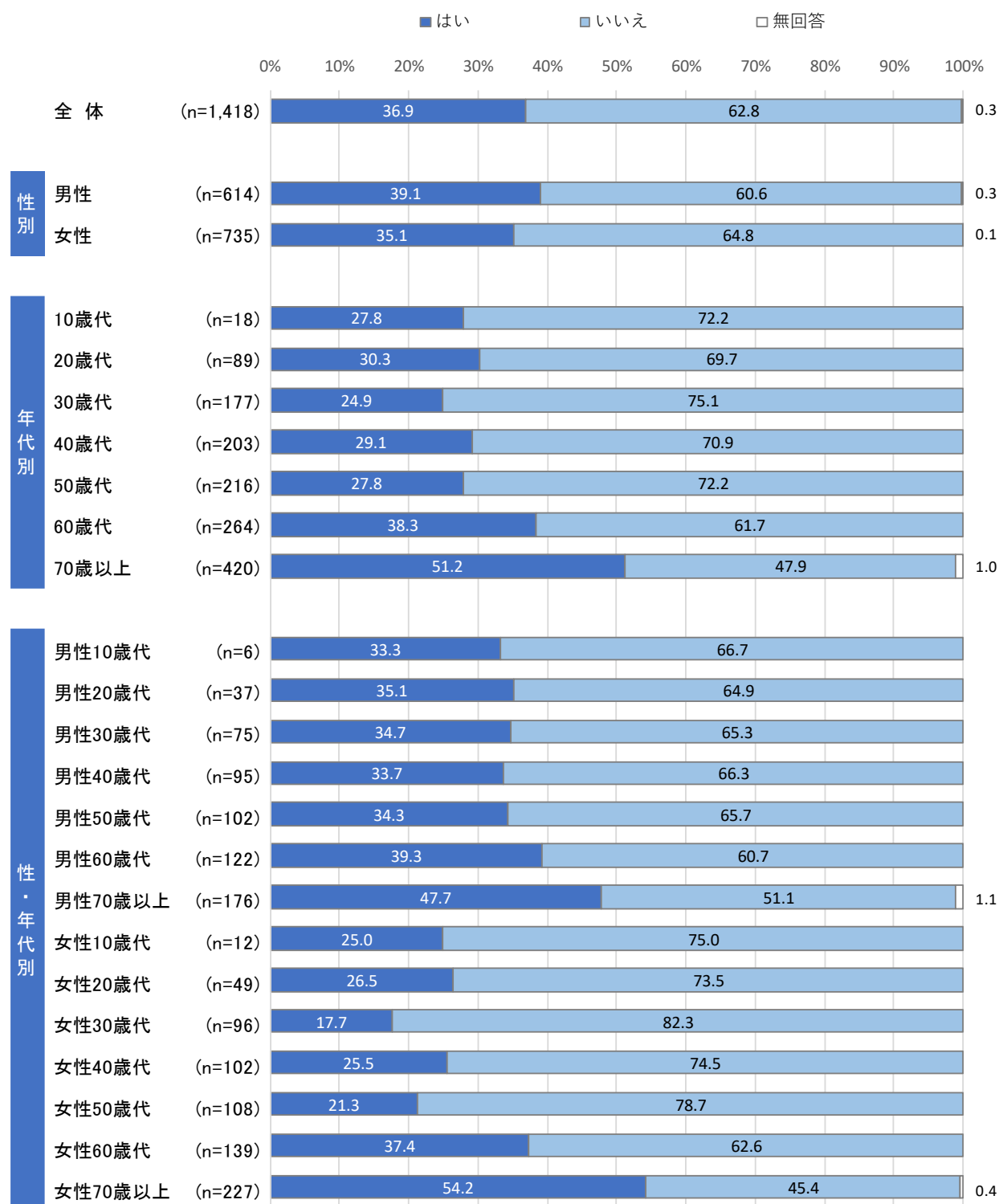
問16 日常的な運動習慣がありますか。

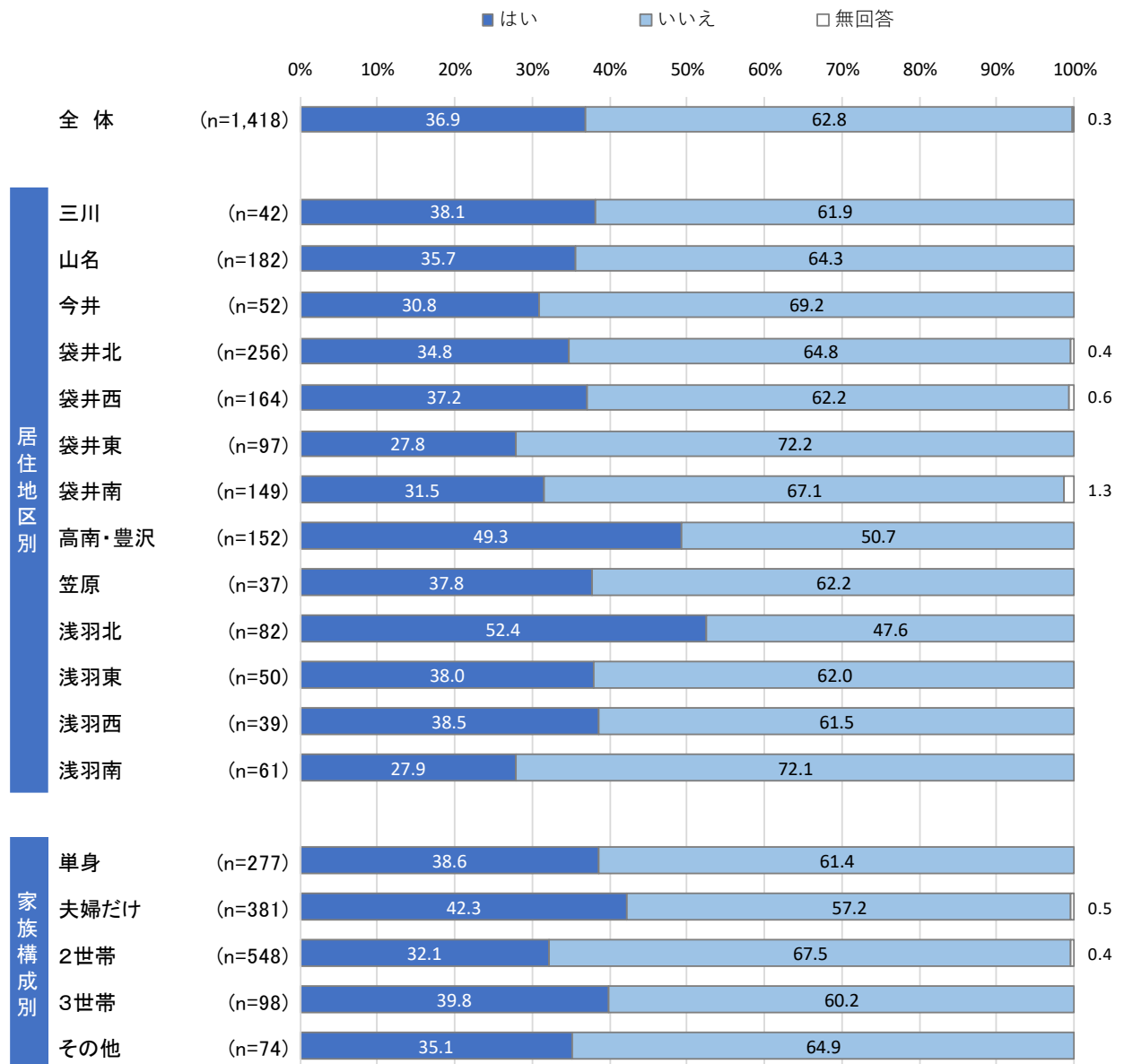
※ 1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続していること。

日常的な運動習慣の有無については、「いいえ」（ない）62.8%、「はい」（ある）36.9%となっています。

年代別でみると、50歳代以下は「はい」が3割前後と少なく、70歳以上は「はい」が5割超と多くなっています。

性・年代別でみると、60歳代以下では女性より男性の方が「はい」が多くなっており、70歳以上では男性より女性の方が「はい」が多くなっています。女性30歳代は「いいえ」が8割超と多くなっています。





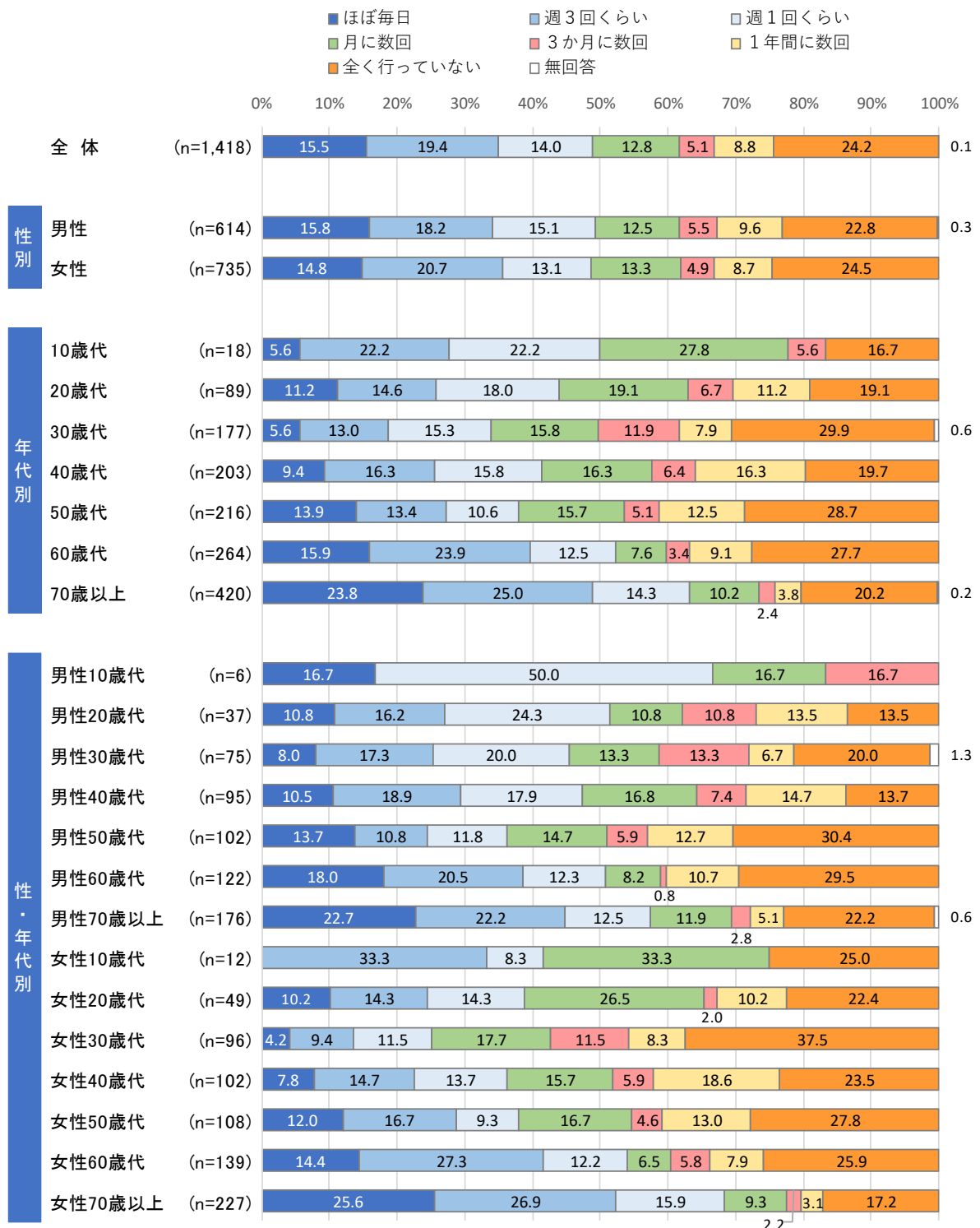
問17 1年以内にスポーツをどれくらい行いましたか。

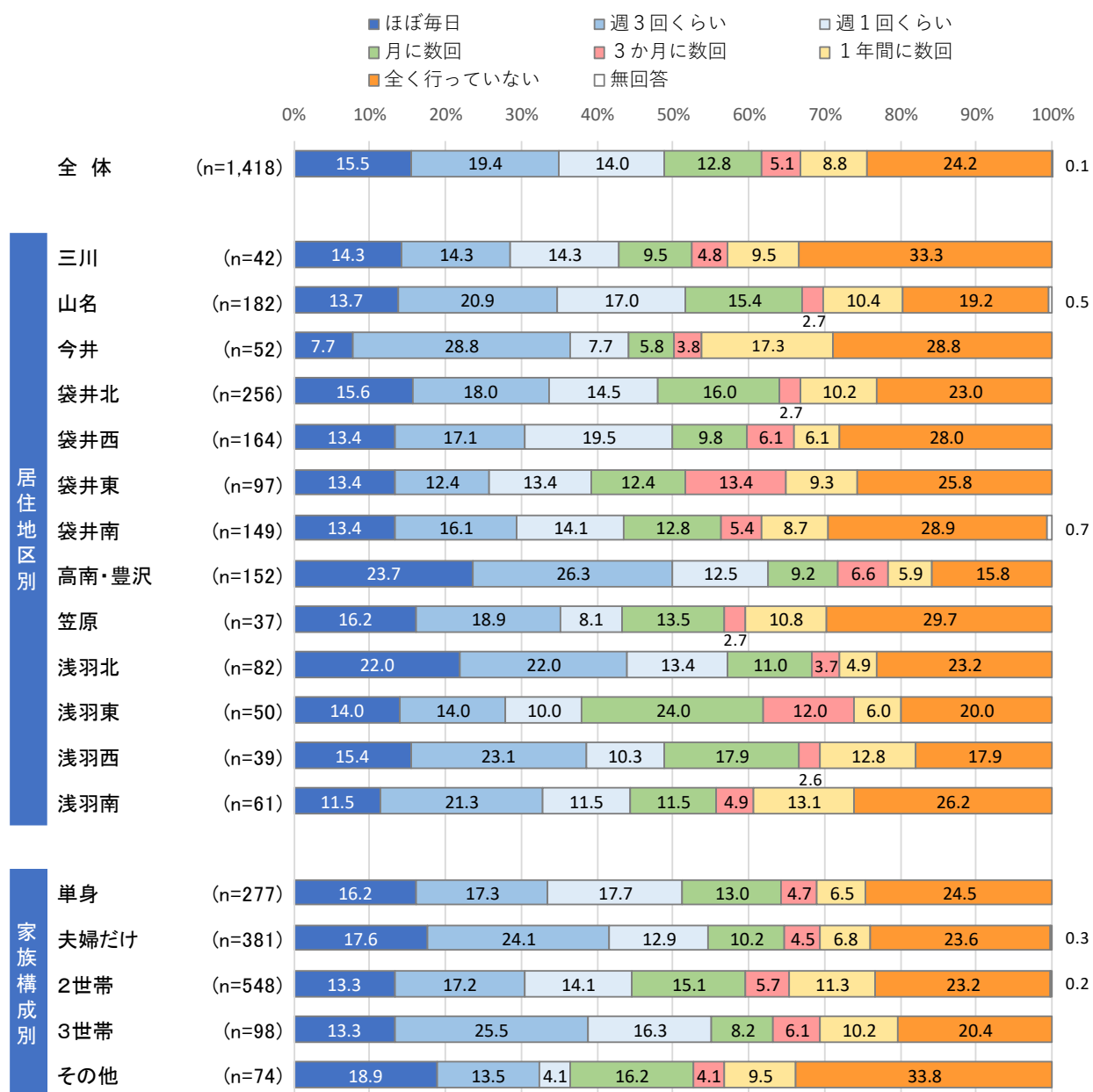
※競技スポーツだけでなく、ウォーキングや体操など個人が自宅で気軽に行う身体活動も含みます。

1年以内の運動頻度については、「全く行っていない」24.2%が最も多く、以下「週3回くらい」19.4%、「ほぼ毎日」15.5%、「週1回くらい」14.0%、「月に数回」12.8%、「1年間に数回」8.8%、「3か月に数回」5.1%となっています。

年代別でみると、10歳代および30歳代で「ほぼ毎日」が最も少なく、40歳代以上では年代が上がるにつれ多くなっています。

性・年代別でみると、女性30歳代は「全く行っていない」が4割近くと他の性・年代と比較して多くなっています。





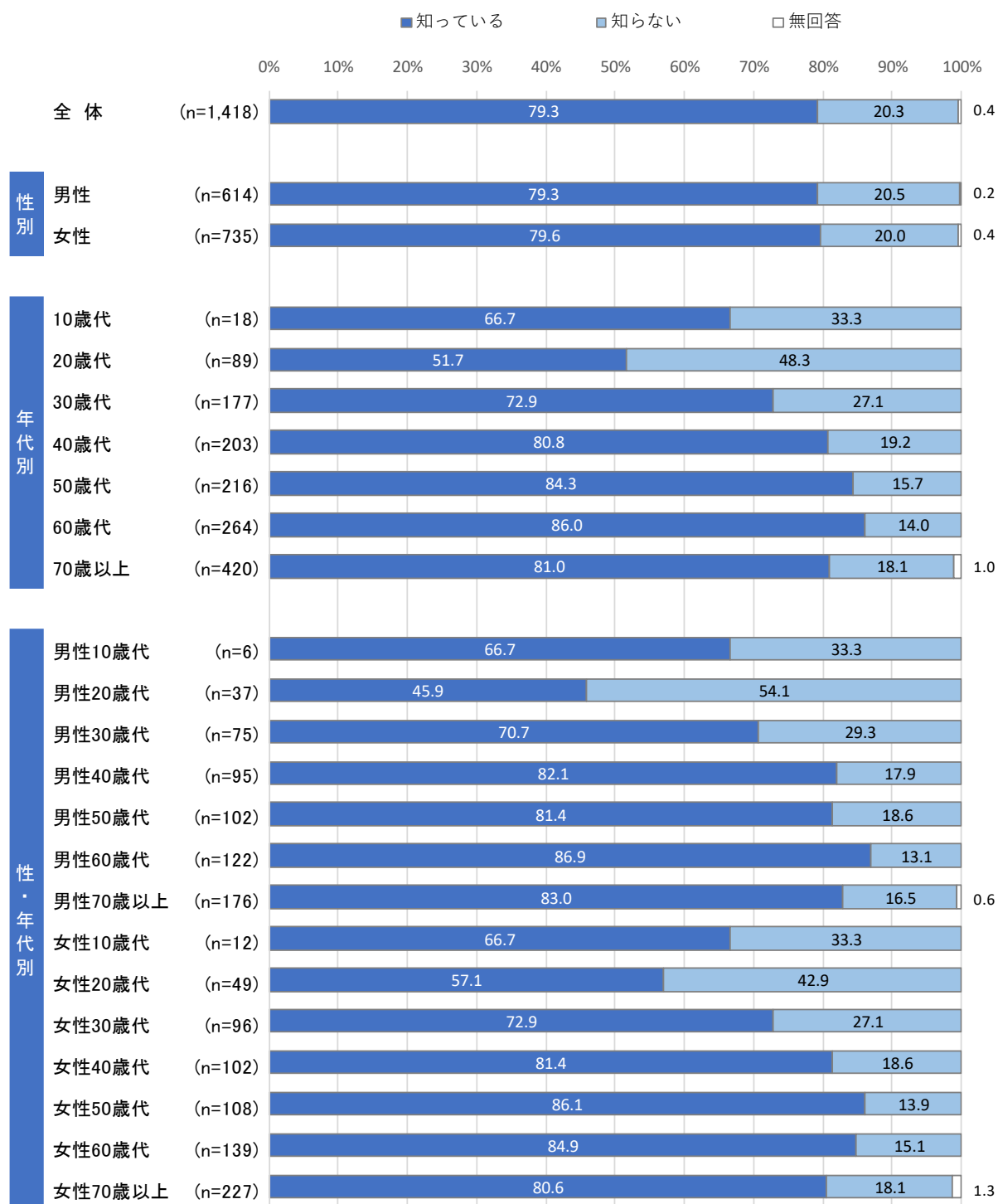
6 防災対策について

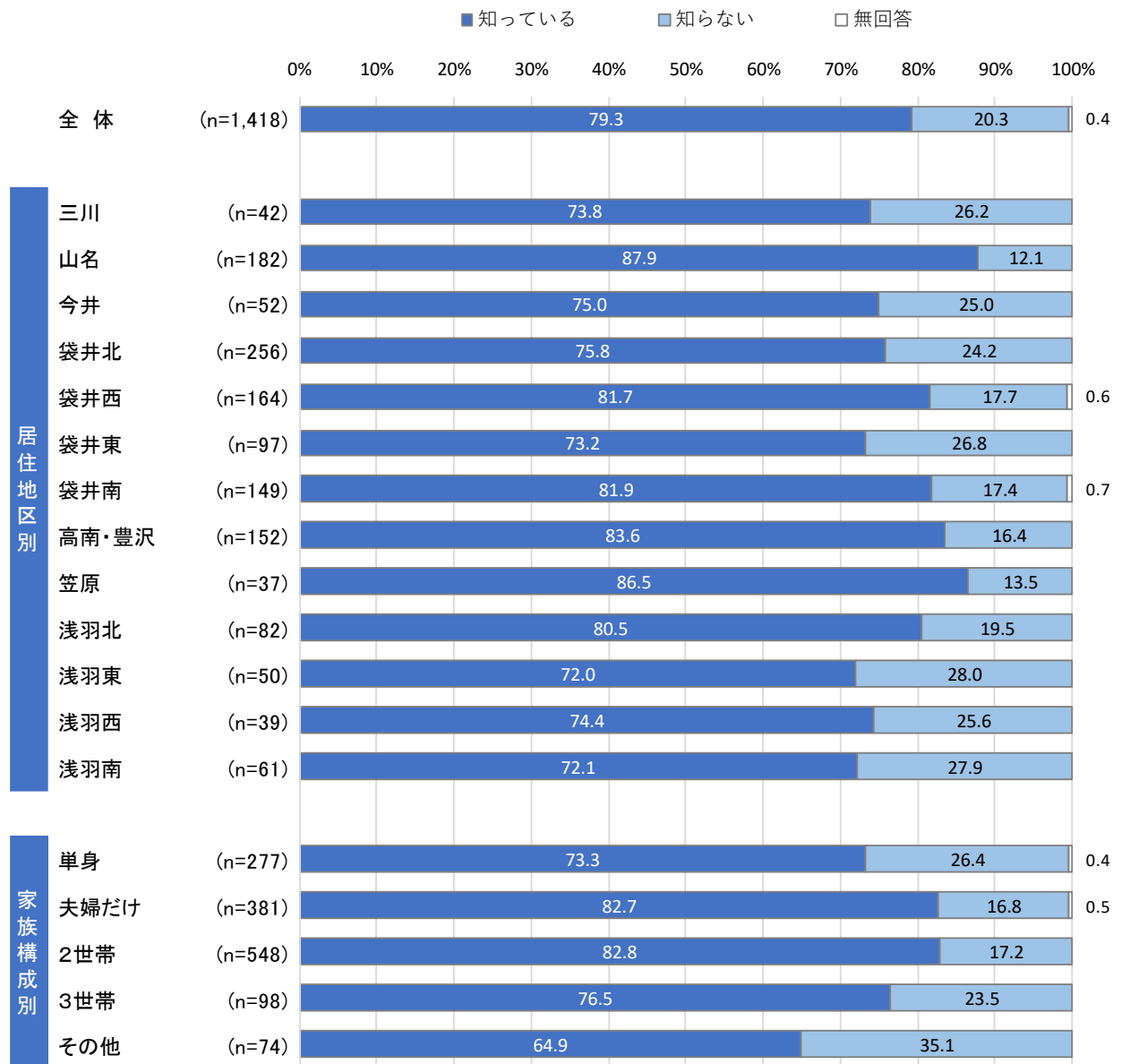
問18 袋井市浸水ハザードマップ（2026（令和8）年4月）を知っていますか。

袋井市浸水ハザードマップの認知状況については、「知っている」79.3%、「知らない」20.3%となっています。

年代別でみると、20歳代で「知らない」が48.3%と他の年代と比較して最も多くなっています。

性・年代別でみると、男性20歳代で「知らない」が5割超と他の性・年代と比較して最も多くなっています。男女共に40歳代以上では「知っている」が8割超と多くなっています。





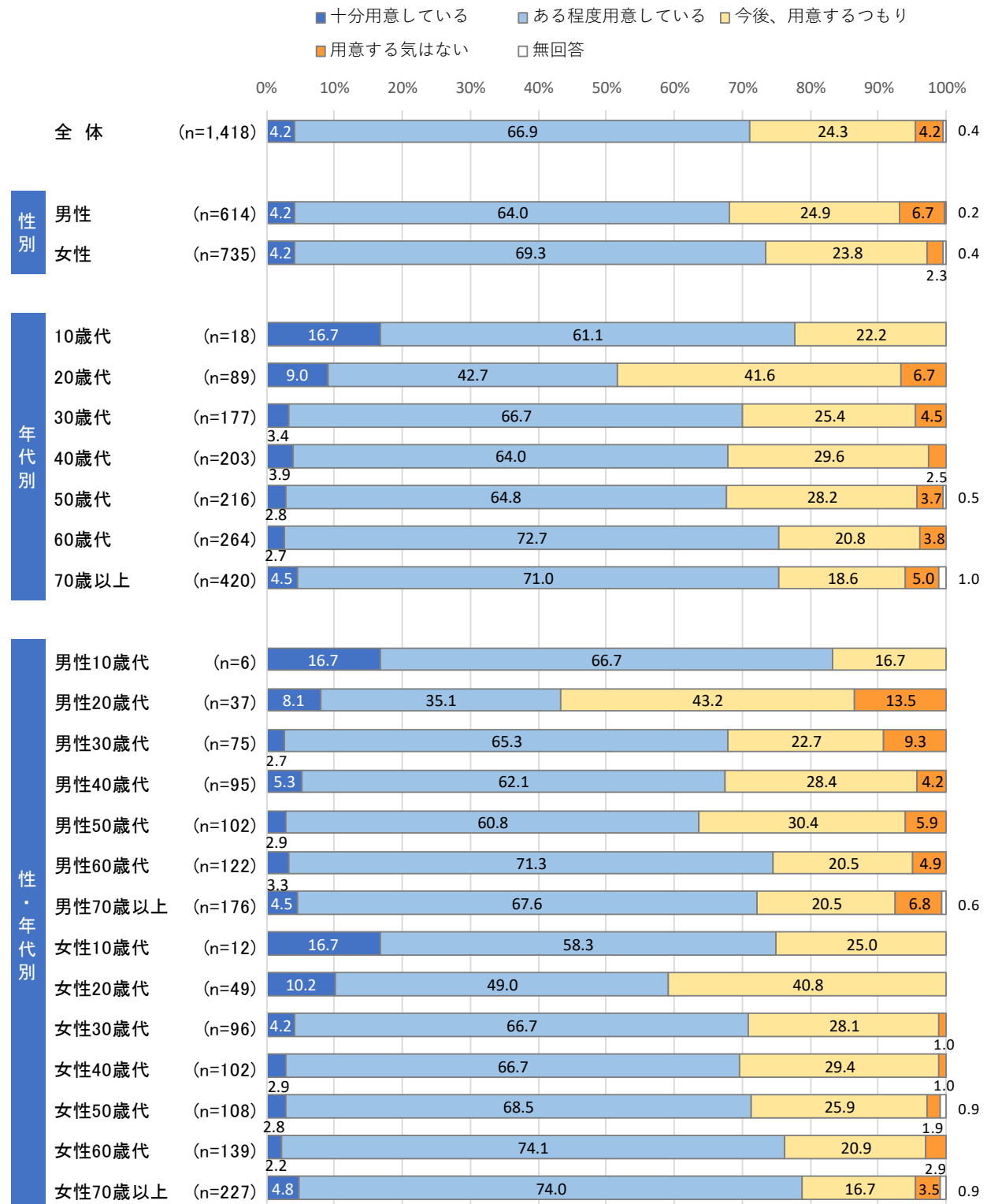
問19 地震などの災害に備え、家庭で非常持ち出し品を用意していますか。

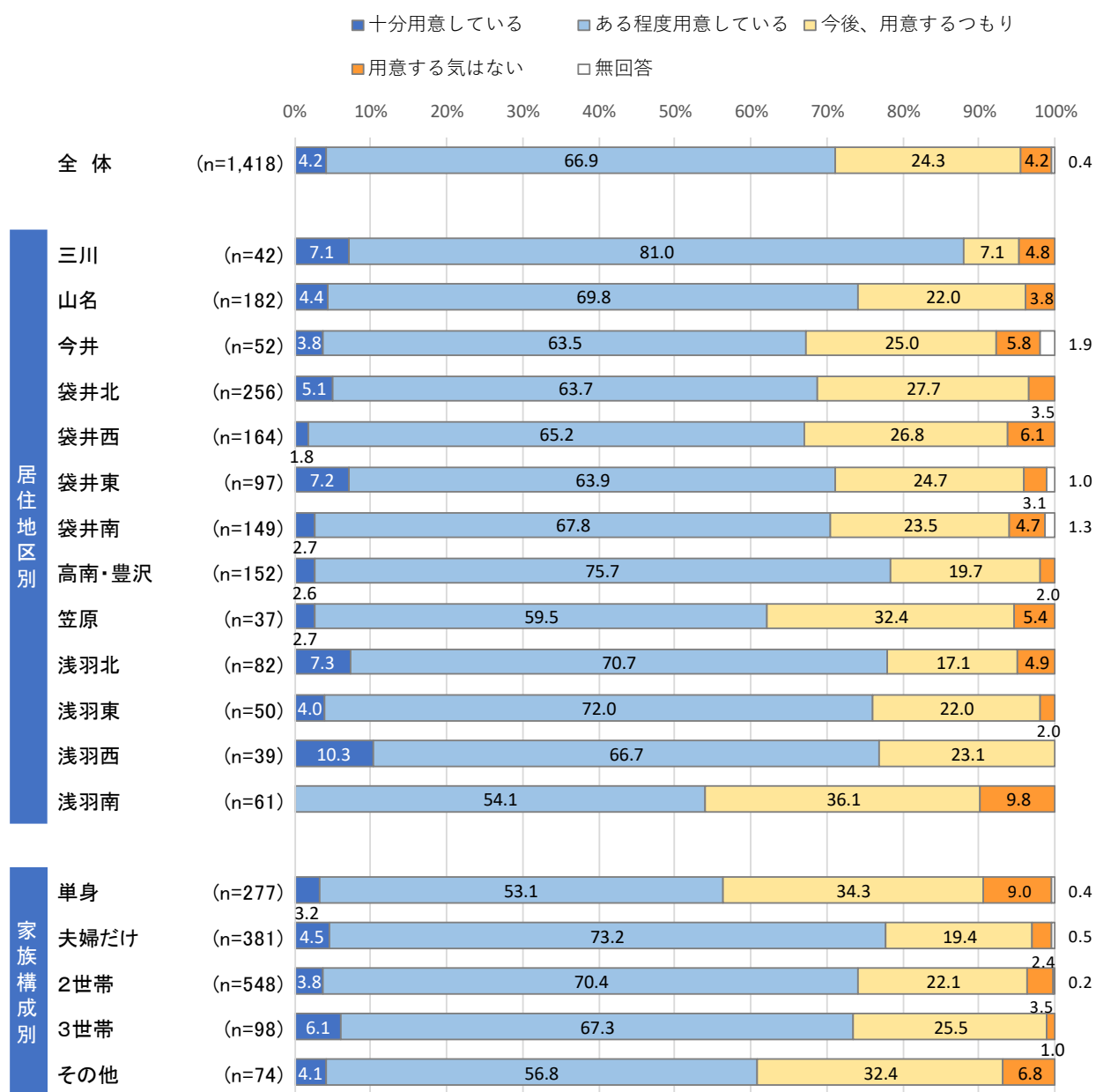
※非常食、飲料水、懐中電灯、毛布、携帯ラジオ、衣類、靴、医薬品、貴重品、筆記用具、ライター、マスク、消毒液、体温計、生活用品など

非常持ち出し品を用意しているかについては、「ある程度用意している」66.9%が最も多く、以下「今後、用意するつもり」24.3%、「十分用意している」と「用意する気はない」が共に4.2%となっています。

年代別でみると、60歳代以上は「ある程度用意している」が7割超と多くなっています。

性・年代別でみると、男女共に10歳代および女性20歳代は「十分用意している」が1割超と他の性・年代と比較して多くなっています。



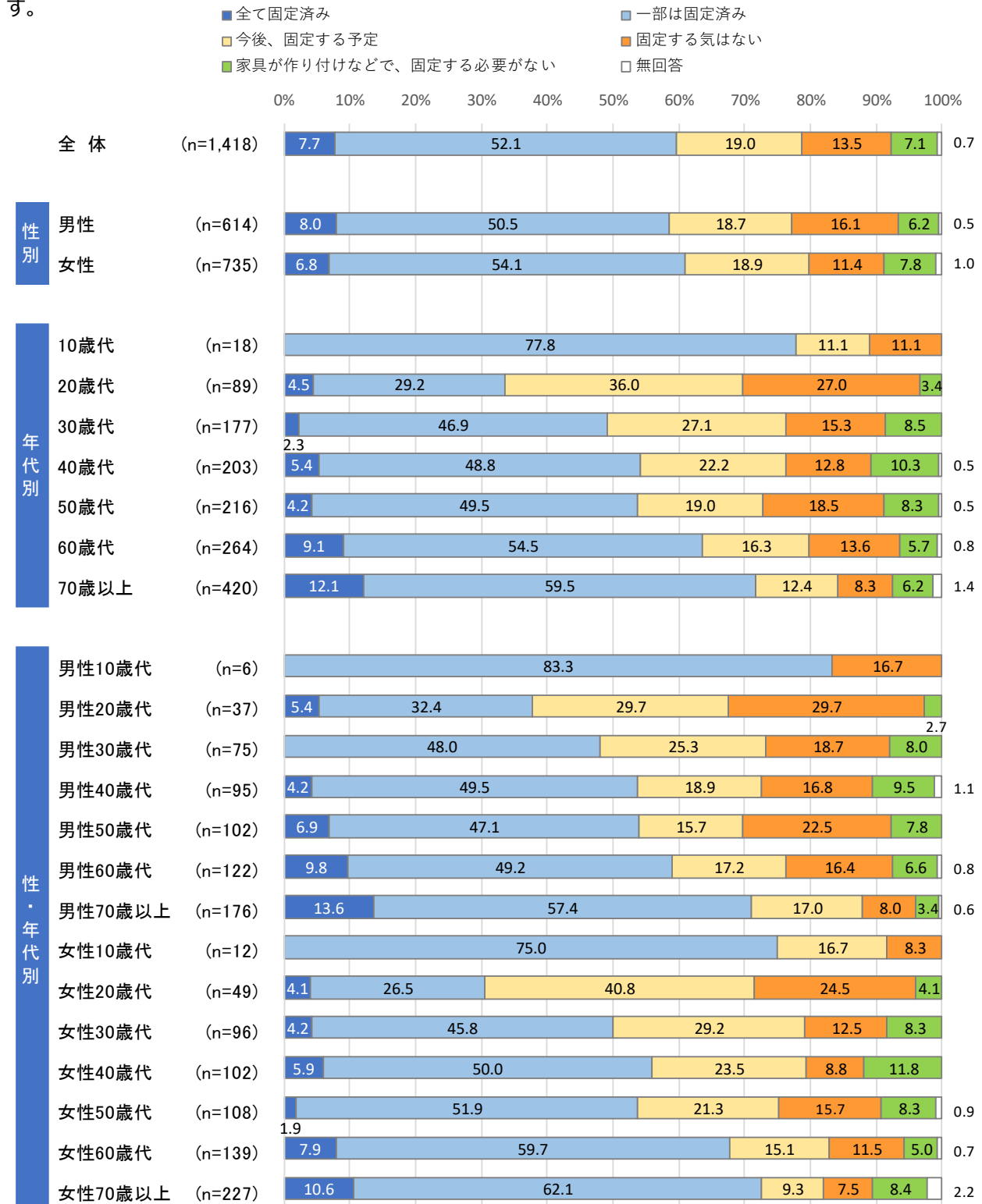


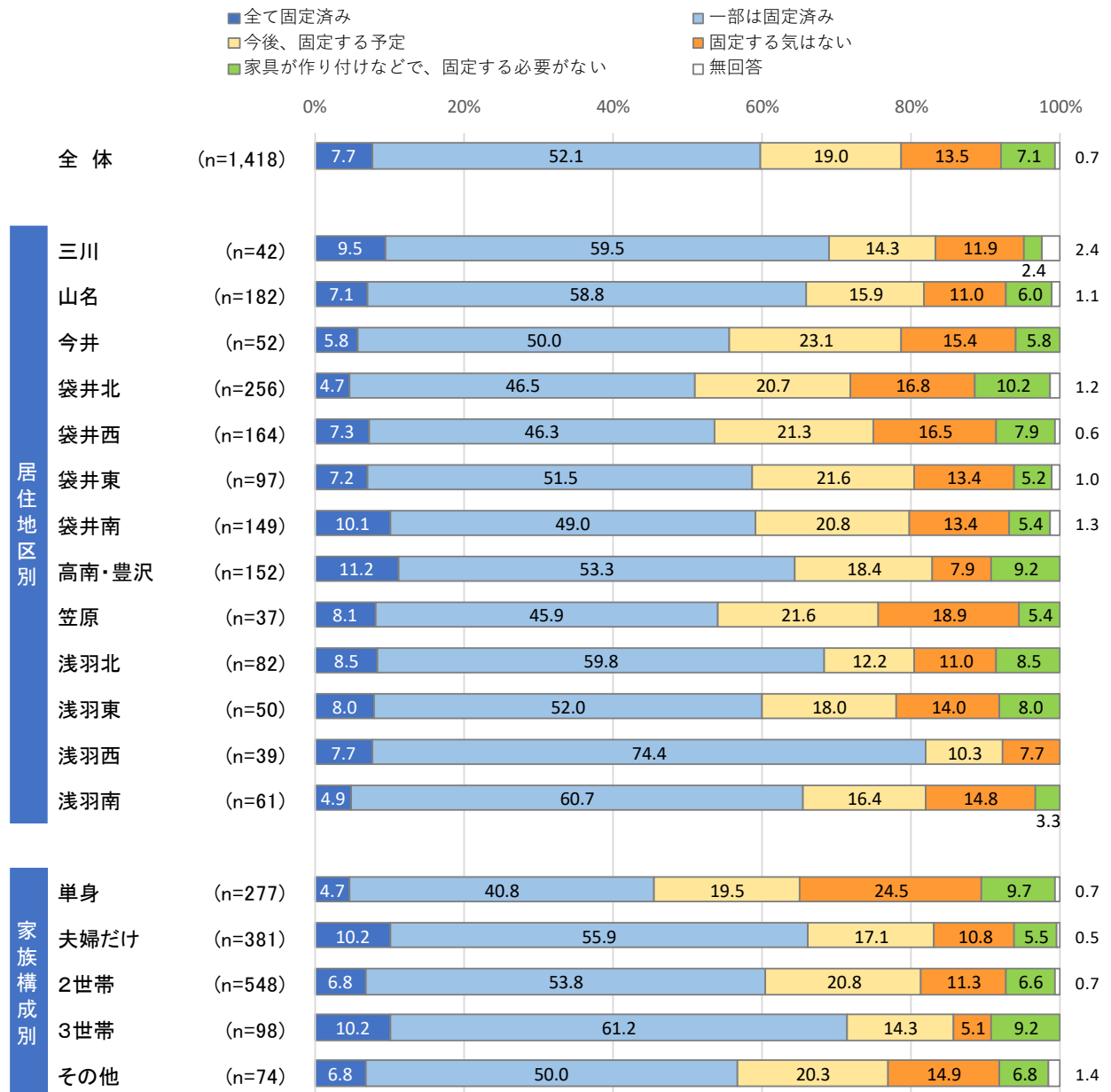
問20 家庭では、地震に備えて家具を固定していますか。

地震に備え家具を固定しているかについては、「一部は固定済み」52.1%が最も多く、以下「今後、固定する予定」19.0%、「固定する気はない」13.5%、「全て固定済み」7.7%、「家具が作り付けなどで、固定する必要がない」7.1%となっています。

年代別でみると、20歳代は「固定する気はない」が3割近くと全体と比較して多く、また、「今後、固定する予定」が4割近くと多くなっています。概ね年代が上がるにつれて、家具の固定化が進んでいる傾向にあります。

性・年代別でみると、男女共に70歳以上は「全て固定済み」が1割超と他の性・年代と比較して多くなっています。





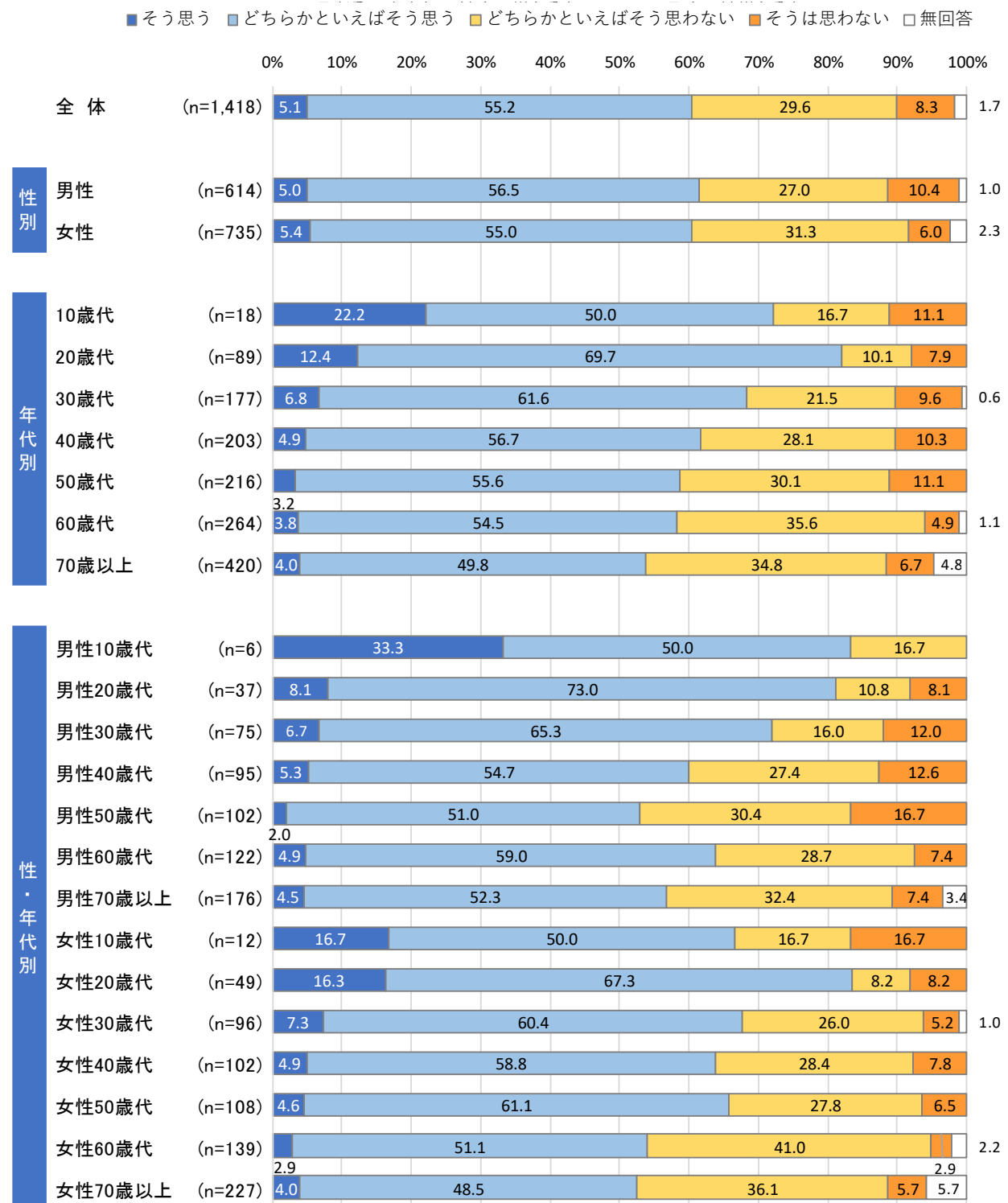
7 人権・男女共同参画について

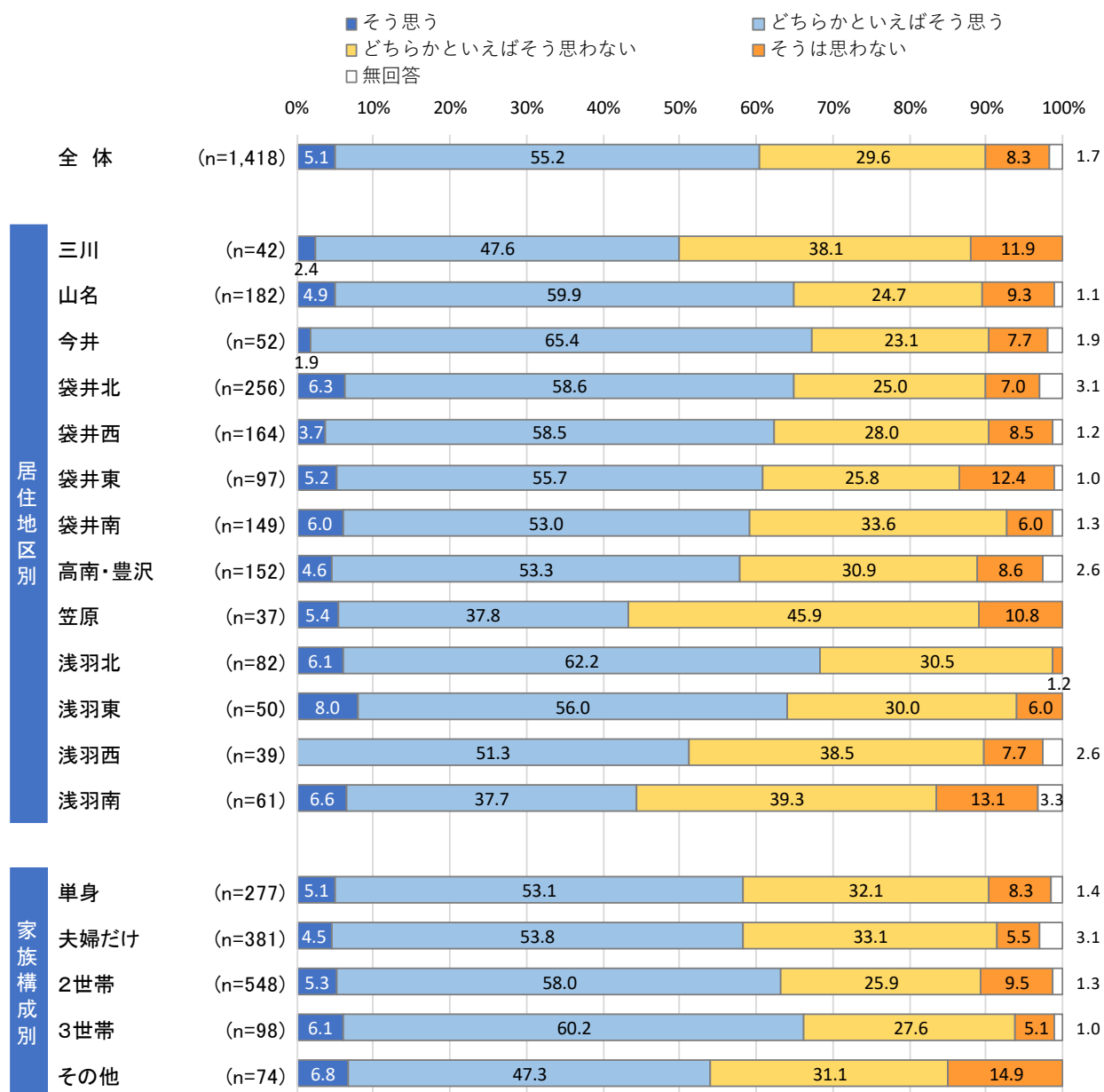
問21 袋井市は市民生活の中に人権尊重の意識が定着していると思いますか。

市民生活の中に人権尊重の意識が定着していると思うかについては、「どちらかといえばそう思う」55.2%が最も多く、以下「どちらかといえばそう思わない」29.6%、「そうは思わない」8.3%、「そう思う」5.1%となっています。

年代別でみると、20歳代は「そう思う」および「どちらかといえばそう思う」が合わせて8割超と多く、年代が上がるにつれて少なくなっています。

性・年代別でみると、男女共に10歳代および女性20歳代で「そう思う」が全体と比較して多くなっています。



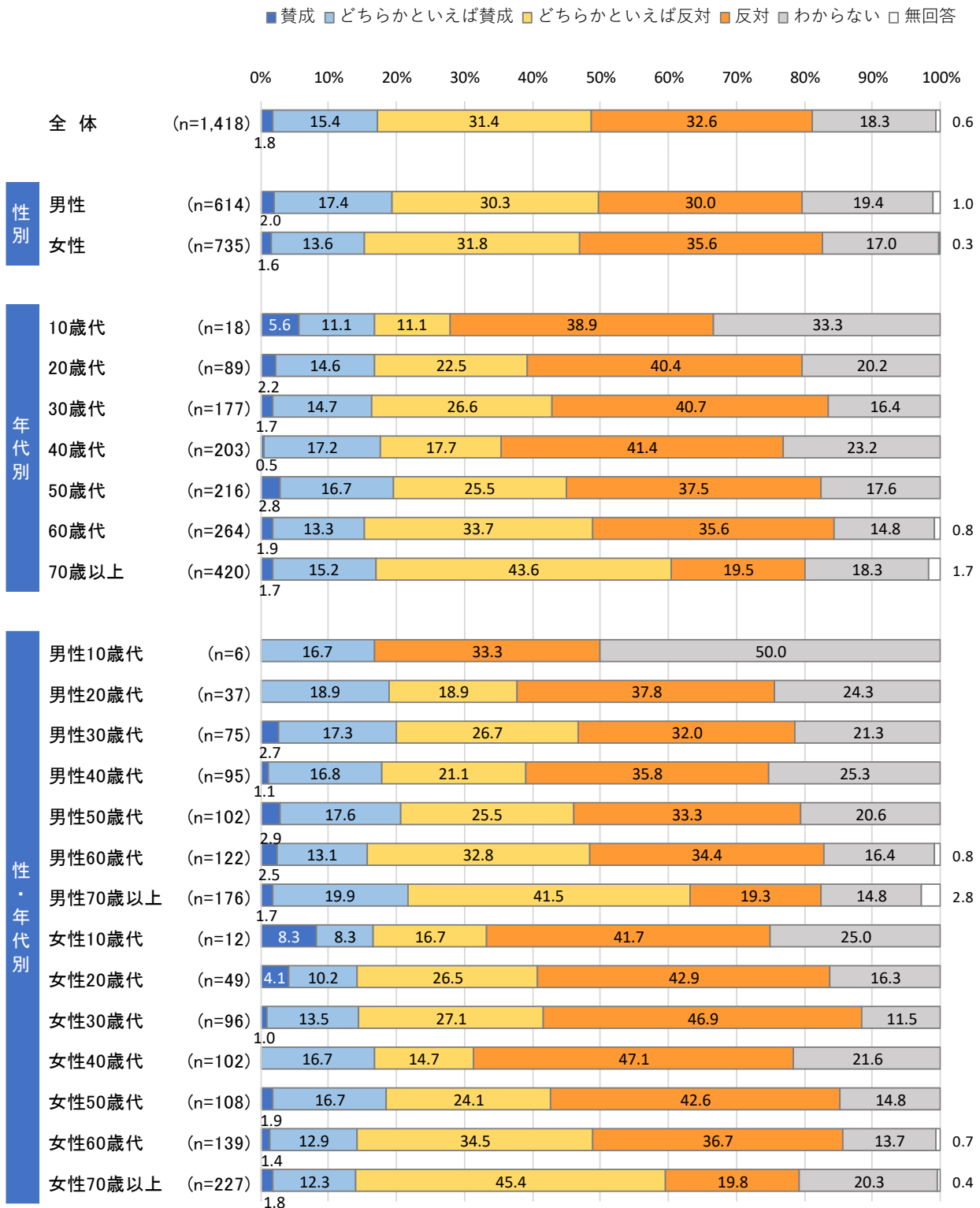


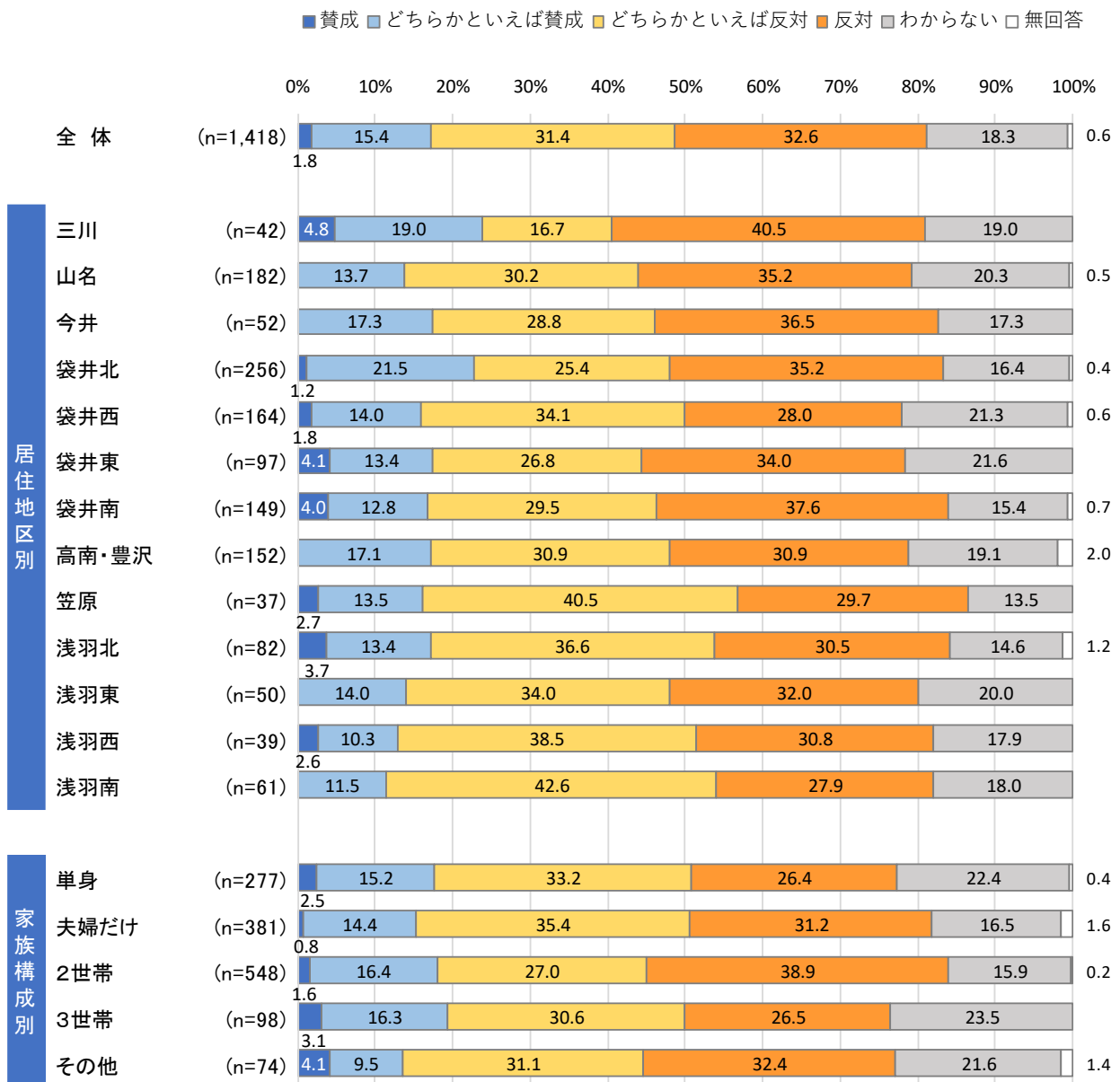
問22 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という男女の役割を固定的に考えることについて、どのようにお考えですか。

男女の役割を固定的に考えることについては、「反対」32.6%が最も多く、以下「どちらかといえば反対」31.4%、「わからない」18.3%、「どちらかといえば賛成」15.4%、「賛成」1.8%となっています。

年代別でみると、20歳代～40歳代は「反対」が4割超と、全体と比較して多くなっています。

性・年代別でみると、男性より女性の方が「反対」が多い傾向にあり、女性50歳代以下は「反対」が4割超となっています。





8 環境意識について

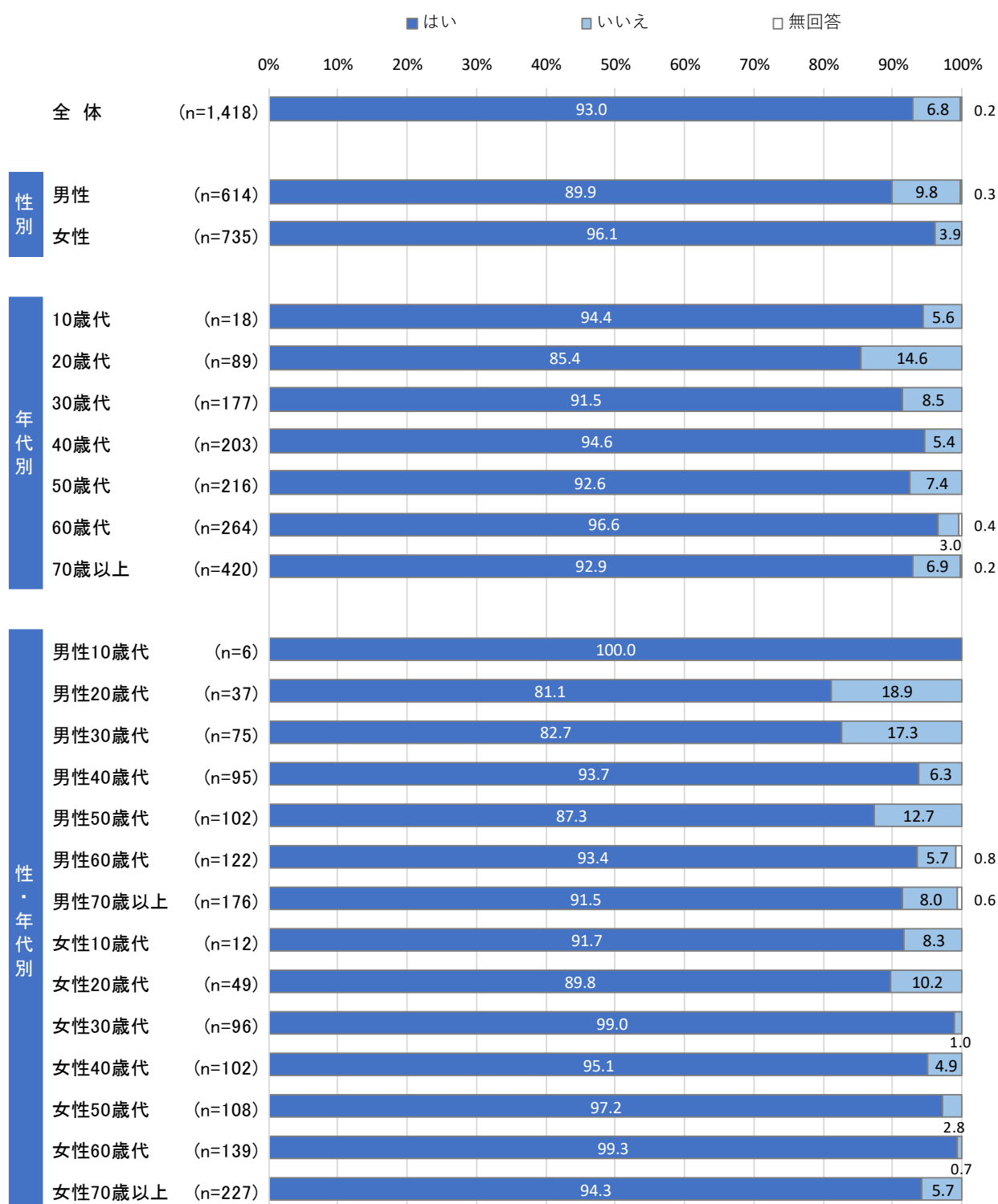
問23 環境に配慮した取り組みを行っていますか。

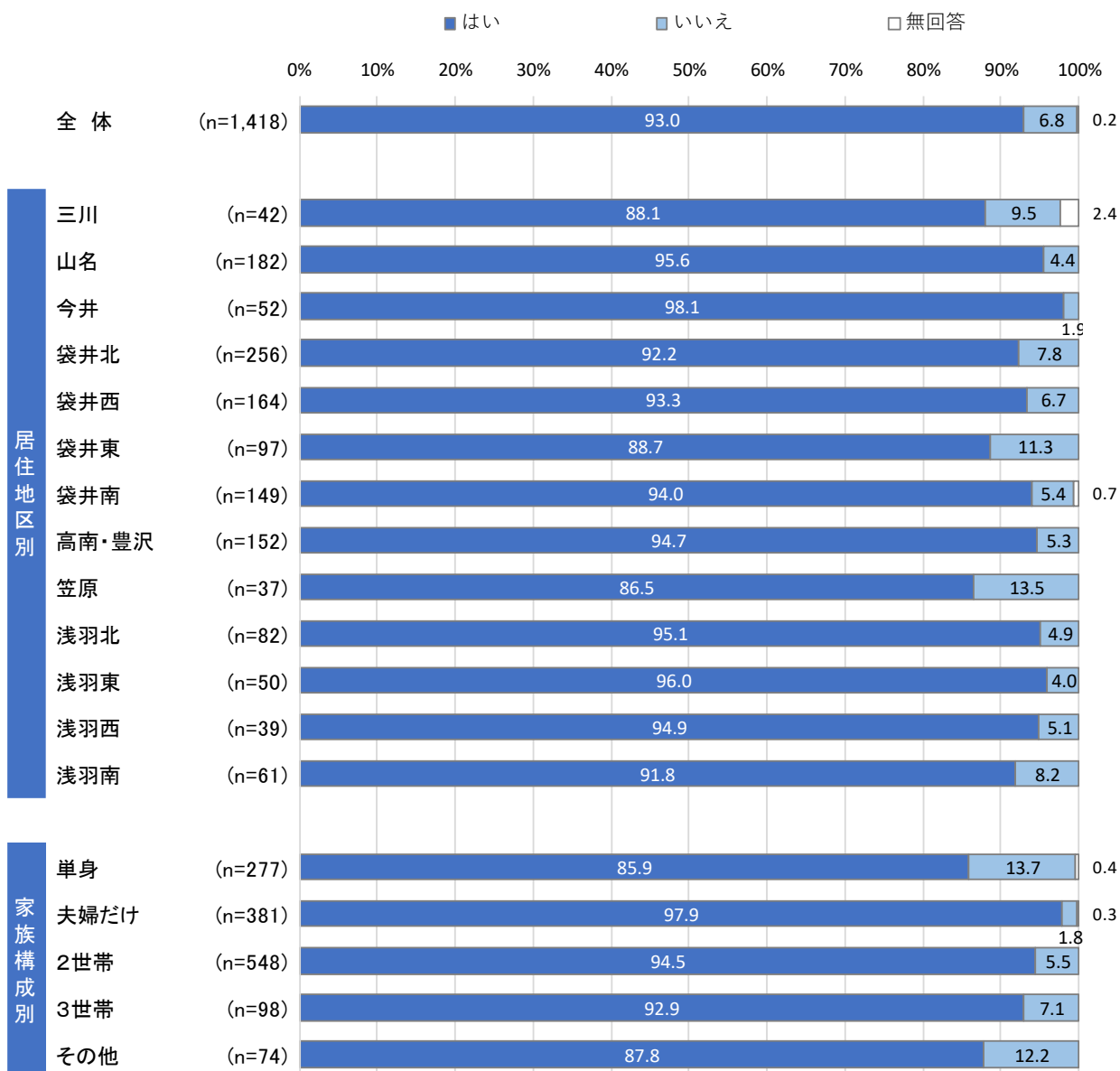
※マイバック持参、水筒の利用、太陽光発電設備設置、ごみの分別、環境美化運動への参加など

環境に配慮した取り組みを行っているかについては、「はい」93.0%、「いいえ」6.8%となっています。

年代別でみると、20歳代は「いいえ」が1割超と多くなっています。

性・年代別でみると、男性20歳代および30歳代は「いいえ」が2割近くと多くなっていますが、それ以外では「はい」が概ね9割前後を占めており、環境意識が高いことがうかがえます。



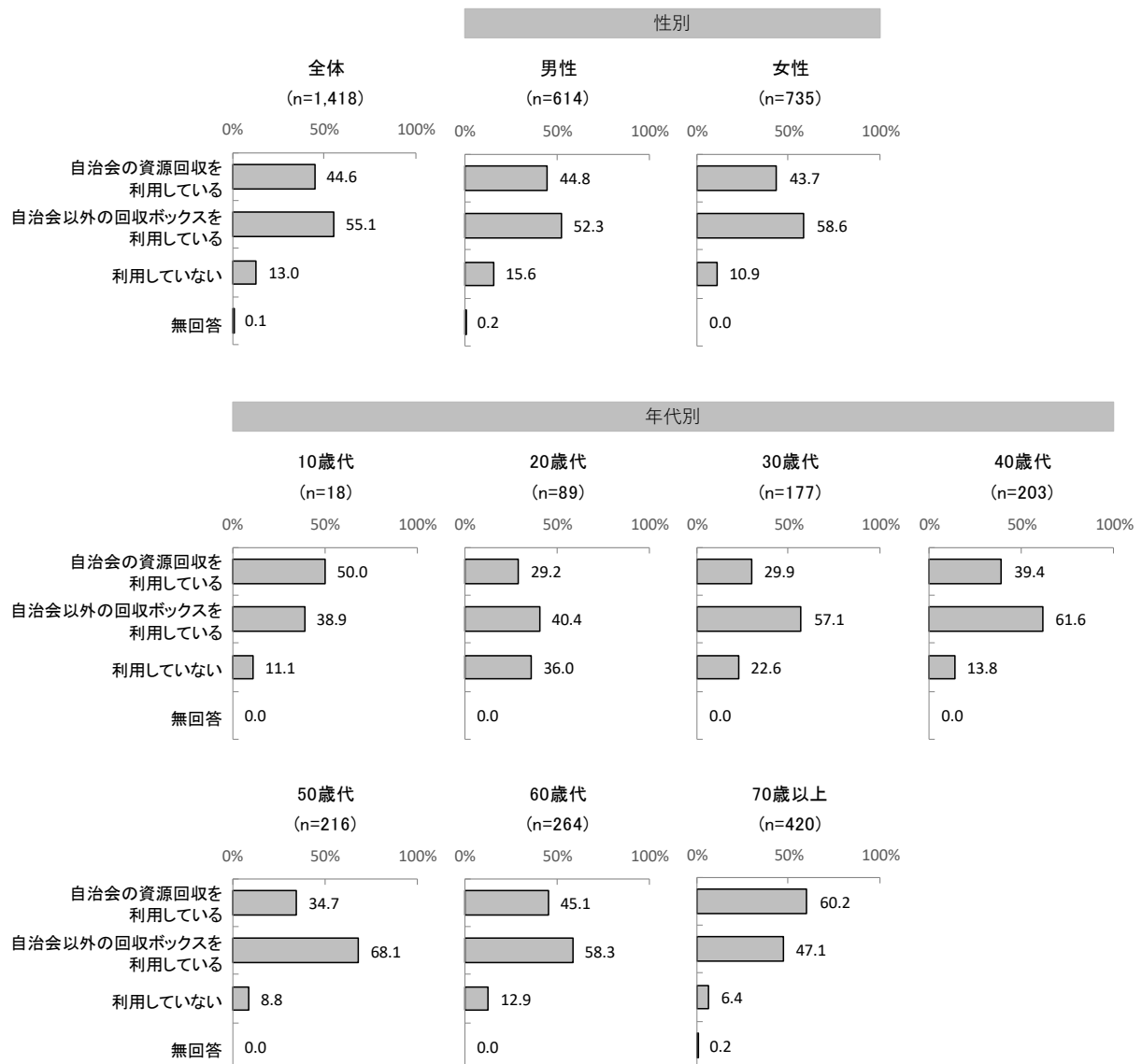


問24 可燃ごみ削減のため、雑がみ回収を利用していますか。

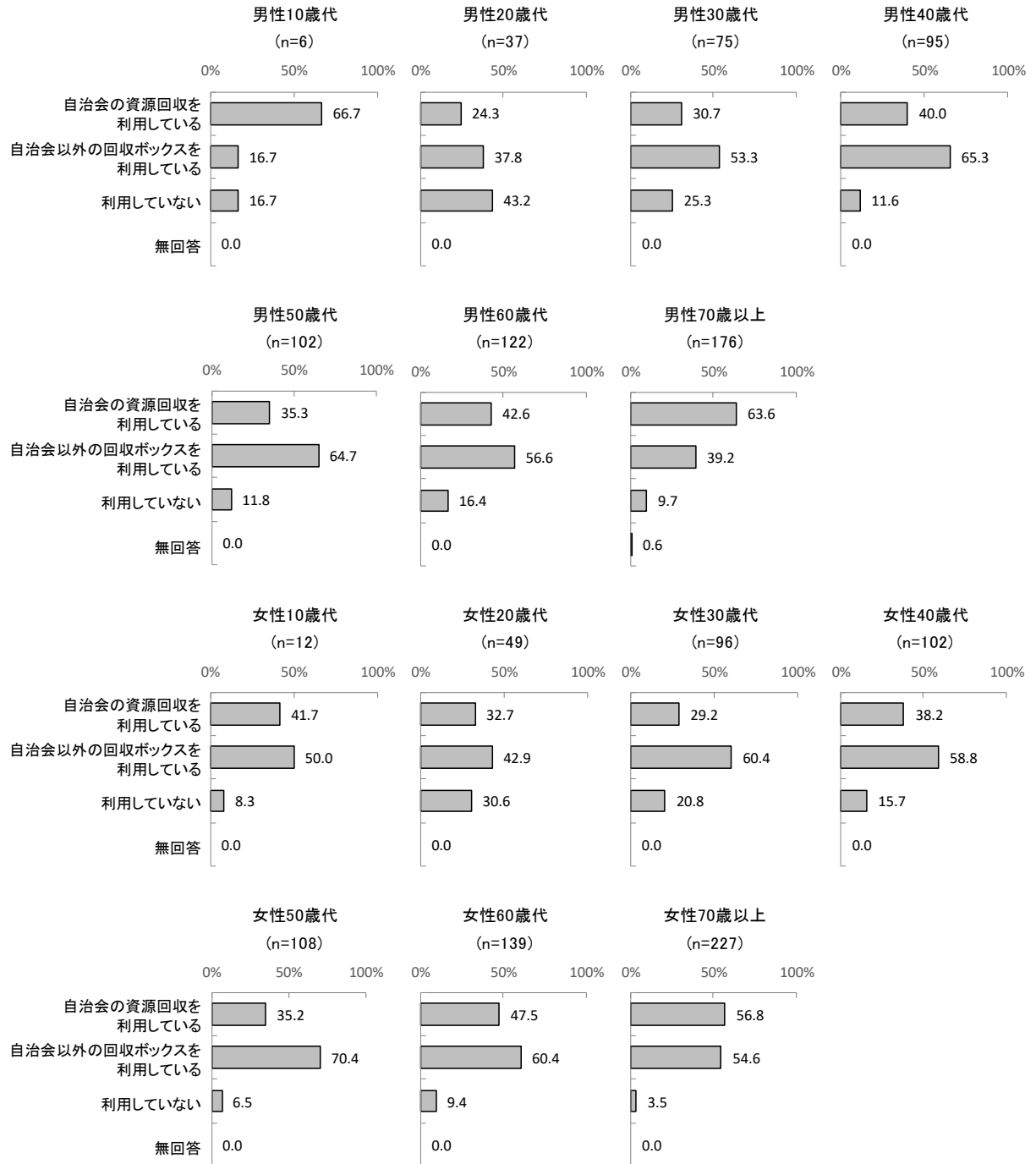
雑がみ回収の利用については、「自治会の資源回収を利用している」44.6%、「自治会以外の回収ボックスを利用している」55.1%と、多くの方が雑がみの回収を実施している状況となっています。

年代別でみると、年代が上がるにつれ「自治会の資源回収を利用している」が多くなる傾向にあり、70歳以上では「自治会の資源回収を利用している」が6割と多くなっています。一方、年代が下がるにつれ「利用していない」が多くなる傾向にあり、20歳代では「利用していない」が4割近くとなっています。

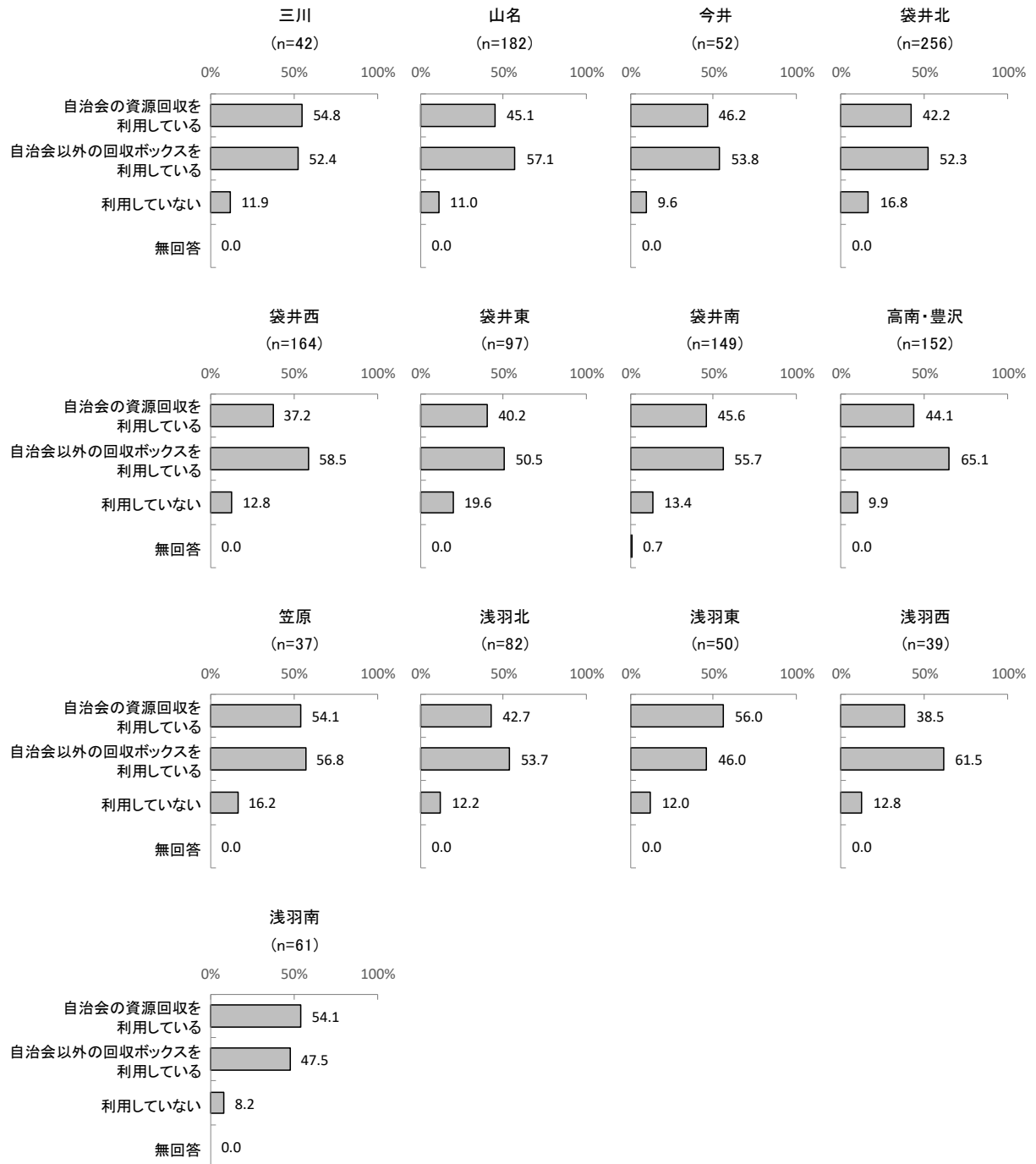
性・年代別でみると、女性50歳代では「自治会以外の回収ボックスを利用している」が7割と他の性・年代と比較して最も多くなっています。

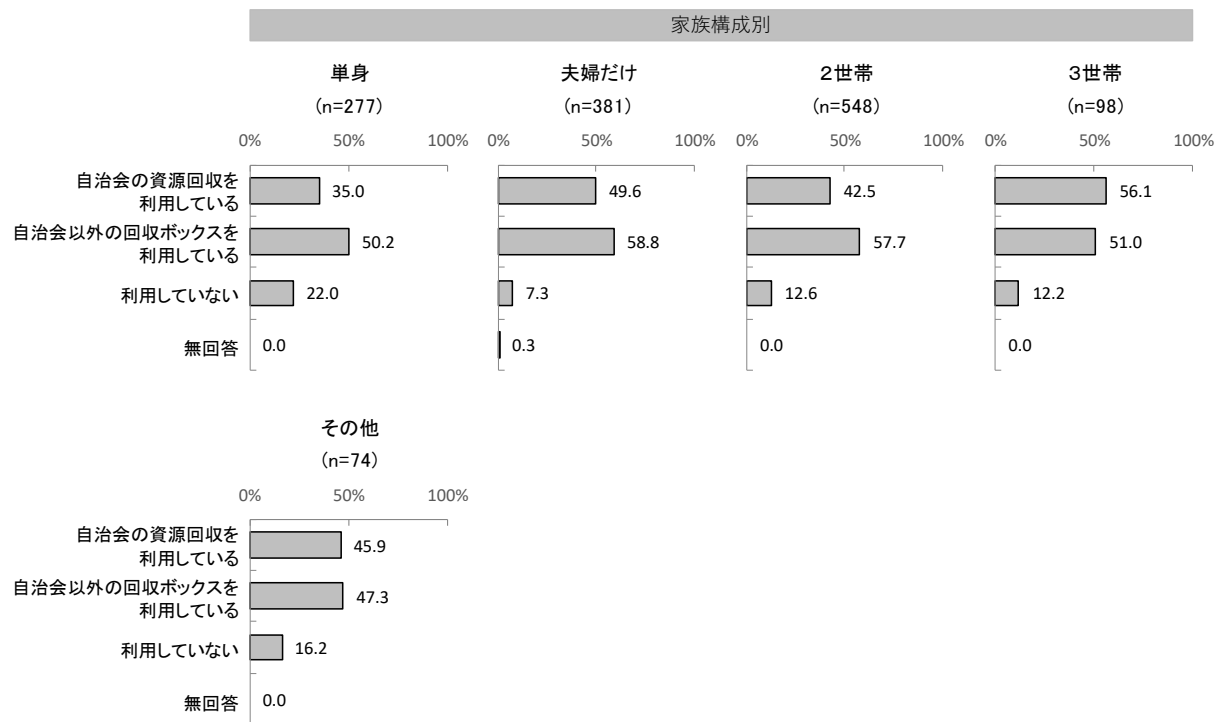


性・年代別



居住地区別





9 市のデジタル化について

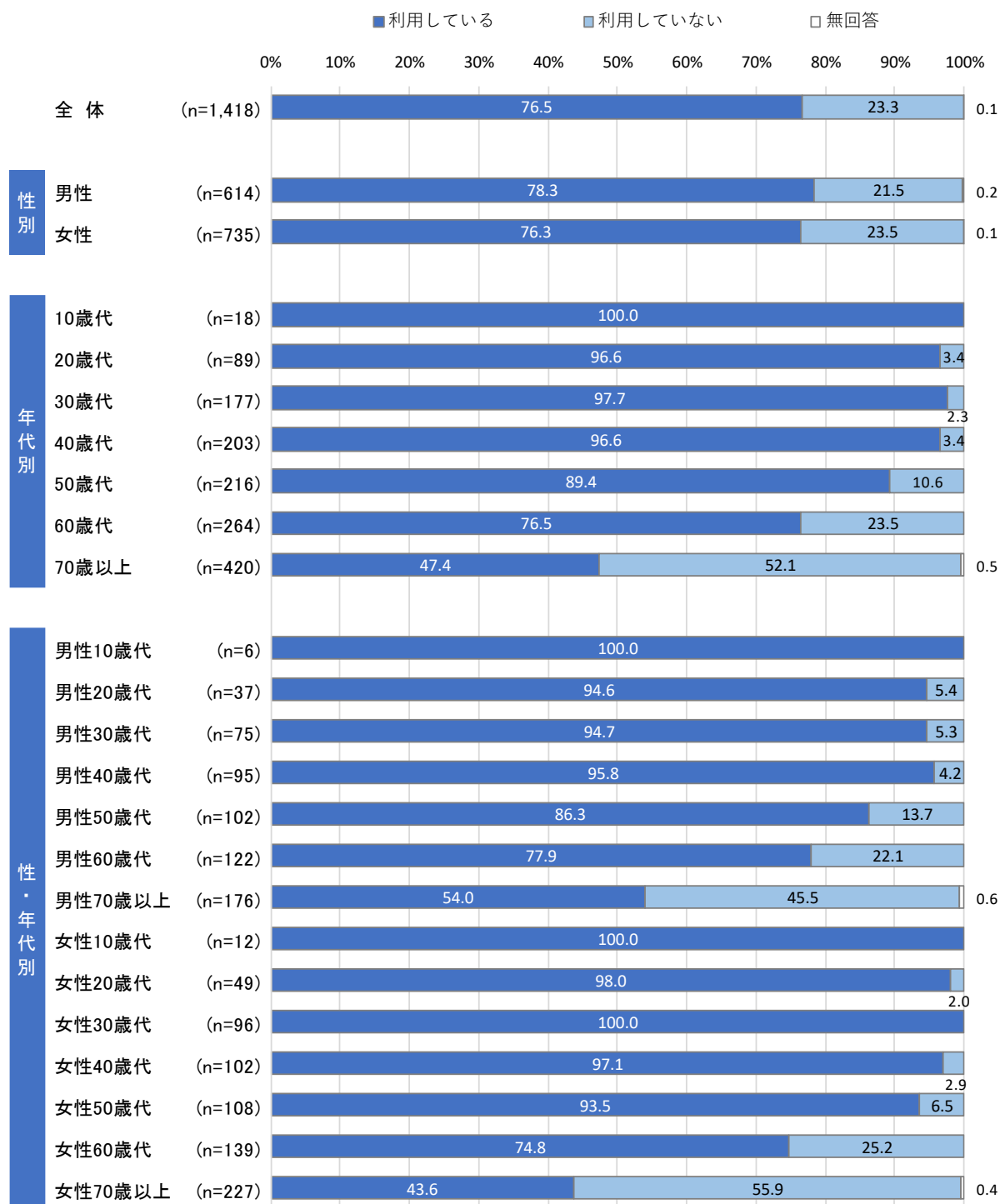
問25 日常生活でインターネット※を利用していますか。

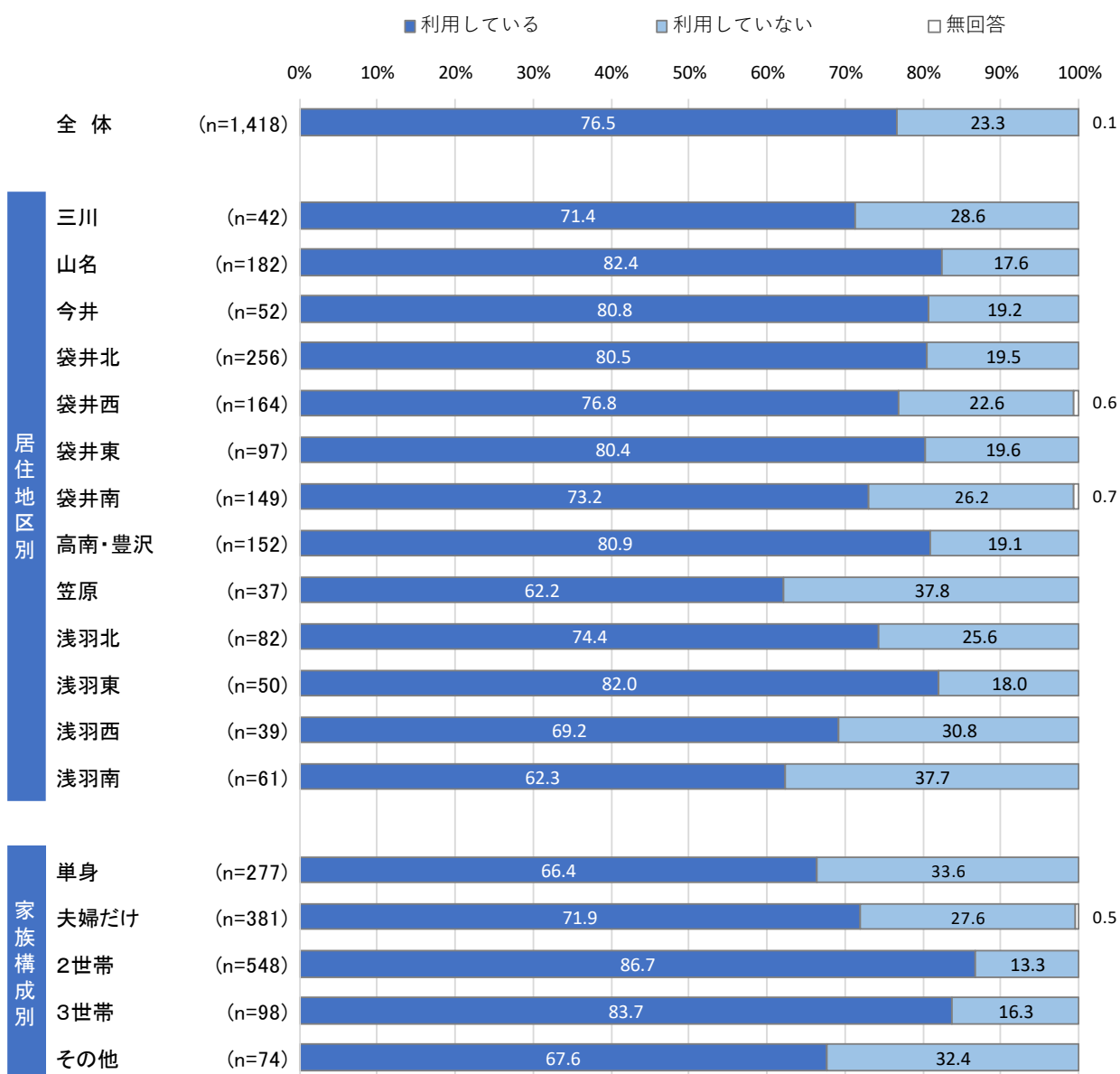
※パソコンやスマートフォン等を用いて、Webサイトの閲覧や電子メールの送受信、SNS・チャットツールの利用等を行うこと

インターネットの利用状況については、「利用している」76.5%、「利用していない」23.3%となっています。

年代別でみると、40歳代以下は「利用している」が10割近くと多くっており、50歳代以上では年代が上がるにつれて「利用している」が少なくなっています。

性・年代別でみると、60歳代以上では男性より女性の方が「利用している」は少なくなっており、女性70歳以上は「利用している」が5割未満と他の性・年代と比較して最も少なくなっています。



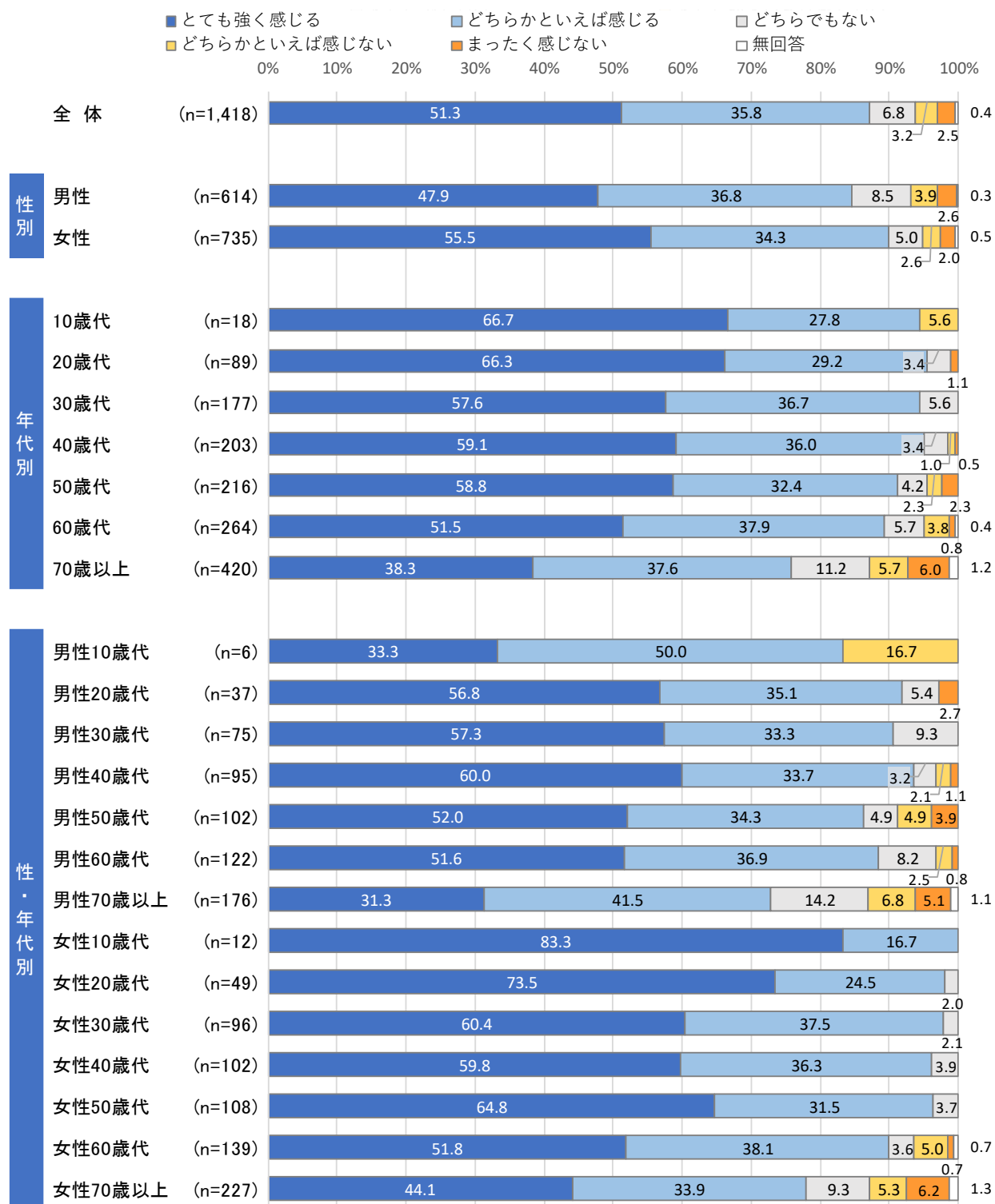


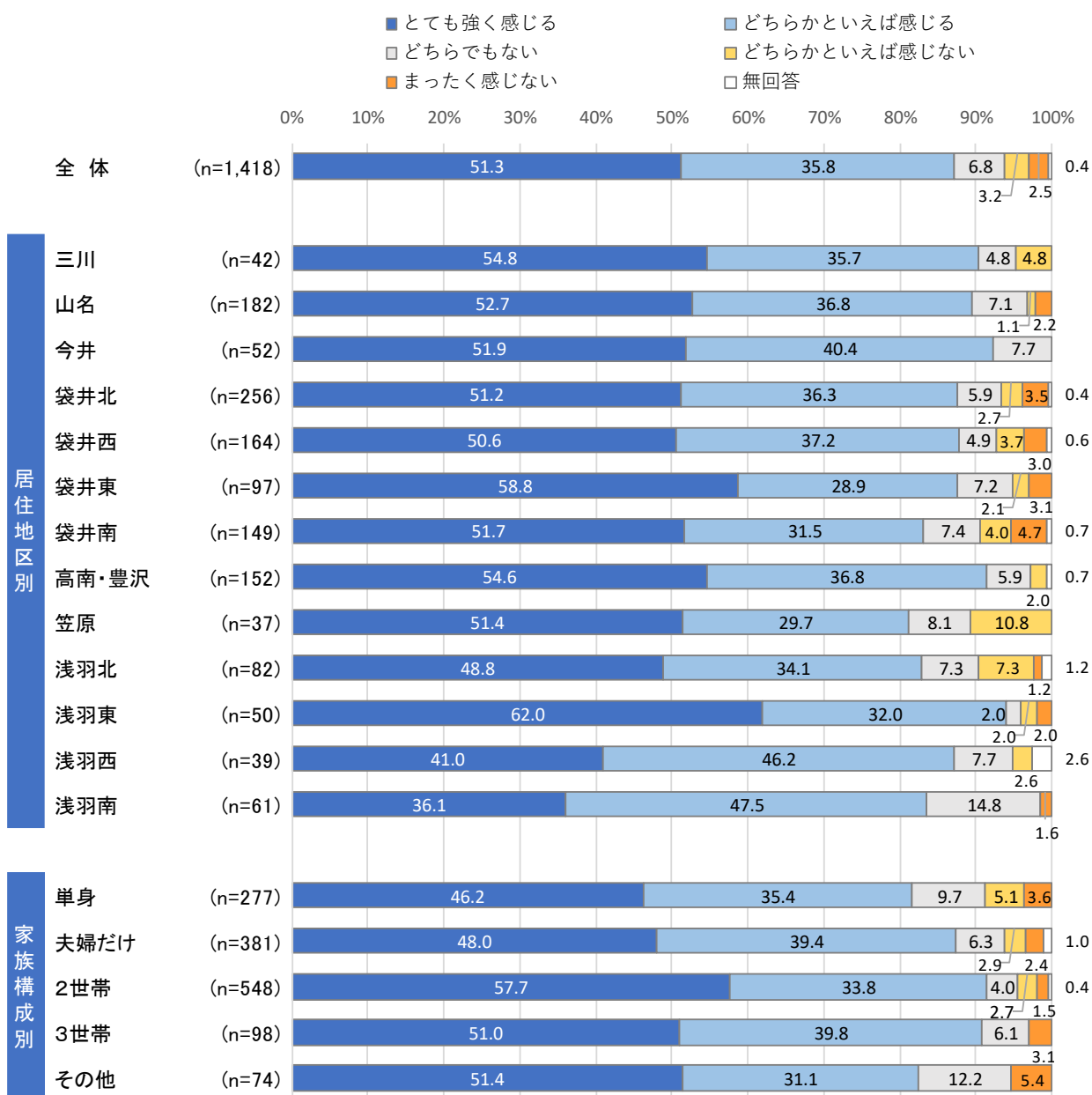
問26 社会のデジタル化が進んでいることについて、日ごろ生活で実感することはありますか。
 ※インターネットサービスの充実やオンライン教育・テレワークの普及、電子マネー・QRコード決済による
 キャッシュレス化、行政サービスのオンライン化など

社会のデジタル化を実感するかについては、「とても強く感じる」51.3%が最も多く、以下「どちらかといえば感じる」35.8%、「どちらでもない」6.8%、「どちらかといえば感じない」3.2%、「まったく感じない」2.5%となっています。

年代別でみると、50歳代以下は「とても強く感じる」および「どちらかといえば感じる」を合わせて9割超が実感しており、70歳以上においても8割近くが社会のデジタル化を実感しています。

性・年代別でみると、男性より女性の方がデジタル化を実感している傾向にあります。



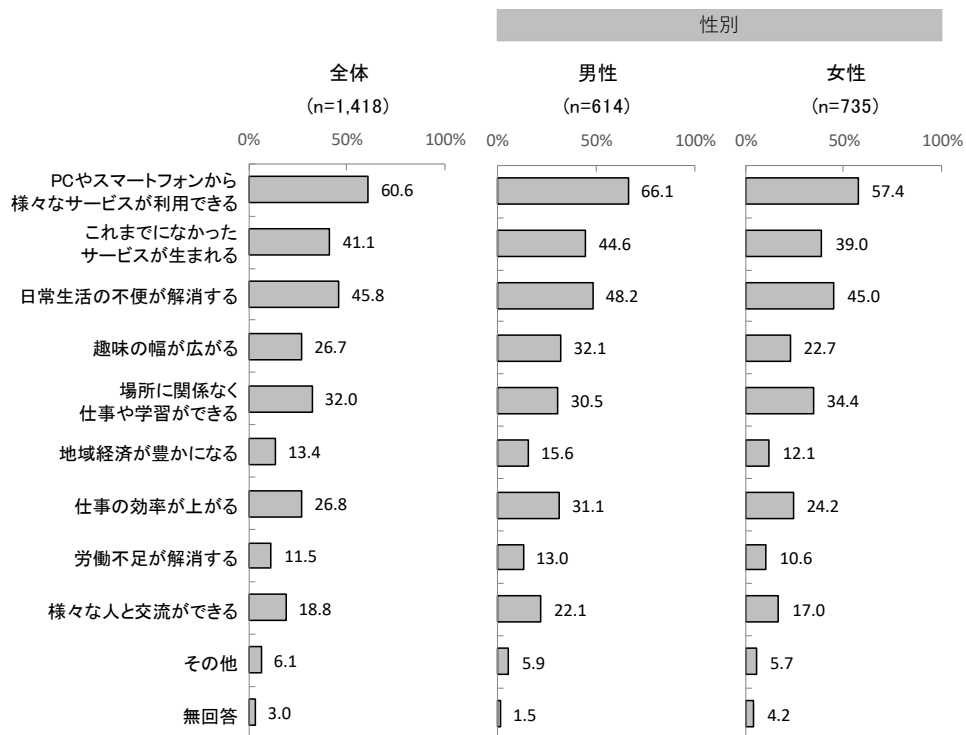


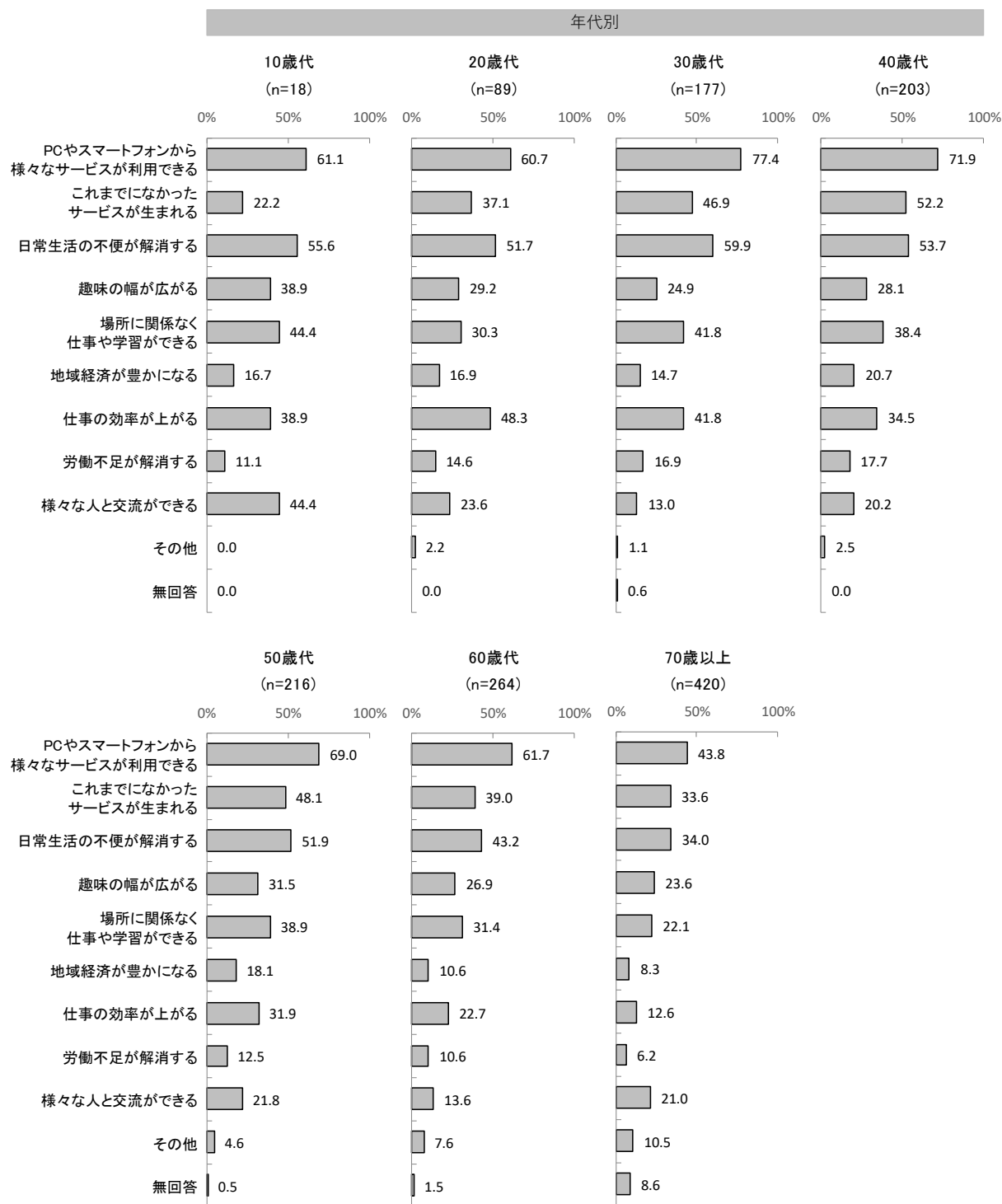
問27 社会のデジタル化が進むことで期待することは何ですか。

社会のデジタル化で期待することについては、「PCやスマートフォンから様々なサービスが利用できる」60.6%が最も多く、以下「日常生活の不便が解消する」45.8%、「これまでになかったサービスが生まれる」41.1%、「場所に関係なく仕事や学習ができる」32.0%、「仕事の効率が上がる」26.8%などとなっています。

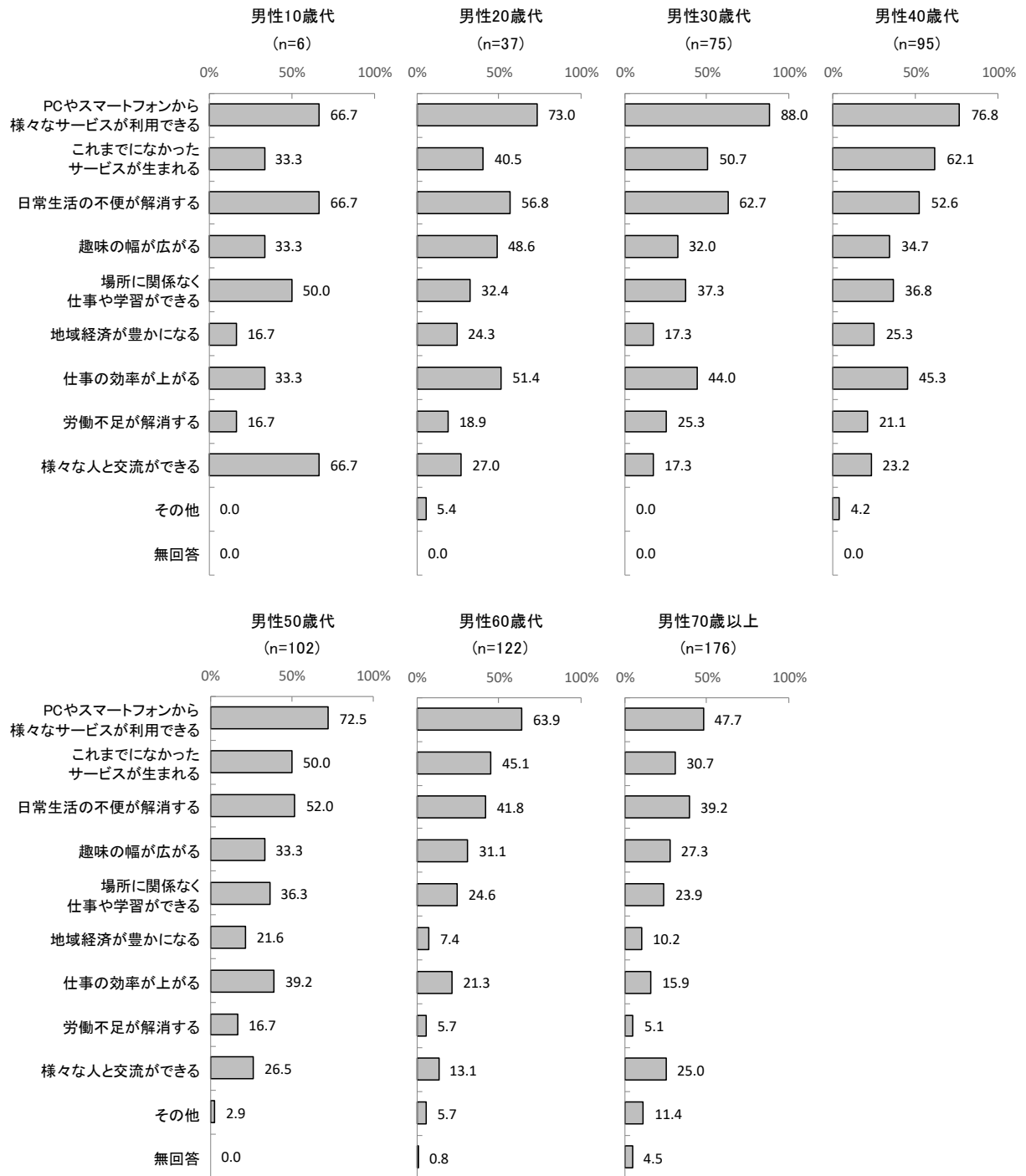
年代別でみると、全年代で「PCやスマートフォンから様々なサービスが利用できる」が最も多く、次いで「日常生活の不便が解消する」が多くなっています。3番目に多い項目としては、20歳代では「仕事の効率が上がる」、30歳代以上では「これまでになかったサービスが生まれる」となっています。

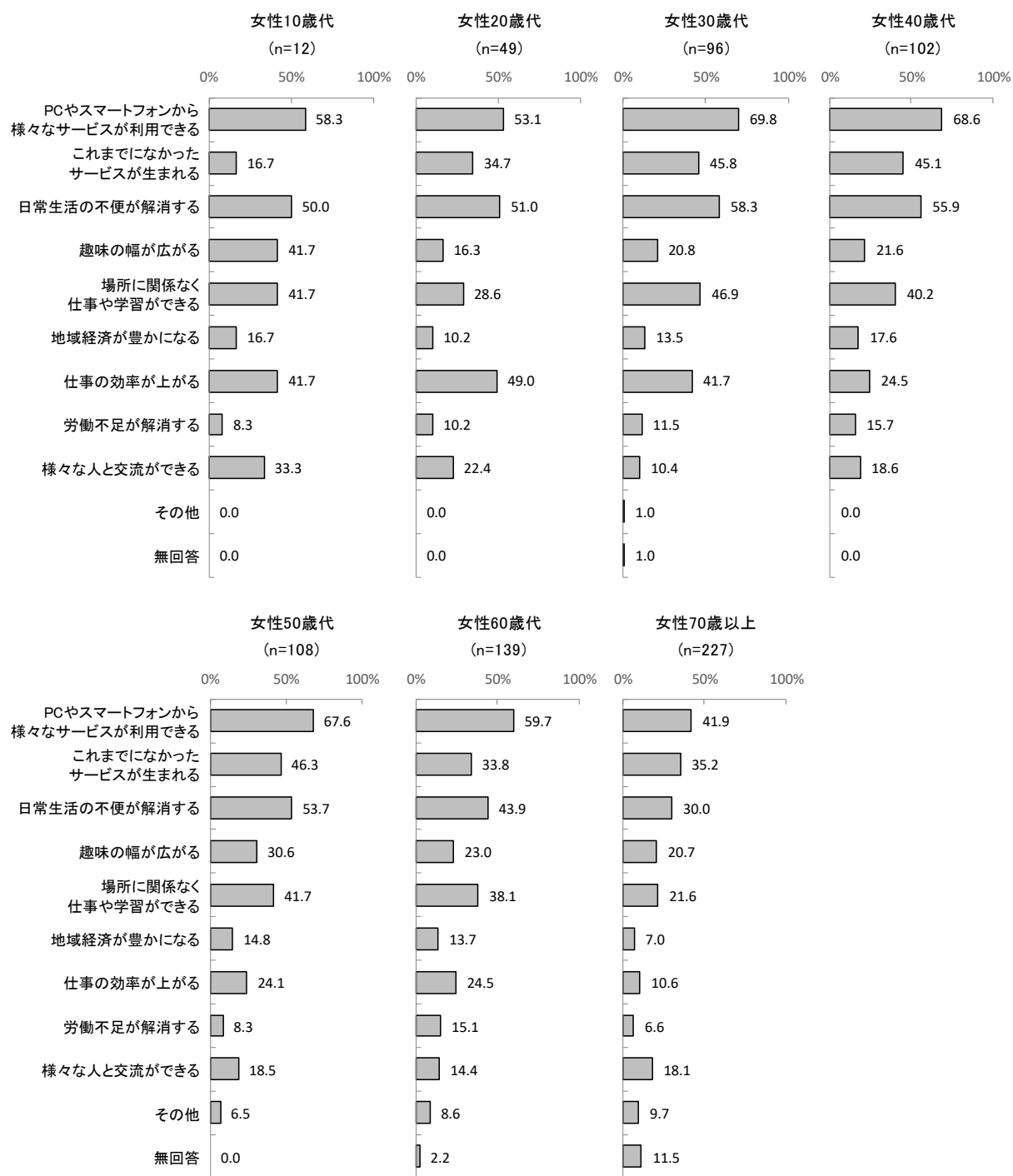
性・年代別でみると、全ての性・年代で「PCやスマートフォンから様々なサービスが利用できる」が最も多くなっています。2番目に多い項目として、多くの性・年代では「日常生活の不便が解消する」、男性40歳代、男性60歳代および女性70歳以上は「これまでになかったサービスが生まれる」となっています。また、3番目に多い項目として、男女共に20歳代は「仕事の効率が上がる」、女性30歳代および女性60歳代は「場所に関係なく仕事や学習ができる」となっています。



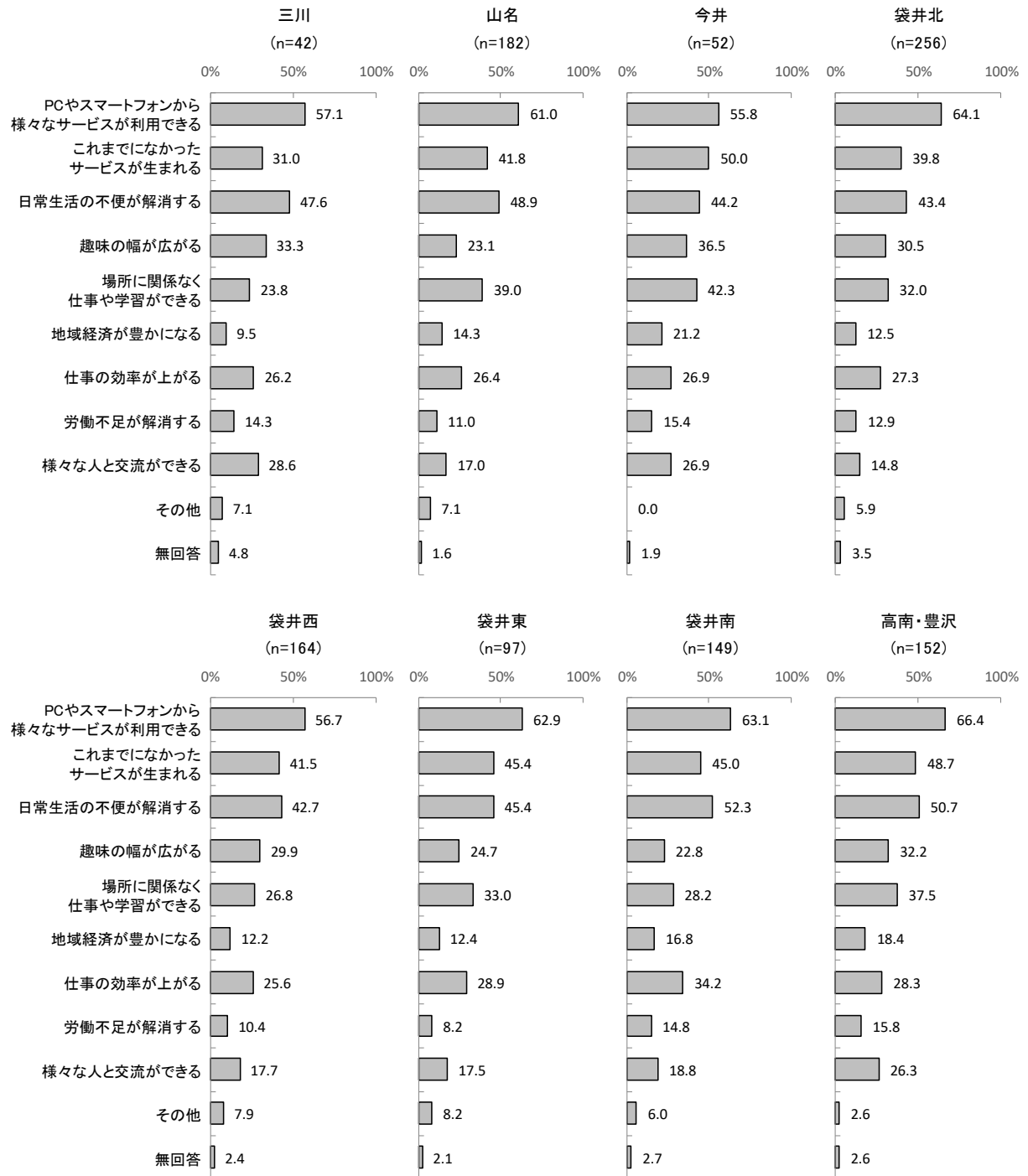


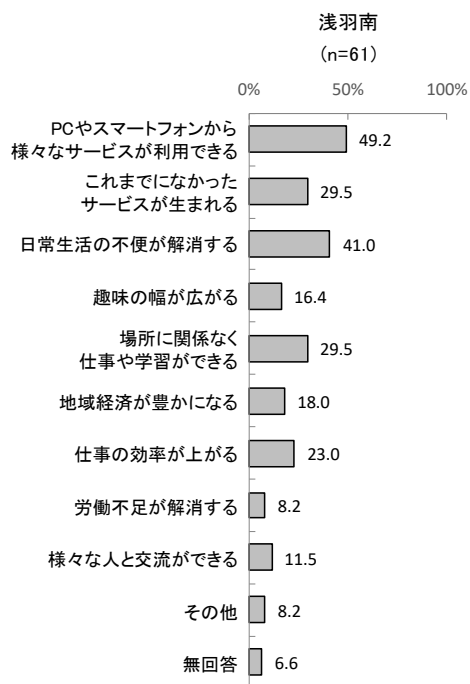
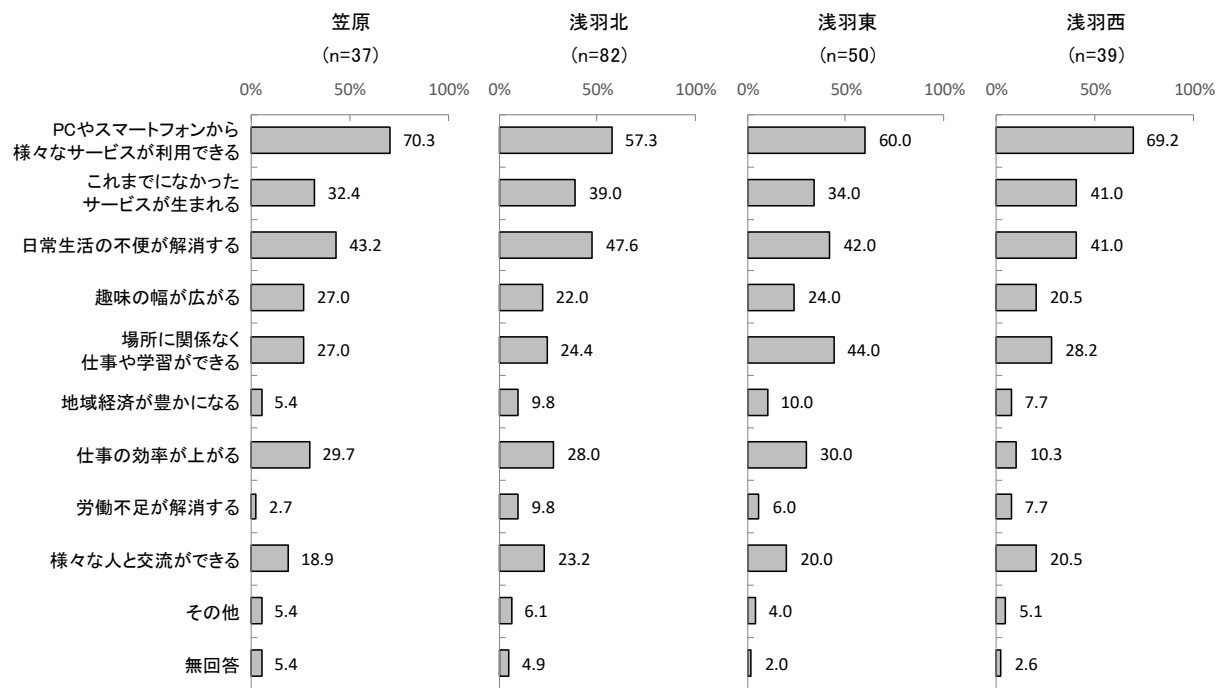
性・年代別

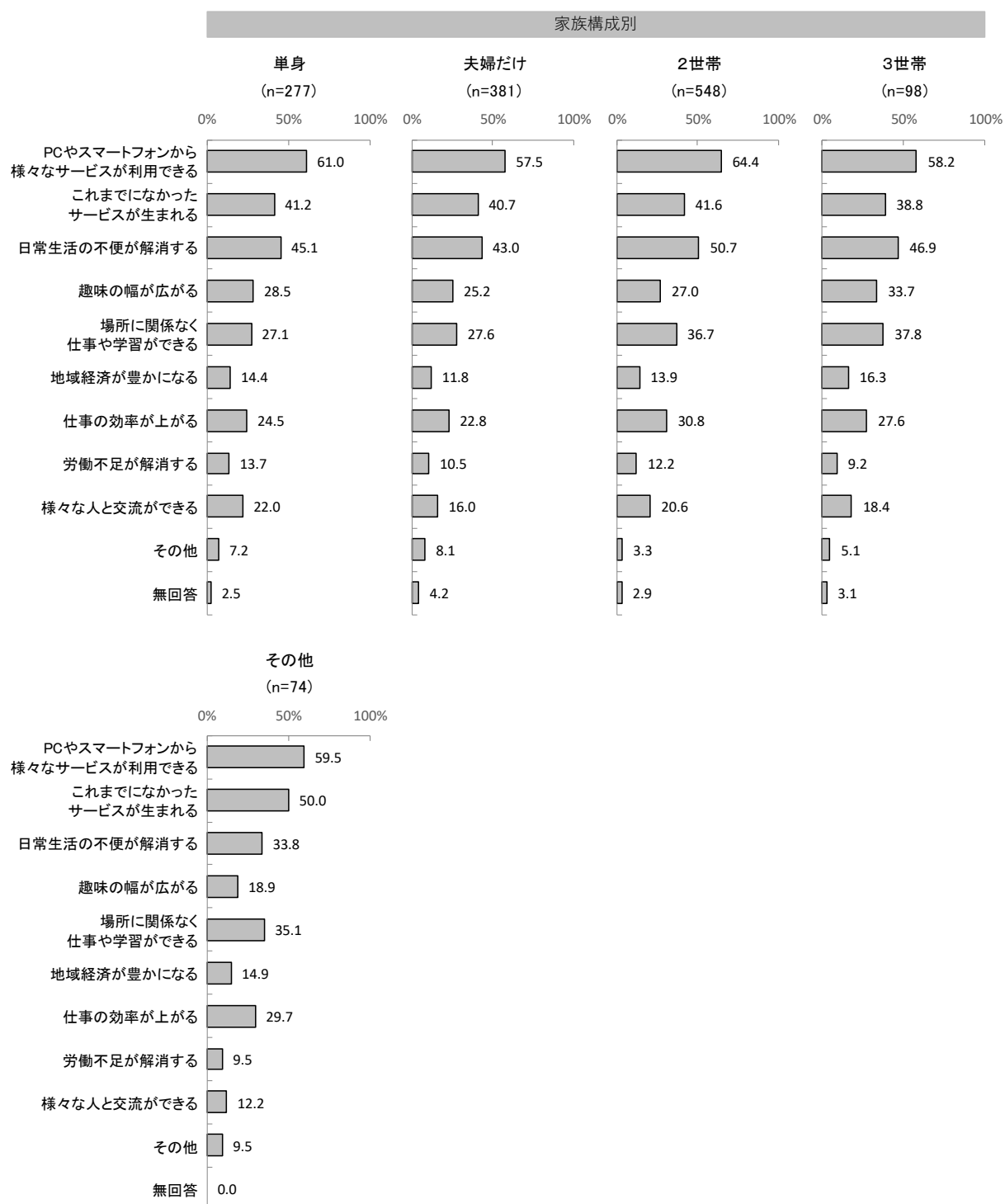




居住地区別





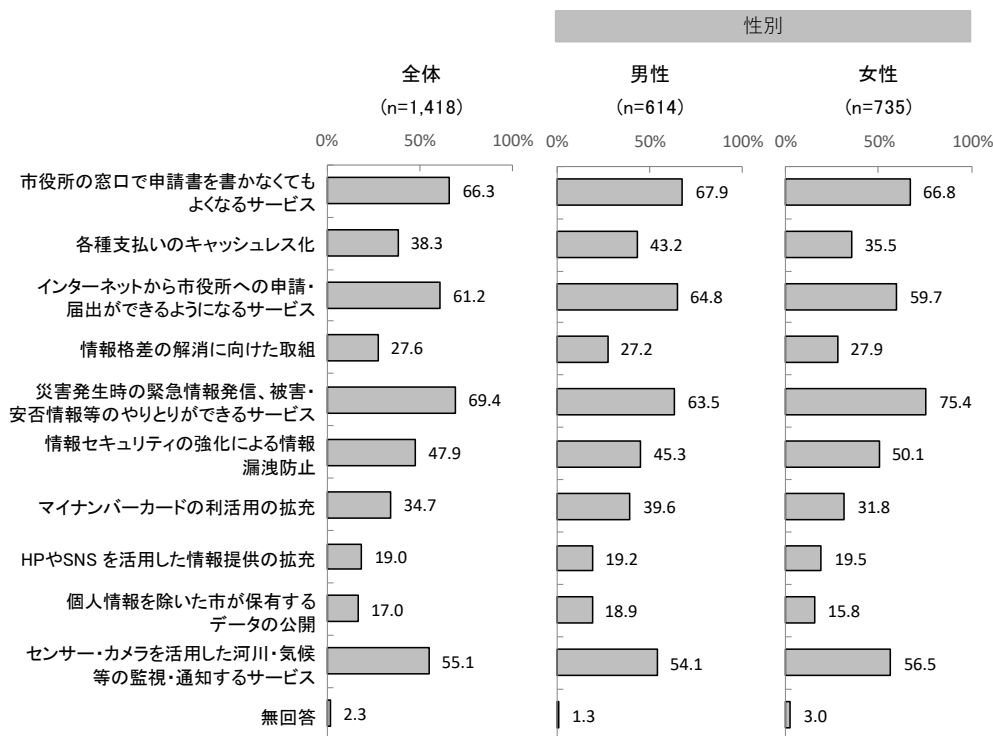


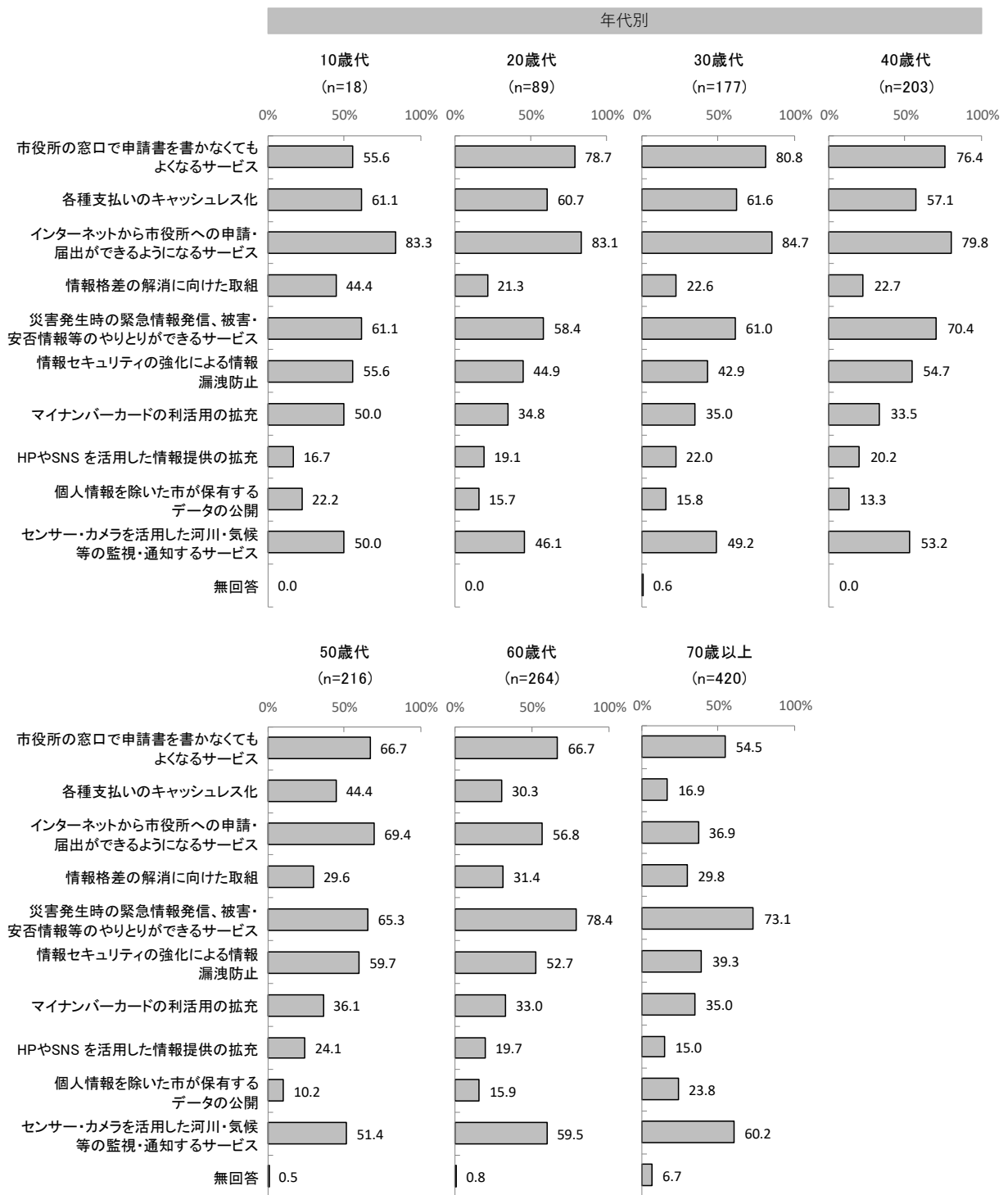
問28 今後、袋井市で重点を置くべきだと思うデジタル関連サービス等は何ですか。

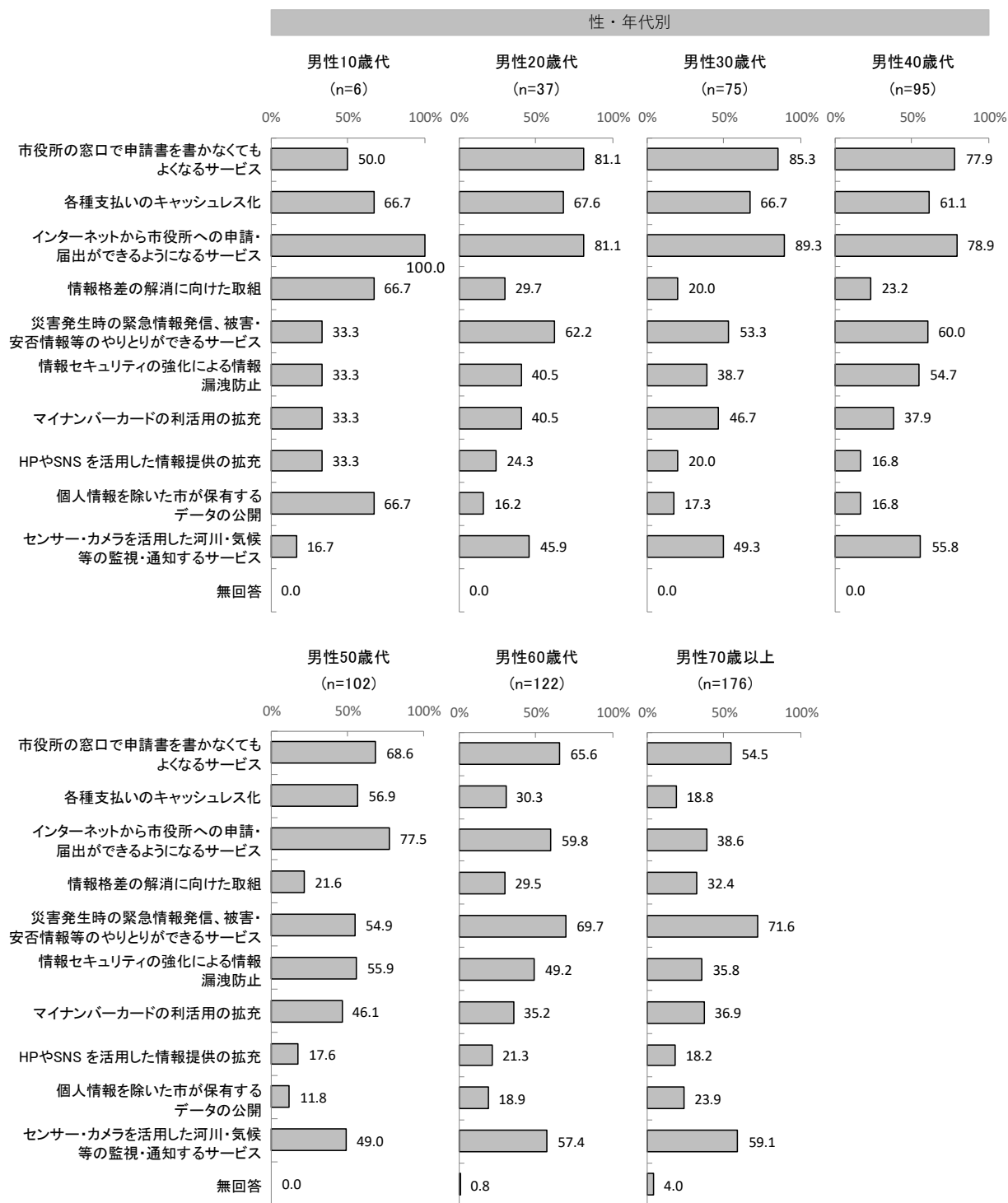
今後、袋井市で重点を置くべきサービスとしては、「災害発生時の緊急情報発信、被害・安否情報等のやりとりができるサービス」69.4%が最も多く、以下「市役所の窓口で申請書を書かなくてもよくなるサービス」66.3%、「インターネットから市役所への申請・届出ができるようになるサービス」61.2%、「センサー・カメラを活用した河川・気候等の監視・通知するサービス」55.1%、「情報セキュリティの強化による情報漏洩防止」47.9%などとなっています。

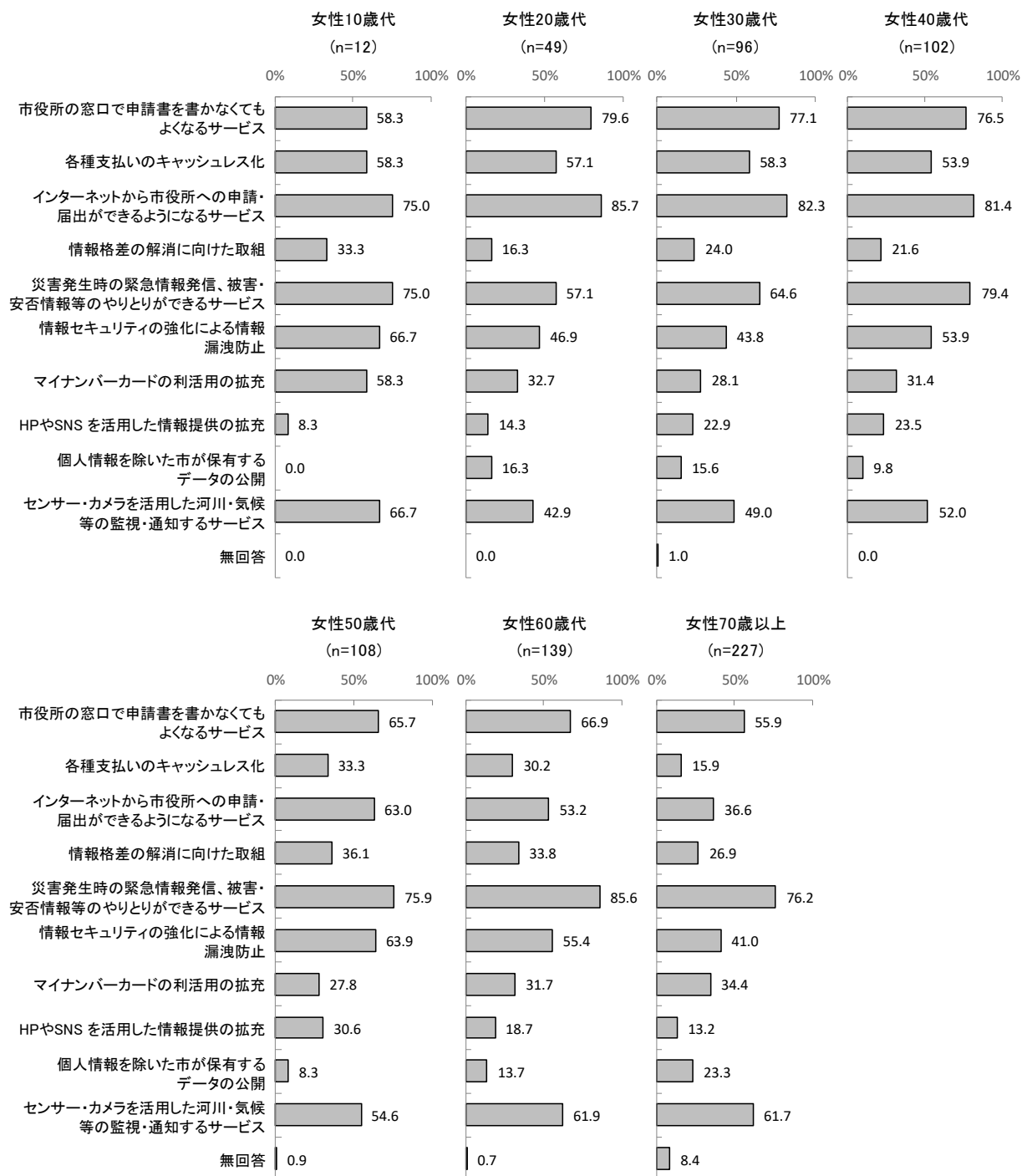
年代別でみると、20歳代～50歳代は「インターネットから市役所への申請・届出ができるようになるサービス」が最も多く、次いで「市役所の窓口で申請書を書かなくてもよくなるサービス」が多くなっています。一方、60歳代以上では「災害発生時の緊急情報発信、被害・安否情報等のやりとりができるサービス」が最も多くなっています。また、「インターネットから市役所への申請・届出ができるようになるサービス」、「各種支払いのキャッシュレス化」、「市役所の窓口で申請書を書かなくてもよくなるサービス」は30歳代以上では年代が上がるにつれて少なくなる傾向にあります。

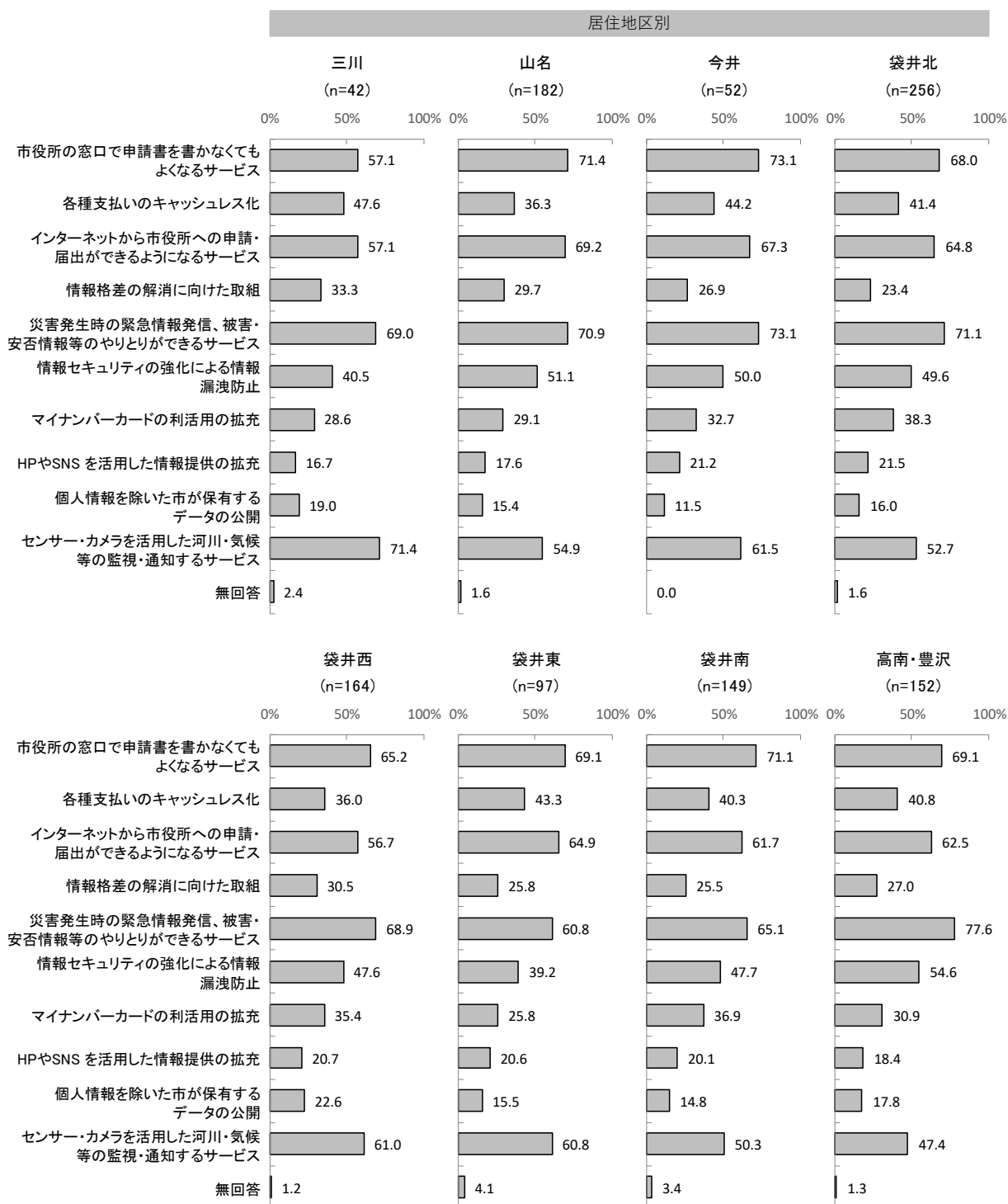
性・年代別でみると、男性20歳代～50歳代は「インターネットから市役所への申請・届出ができるようになるサービス」、「市役所の窓口で申請書を書かなくてもよくなるサービス」、「各種支払いのキャッシュレス化」が上位3項目となっています。女性20歳代～40歳代は「インターネットから市役所への申請・届出ができるようになるサービス」、「市役所の窓口で申請書を書かなくてもよくなるサービス」、「災害発生時の緊急情報発信、被害・安否情報等のやりとりができるサービス」が上位3項目となっています。

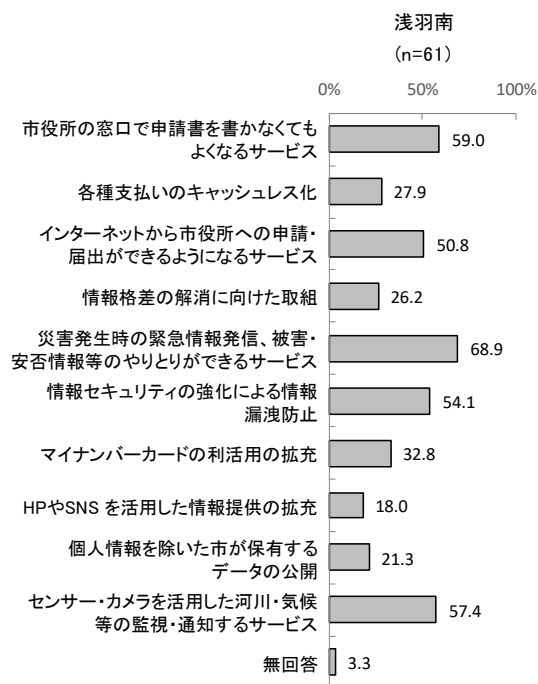
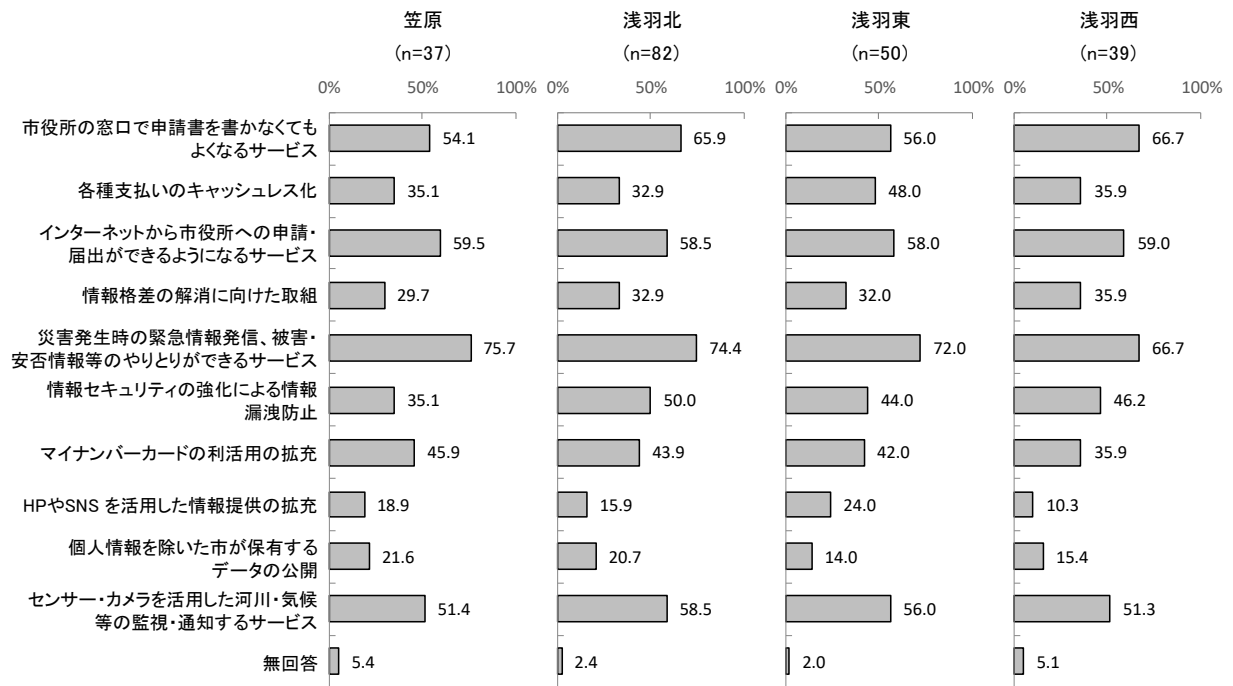


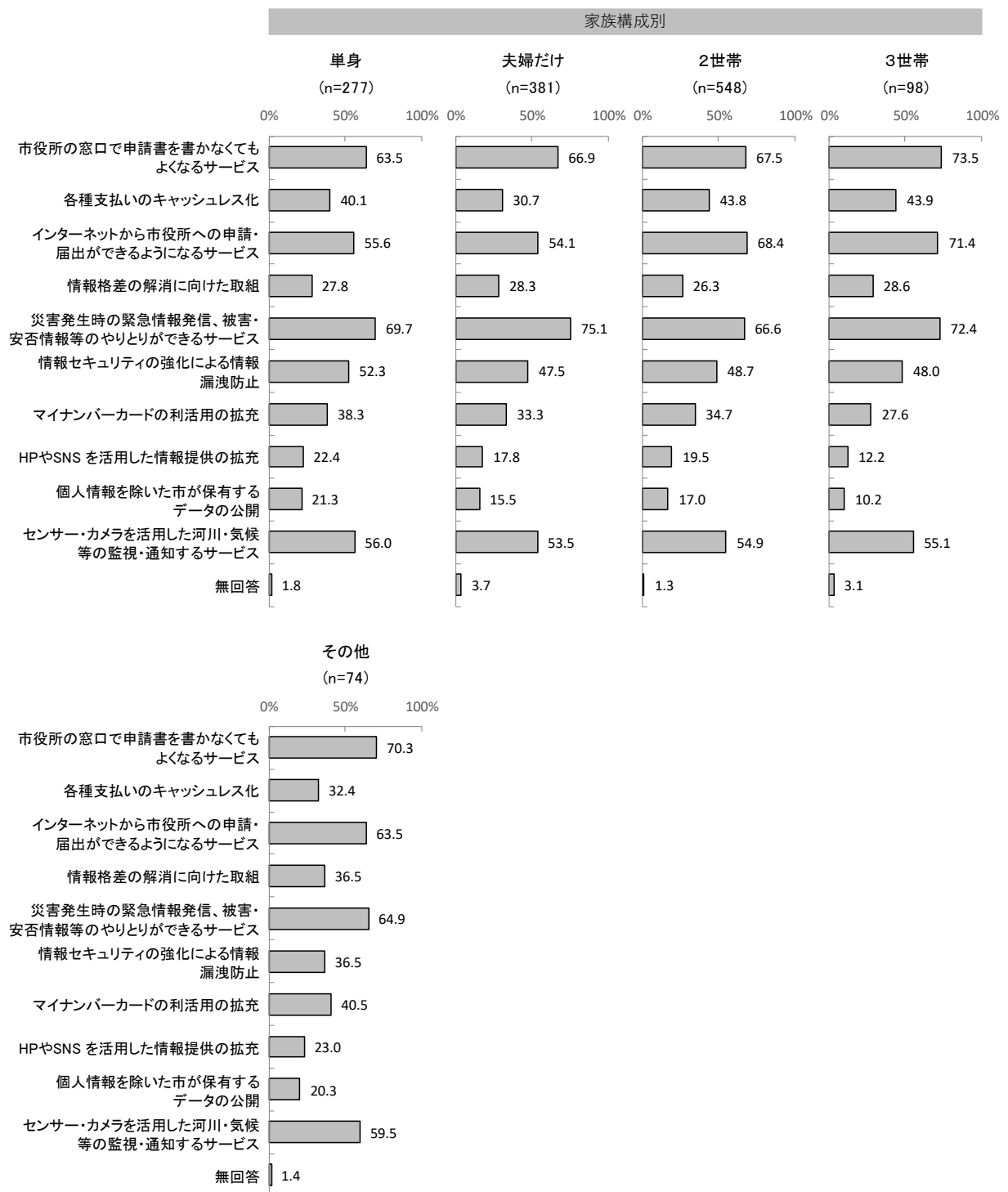












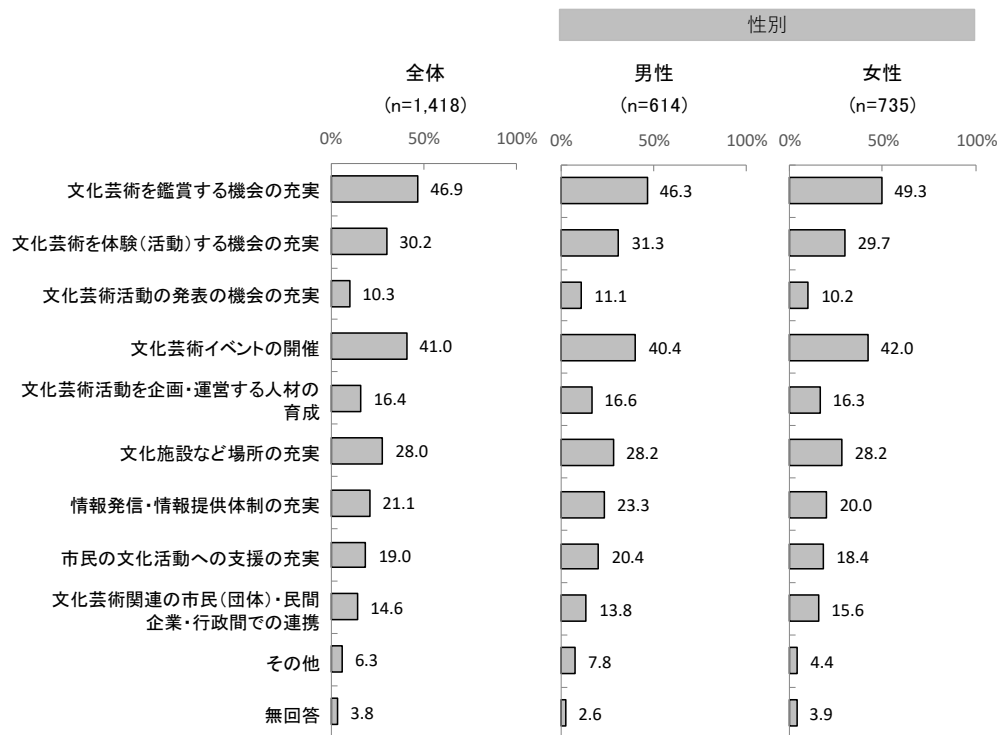
10 文化芸術を活かしたまちづくりについて

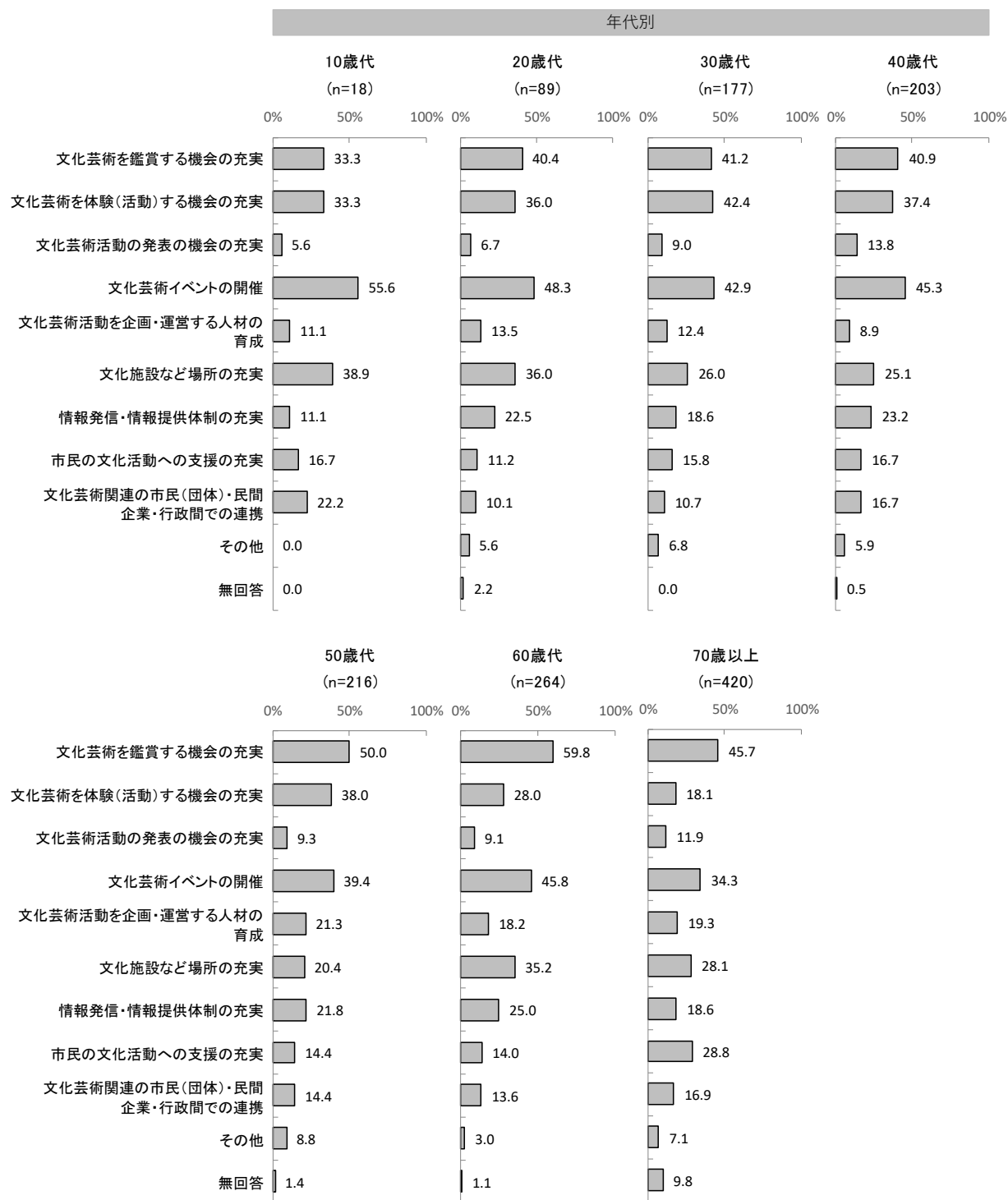
問29 文化芸術を活かしたまちづくりを進めるために、今後、何を充実させるべきだと思いますか。

文化芸術を活かしたまちづくりのために充実させるべきことについては、「文化芸術を鑑賞する機会の充実」46.9%が最も多く、以下「文化芸術イベントの開催」41.0%、「文化芸術を体験（活動）する機会の充実」30.2%、「文化施設など場所の充実」28.0%、「情報発信・情報提供体制の充実」21.1%などとなっています。

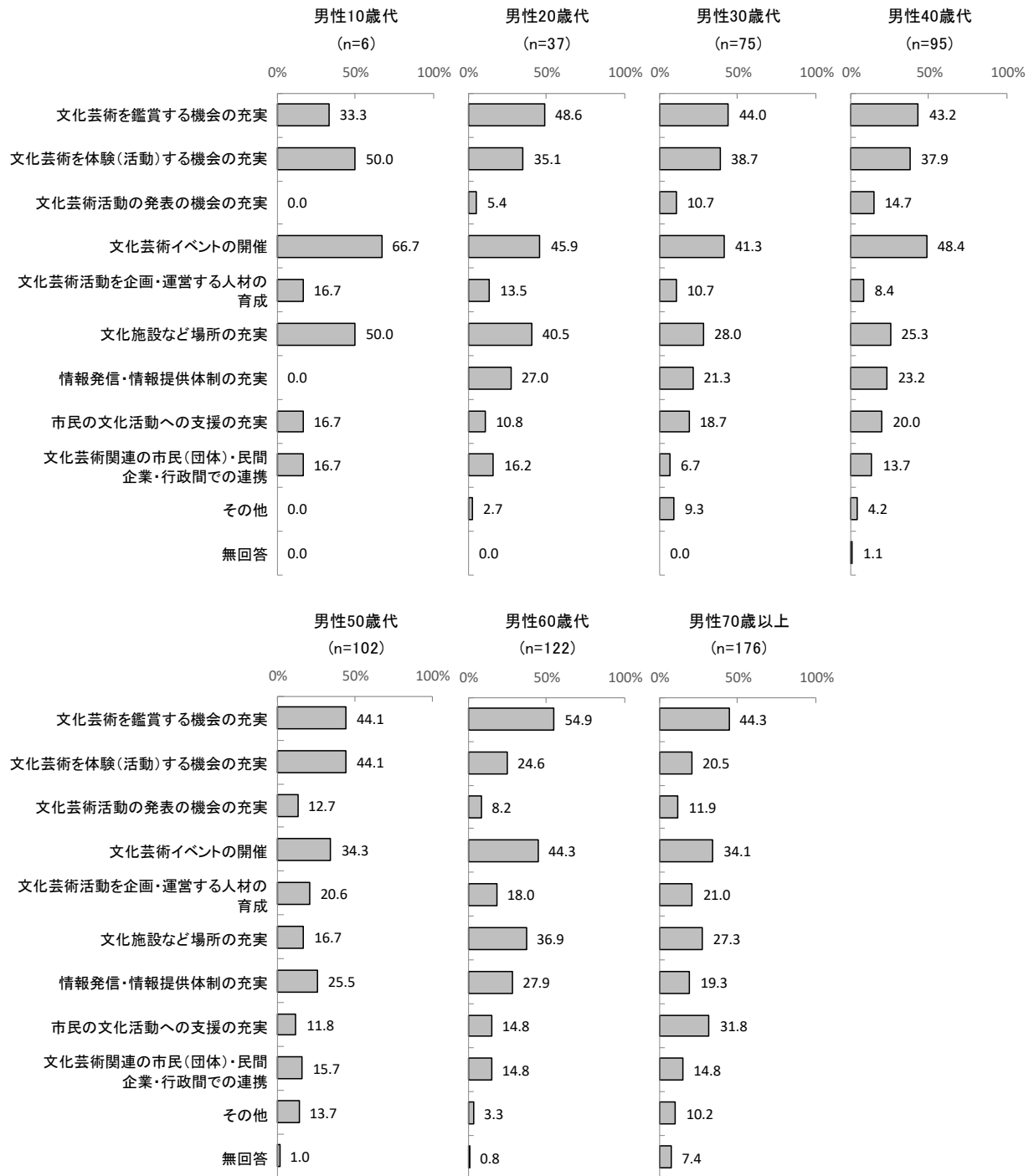
年代別でみると、20歳代～40歳代は「文化芸術イベントの開催」が最も多く、50歳代以上は「文化芸術を鑑賞する機会の充実」が最も多くなっています。

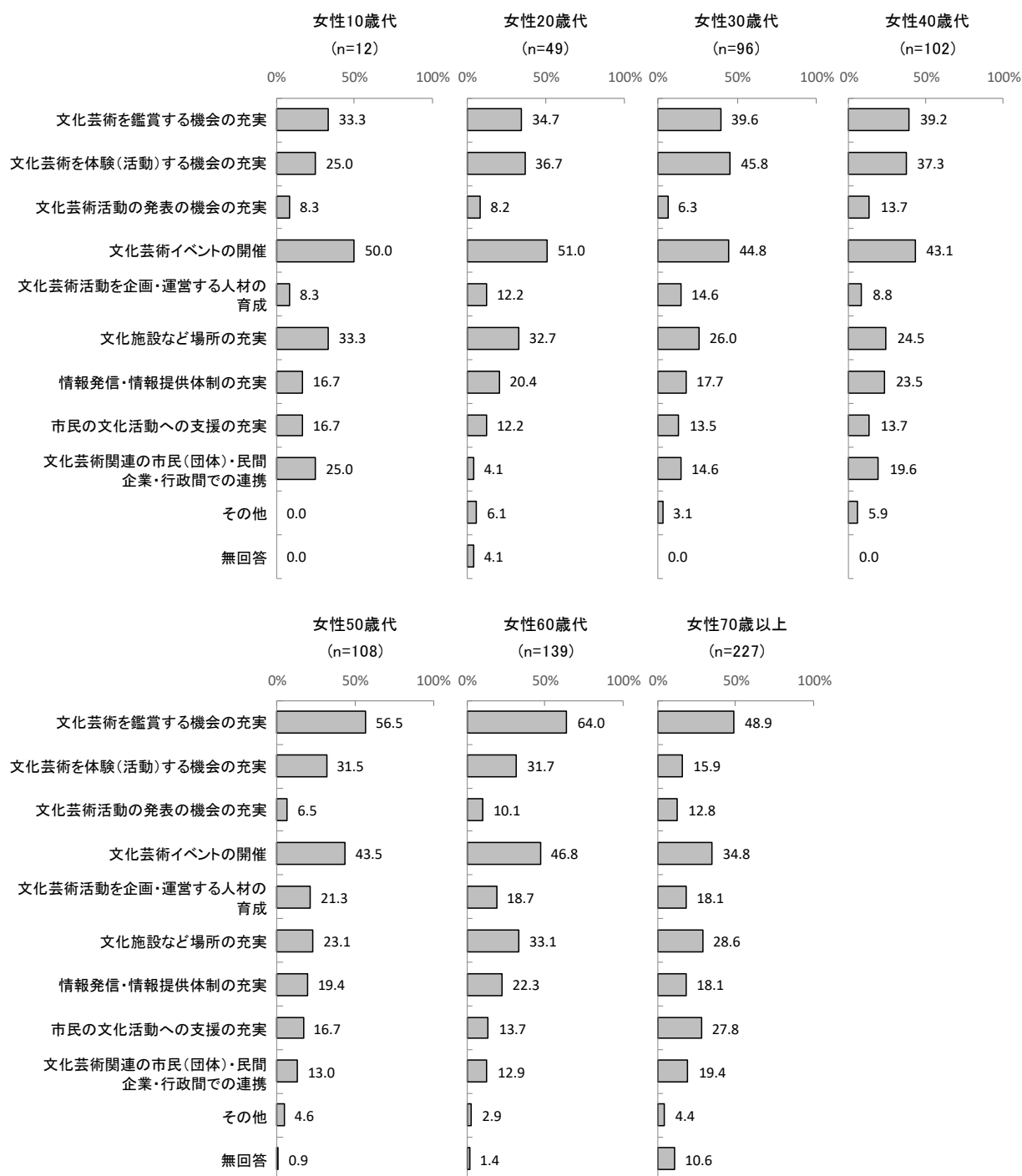
性・年代別でみると、女性60歳代は「文化芸術を鑑賞する機会の充実」が6割超と他の性・年代と比較して最も多くなっています。また、男女共に70歳以上は「市民の文化活動への支援の充実」が3割前後と他の性・年代と比較して多くなっています。

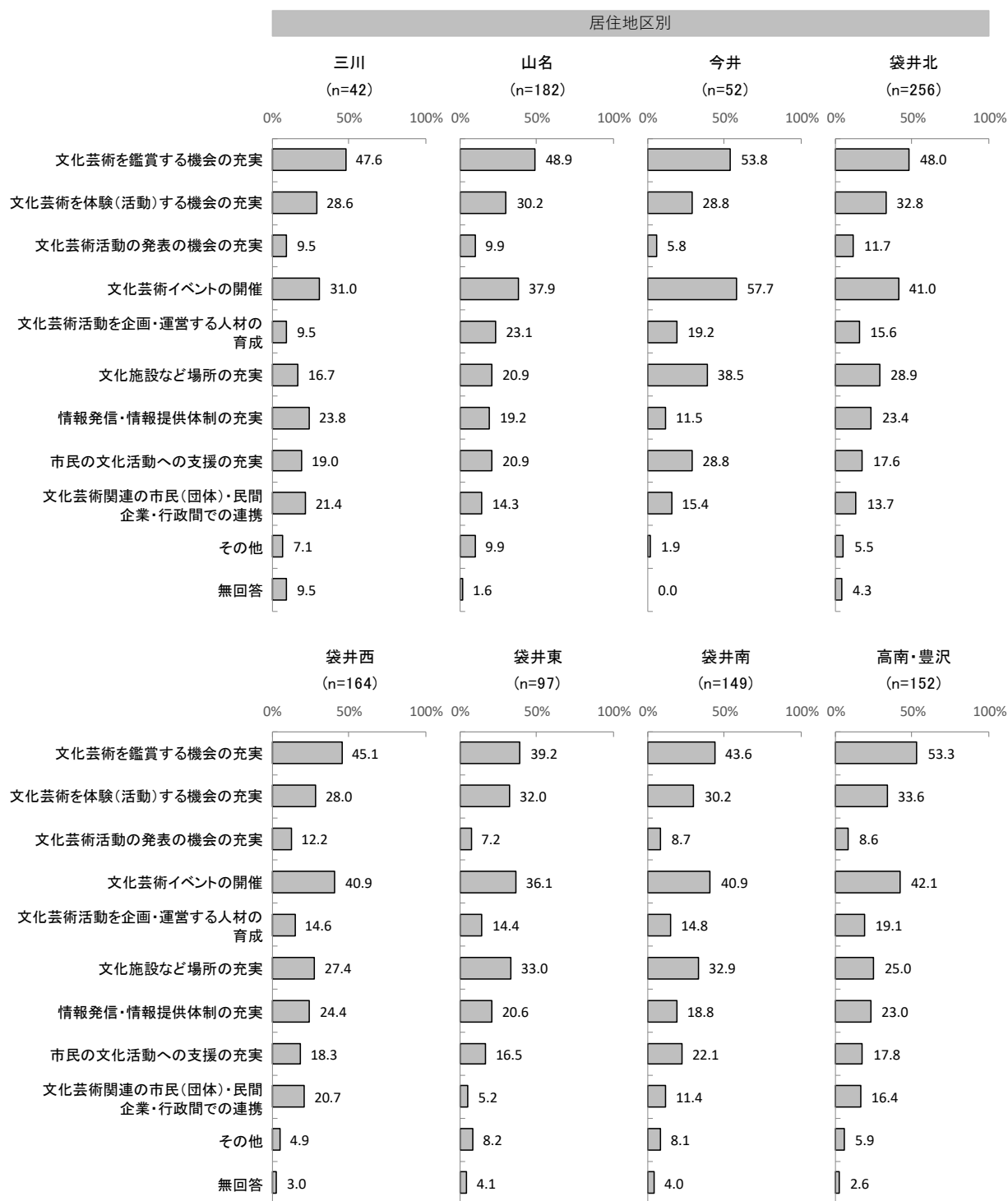


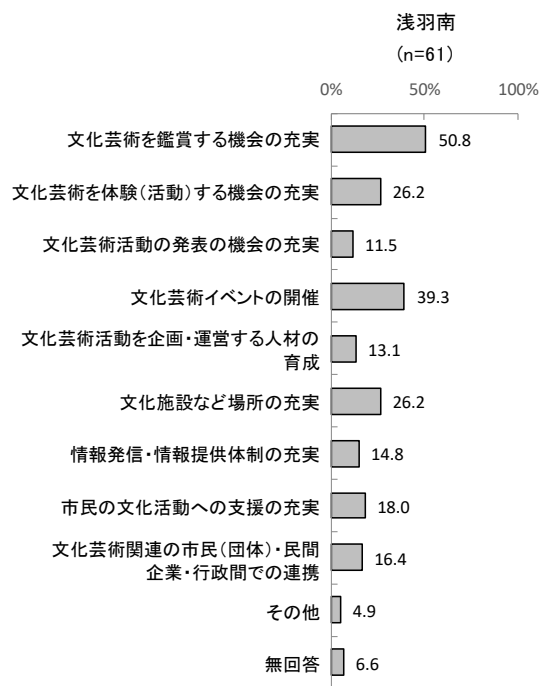
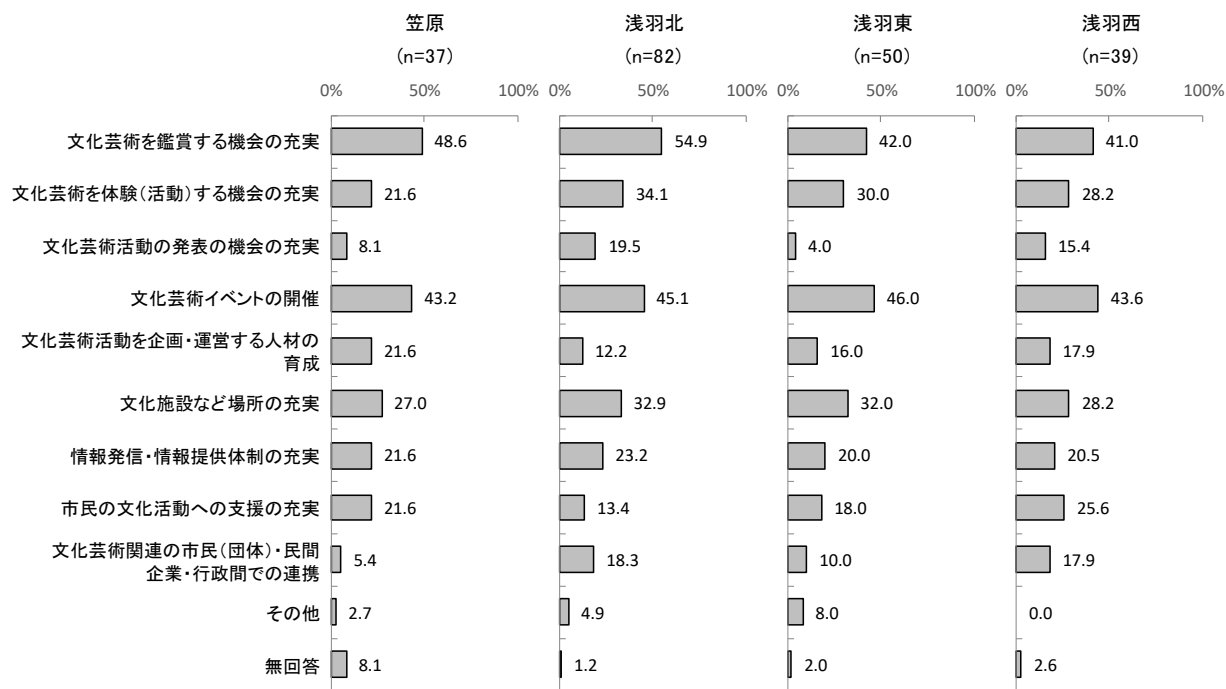


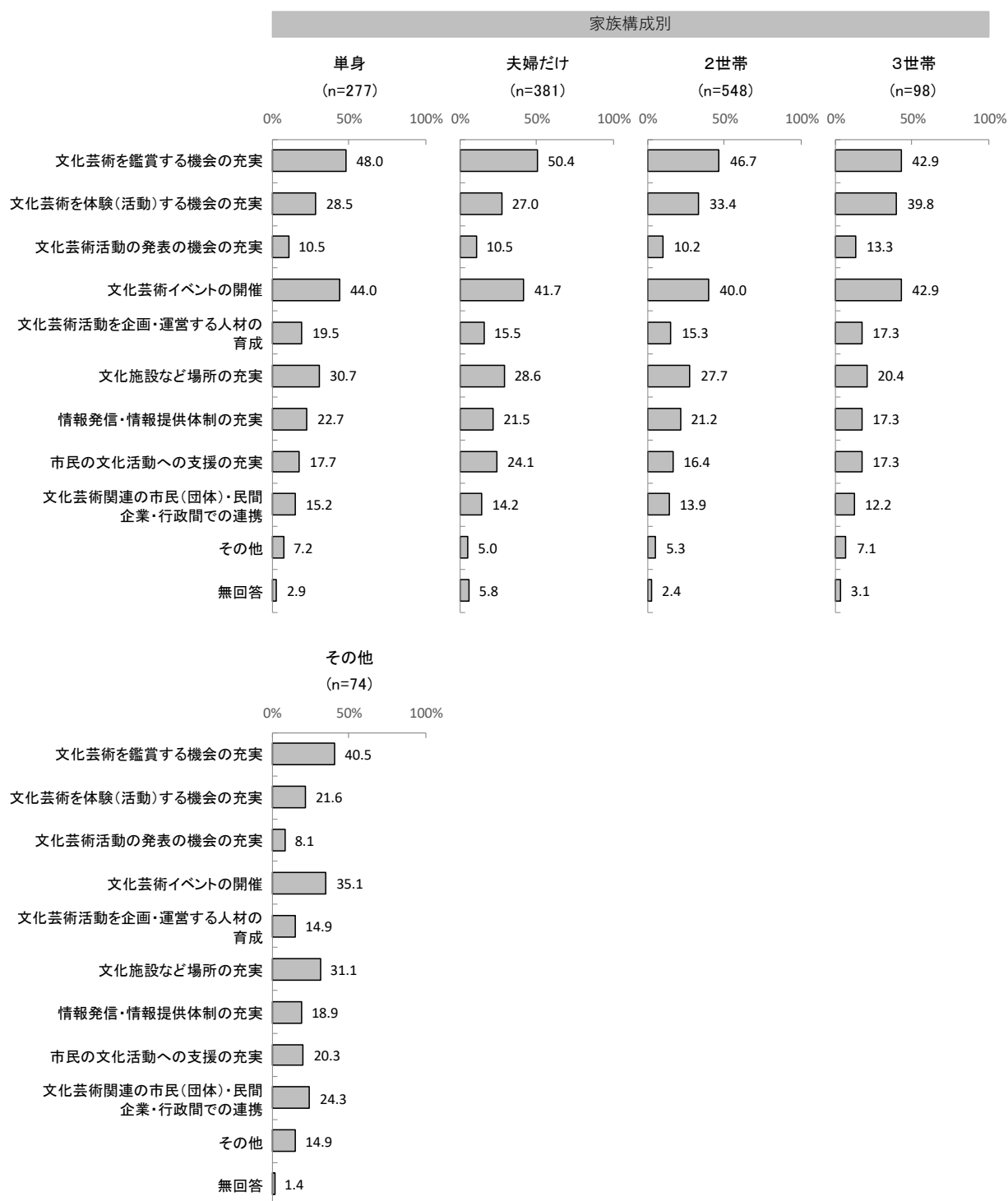
性・年代別









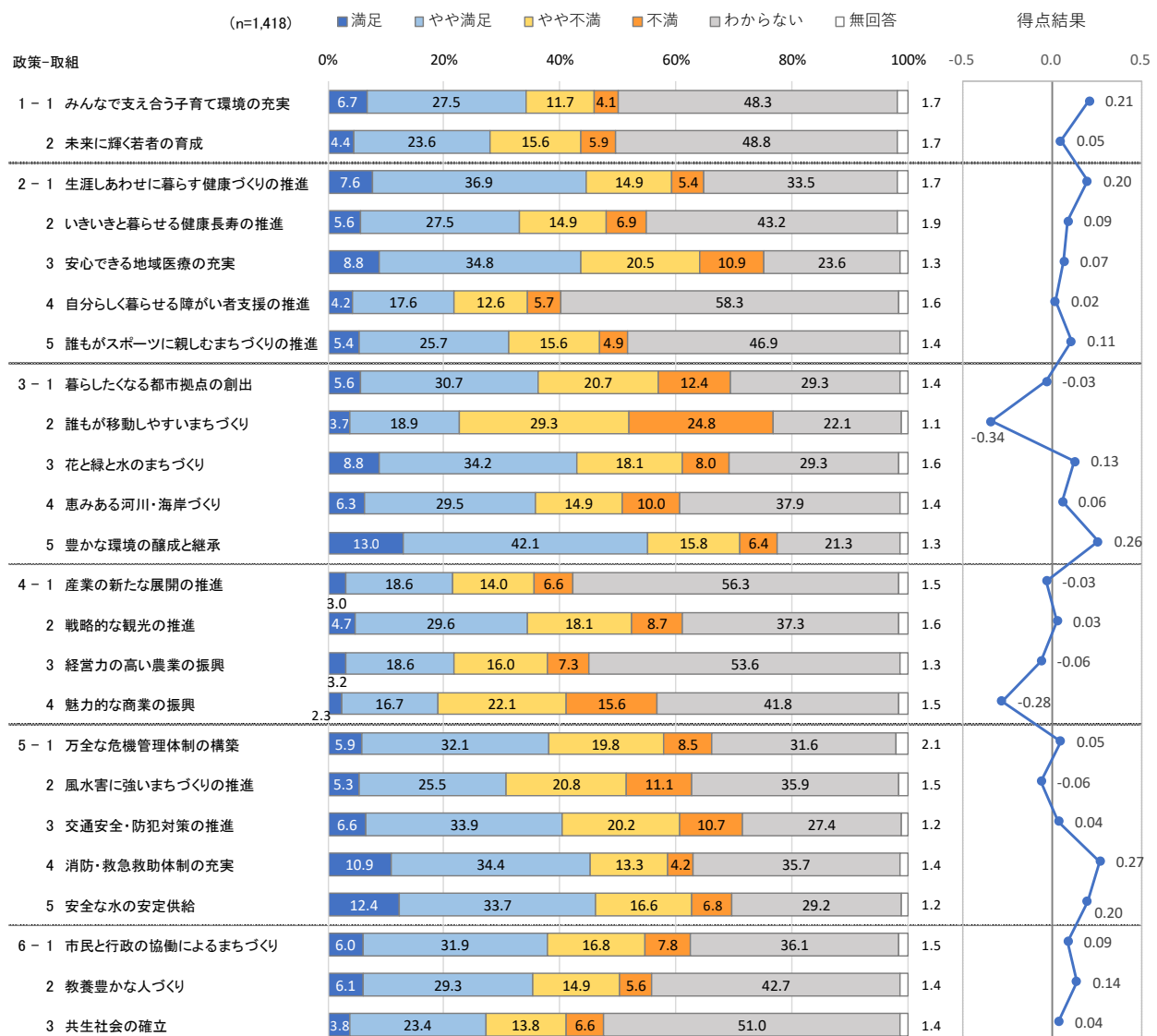


11 袋井市のまちづくりについて

問30 第2次袋井市総合計画に基づき実施する6政策24の取組について、あなたが感じる現状の評価（満足度と重要度）について、それぞれ1つずつ選び○をつけて下さい。

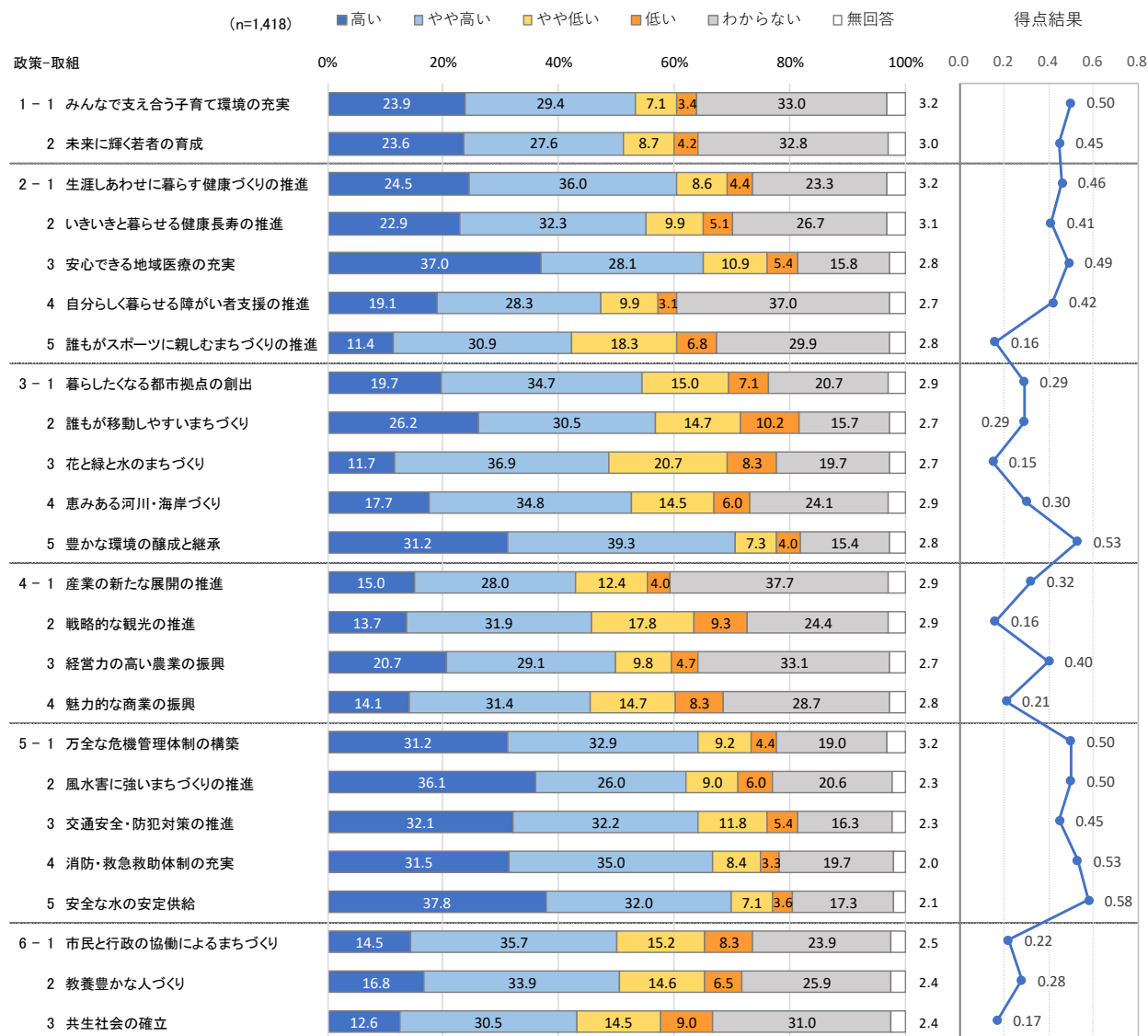
<満足度>

3-5『豊かな環境の醸成と継承』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”の割合が高く、6割近くとなっています。また、3-2『誰もが移動しやすいまちづくり』で「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が高く、5割超となっています。



＜重要度＞

3-5『豊かな環境の醸成と継承』、5-5『安全な水の安定供給』で、「高い」と「やや高い」を合わせた“高い”の割合が高く、7割前後となっています。一方、3-3『花と緑と水のまちづくり』で、「やや低い」と「低い」を合わせた“低い”の割合が高く、3割近くとなっています。

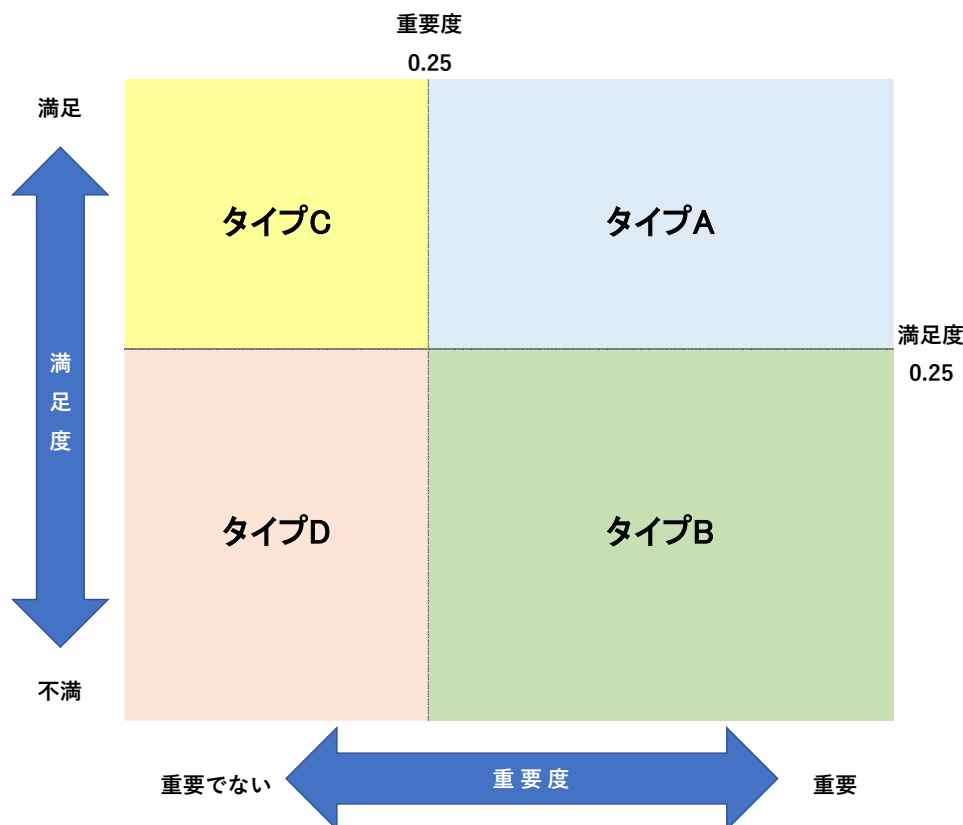


袋井市のまちづくりに対する満足度・重要度の散布図

散布図の右上には、重要度が高く、かつ満足度も高い項目が位置し、今後も維持していく項目となっています。
 散布図の右下には、重要だが不満な項目が位置し要改善項目となっています。

※ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、常に改善意識を持ち、それぞれの取組を進めて行くため、絶対評価の中間値（0.00）よりも高い0.25に設定し、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。



タイプA

継続推進（重要度：0.25以上 満足度：0.25以上）

重要性の認識も取組に対する満足度もともに高く、現在の水準を下げないように継続的な対応が望めます。

タイプB

重点課題（重要度：0.25以上 満足度：0.25未満）

重要性の認識は高いが、取組に対する満足度は低く、他区分の取組に優先した重点的な対応が望めます。

タイプC

成果検証（重要度：0.25未満 満足度：0.25以上）

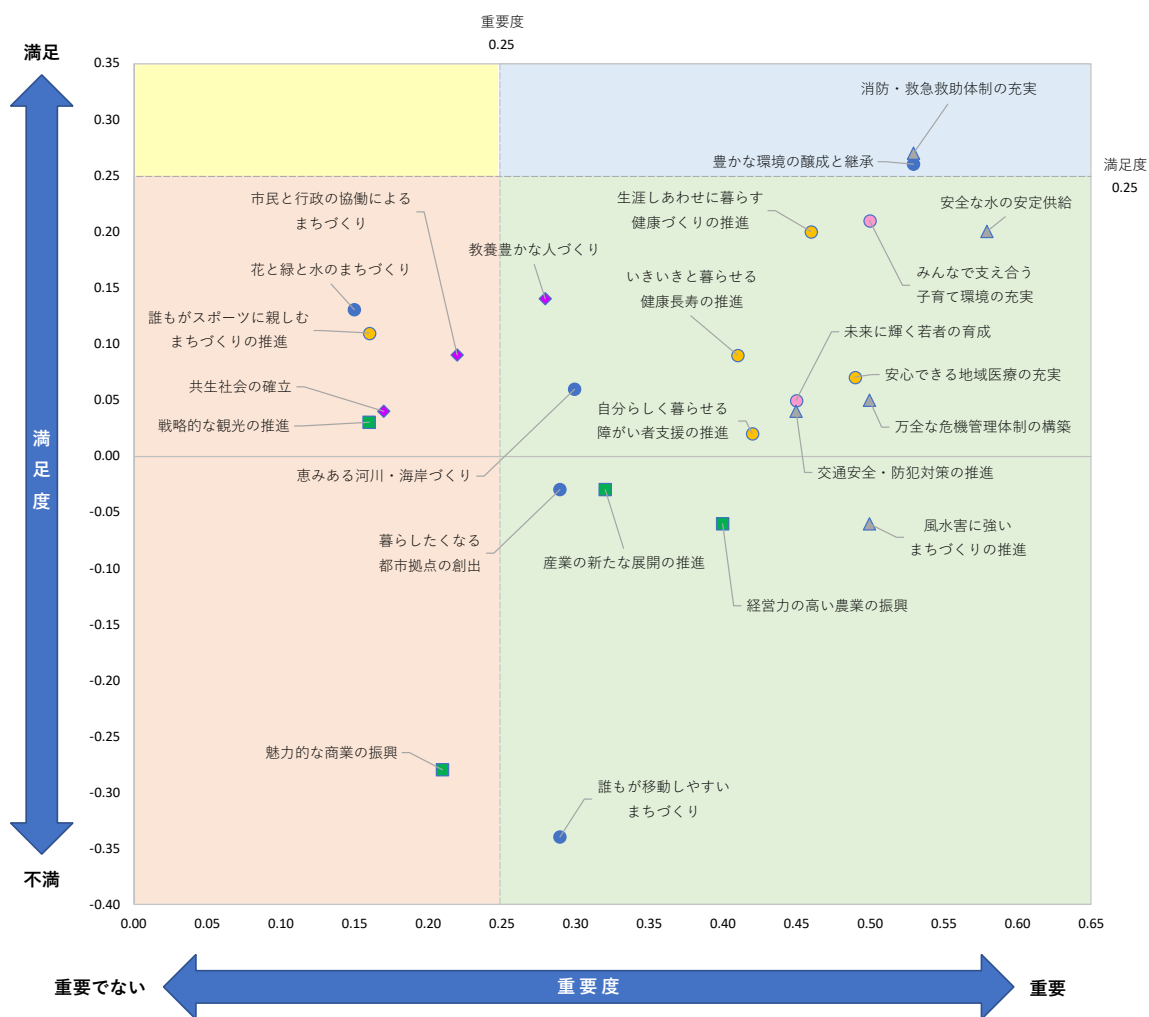
重要性の認識は低いが、取組に対する満足度は高く、一定の成果を上げているため、必要性を検証し適切な対応が望めます。

タイプD

検討課題（重要度：0.25未満 満足度：0.25未満）

重要性の認識は低く、取組に対する満足度も低く、必要性の検証や取組内容の見直しなどを検討し適切な対応が求められます。

【満足度・重要度散布図】



- 政策 1 子どもがすこやかに育つまちを目指します
- 政策 2 健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します
- 政策 3 快適で魅力あるまちを目指します
- 政策 4 活力みなぎる産業のまちを目指します
- ▲ 政策 5 安全・安心に暮らせるまちを目指します
- ◆ 政策 6 市民がいいきいきと活躍するまちを目指します

算定方法について

【加点方法】

満足度…「満足」1.0点、「やや満足」0.5点、「やや不満」-0.5点、「不満」-1.0点

重要度…「高い」1.0点、「やや高い」0.5点、「やや低い」-0.5点、「低い」-1.0点

【得点の算出式】

$$\frac{1.0\text{点} \times \text{「満足（高い）」の回答数} + 0.5\text{点} \times \text{「やや満足（やや高い）」の回答数} - 0.5\text{点} \times \text{「やや不満（やや低い）」の回答数} - 1.0\text{点} \times \text{「不満（低い）」の回答数}{\text{「わからない」、無回答を除いた回答総数}}$$

III 資料（調査票）

【令和8年度 袋井市のまちづくりに関する市民意識調査】

袋井市のまちづくりに関する皆さんの声をお聞かせください

調査ご協力のお願い

日ごろから、袋井市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本調査は、市民の意識や暮らしの状況などをお伺いし、まちづくりの取組状況の把握や、今後の施策の方向性を検討するため、毎年実施するものです。

お忙しいところ、大変恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

◇ 本調査は、市内にお住まいの18歳以上の方、約3,000人を無作為に抽出して実施しています。（4月16日現在の情報を使用しています）

◇ ご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理を行い、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは一切ありません。

令和8年5月

袋井市長 大場 規之

回答方法は2種類あります



スマートフォンで

- ①二次元コードを読み取り、「回答者用ページ」にアクセス
 - ②利用規約の内容を確認し、「利用規約同意」にチェック
 - ③質問ごとに回答を選択
 - ④「送信」をタップ
- ※氏名・住所・メールアドレス等の入力不要です。

早くおすすめ！

所要時間
10 分



郵送で

- ①次のページから始まる質問について、**該当の番号を○で囲んで回答**
 - ②同封されている返信用封筒に入れ、ポストに投函
- ※切手の貼付、住所や氏名の記載は不要です。

所要時間
20 分



◆◆◆ ご回答にあたってのお願い ◆◆◆

○ あて名のご本人がお答えください（回答内容を代わりに記入することは差し支えありません）。

○ **6月5日（金）** までに回答をお願いします。

【お問い合わせ先】 袋井市 企画部 総合政策課 企画調整係

〒437-8666 袋井市新屋一丁目1番地の1

電 話:0538-44-3105

F A X:0538-44-3150

E-mail:kikaku@city.fukuroi.shizuoka.jp



● まずは、あなたご自身のことを教えてください。

性別、年齢などを教えてください。（それぞれ1つに○）

性別	1. 男性	2. 女性	3. 回答しない				
年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上
居住地区	1. 三川	2. 山名	3. 今井	4. 袋井北	5. 袋井西	6. 袋井東	7. 袋井南
	8. 高南・豊沢	9. 笠原	10. 浅羽北	11. 浅羽東	12. 浅羽西	13. 浅羽南	
家族構成	1. 単身	2. 夫婦だけ	3. 2世帯（親と子）	4. 3世帯（祖父母と親と子）	5. その他		

● 袋井市全般についてお聞きします。

- 問1 袋井市が住みやすいところだと思いますか。(どれか1つに○)
 1 思う 2 やや思う 3 どちらともいえない 4 あまり思わない 5 思わない
- 問2 満足のいく雇用機会に恵まれていると思いますか。(どれか1つに○)
 1 思う 2 やや思う 3 どちらともいえない 4 あまり思わない 5 思わない
- 問3 子どもを産み育てやすい環境が整っていると思いますか。(どれか1つに○)
 1 思う 2 やや思う 3 どちらともいえない 4 あまり思わない 5 思わない
- 問4 子育てが社会から応援されていると思いますか。(どれか1つに○)
 1 思う 2 やや思う 3 どちらともいえない 4 あまり思わない 5 思わない
- 問5 地域の絆や支え合いの仕組みが形成されていると思いますか。(どれか1つに○)
 1 思う 2 やや思う 3 どちらともいえない 4 あまり思わない 5 思わない
- 問6 仕事や家庭以外に参加しているコミュニティ(人の集まり)はありますか。
 1 ある 2 ない

● 健康状態(からだところろ)・食生活・生活習慣等についてお聞きします。

- 問7 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(どれか1つに○)
 1 よい 2 まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない
- 問8 次の(ア)から(カ)の質問について、過去1か月の間はどのようでしたか。(どれか1つに○)
 1 いつも 2 たいてい 3 ときどき 4 少しだけ 5 まったくない
- (ア)神経過敏に感じましたか。
 1 2 3 4 5
- (イ)絶望的だと感じましたか。
 1 2 3 4 5
- (ウ)そわそわ、落ち着かなく感じましたか。
 1 2 3 4 5
- (エ)気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか。
 1 2 3 4 5
- (オ)何をするにも骨折りだと感じましたか。
 1 2 3 4 5
- (カ)自分は価値のない人間だと感じましたか。
 1 2 3 4 5
- 問9 これまでの人生の中で、本気で自殺したいと考えたことがありますか。(どれか1つに○)
 1 ない 2 ある(1年以内) 3 ある(1年以上前)
- 問10 日常的に喫煙する習慣がありますか。
 1 ある 2 ない
- 問11 過去1年の間で「受動喫煙」を受けた経験がありますか。
 1 受動喫煙の経験がある 2 受動喫煙の経験がない
- 問12 食生活で何か心がけていることがありますか。
 ※食事のバランス、よく噛んで食べる、甘いものを控えめにするなど
 1 ある 2 ない
- 問13 主食・主菜・副菜の3つ揃えた食事が、1日2食以上あるのは週何回ありますか。
 (どれか1つに○)
 ※主食(ごはん、パン、麺など)・主菜(肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理)・副菜(野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理)
 1 ほぼ毎日 2 週に4～5日 3 週に2～3日 4 ほとんどない
- 問14 年に1回以上、歯科の検診を受けていますか。
 1 はい 2 いいえ

● 性的マイノリティ(LGBTQなど性的少数者)についてお聞きします。

問15 性的マイノリティについて、どの程度知っていますか。(どれか1つに○)

- 1 言葉と意味の両方を知っている 2 言葉は知っている 3 知らない

● 運動習慣についてお聞きします。

問16 日常的な運動習慣がありますか。

※1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続していること。

- 1 はい 2 いいえ

問17 1年以内にスポーツをどれぐらい行いましたか。(どれか1つに○)

※競技スポーツだけでなく、ウォーキングや体操など個人が自宅で気軽に行う身体活動も含まれます。

- 1 ほぼ毎日 2 週3回くらい 3 週1回くらい 4 月に数回
5 3か月に数回 6 1年間に数回 7 全く行っていない

● 防災対策についてお聞きします。

問18 袋井市浸水ハザードマップ(2026(令和8)年4月)を知っていますか。

- 1 知っている 2 知らない

問19 地震などの災害に備え、家庭で非常持ち出し品を用意していますか。(どれか1つに○)

※非常食、飲料水、懐中電灯、毛布、携帯ラジオ、衣類、靴、医薬品、貴重品、筆記用具、ライター、マスク、消毒液、体温計、生活用品など

- 1 十分用意している 2 ある程度用意している 3 今後、用意するつもり 4 用意する気はない

問20 家庭では、地震に備えて家具を固定していますか。(どれか1つに○)

- 1 全て固定済み 2 一部は固定済み 3 今後、固定する予定 4 固定する気はない
5 家具が作り付けなどで、固定する必要がない

● 人権・男女共同参画についてお聞きします。

問21 袋井市は市民生活の中に人権尊重の意識が定着していると思いますか。(どれか1つに○)

- 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そうは思わない

問22 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という男女の役割を固定的に考えることに
ついて、どのようにお考えですか。(どれか1つに○)

- 1 賛成 2 どちらかといえば賛成 3 どちらかといえば反対 4 反対 5 わからない

● 環境意識についてお聞きします。

問23 環境に配慮した取組を行っていますか。

※マイバック持参、水筒の利用、太陽光発電設備設置、ごみの分別、環境美化運動への参加など

- 1 はい 2 いいえ

問24 可燃ごみ削減のため、雑がみ回収を利用していますか。(複数回答可)

- 1 自治会の資源回収を利用している 2 自治会以外の回収ボックスを利用している
3 利用していない

● 市のデジタル化についてお聞きします。

問25 日常生活でインターネット※を利用していますか。

※パソコンやスマートフォン等を用いて、Webサイトの閲覧や電子メールの送受信、SNS・チャットツールの利用等を行うこと

- 1 利用している 2 利用していない

問26 社会のデジタル化※が進んでいることについて、日ごろ生活で実感することはありますか。
(どれか1つに○)

※インターネットサービスの充実やオンライン教育・テレワークの普及、電子マネー・QRコード決済によるキャッシュレス化、行政サービスのオンライン化など

- 1 とても強く感じる 2 どちらかといえば感じる 3 どちらでもない
4 どちらかといえば感じない 5 まったく感じない

問27 社会のデジタル化が進むことで期待することは何ですか。
次の中から当てはまる番号をすべて選択してください。（複数回答可）

- 1 PCやスマートフォンから様々なサービスが利用できる 2 これまでになかったサービスが生まれる
3 日常生活の不便が解消する 4 趣味の幅が広がる 5 場所に関係なく仕事や学習ができる
6 地域経済が豊かになる 7 仕事の効率が上がる 8 労働不足が解消する
9 様々な人と交流ができる 10 その他

問28 今後、袋井市で重点を置くべきだと思うデジタル関連サービス等は何ですか。
次の中から当てはまる番号を5つ選択してください。

- 1 市役所の窓口で申請書を書かなくてもよくなるサービス 2 各種支払いのキャッシュレス化
3 インターネットから市役所への申請・届出ができるようになるサービス 4 情報格差の解消に向けた取組
5 災害発生時の緊急情報発信、被害・安否情報等のやりとりができるサービス
6 情報セキュリティの強化による情報漏洩防止 7 マイナンバーカードの利活用の拡充
8 HPやSNSを活用した情報提供の拡充 9 個人情報を除いた市が保有するデータの公開
10 センサー・カメラを活用した河川・気候等の監視・通知するサービス

●文化芸術を活かしたまちづくりについてお聞きます。

問29 文化芸術を活かしたまちづくりを進めるために、今後、何を充実させるべきだと思いますか。
次の中から当てはまる番号3つ以内を選択してください。

- 1 文化芸術を鑑賞する機会の充実 2 文化芸術を体験(活動)する機会の充実
3 文化芸術活動の発表の機会の充実 4 文化芸術イベントの開催
5 文化芸術活動を企画・運営する人材の育成 6 文化施設など場所の充実
7 情報発信・情報提供体制の充実 8 市民の文化活動への支援の充実
9 文化芸術関連の市民(団体)・民間企業・行政間での連携 10 その他

●袋井市のまちづくりについてお聞きます。

問30 第2次袋井市総合計画に基づき実施する6政策24の取組について、あなたが感じる現状の
評価（満足度と重要度）について、それぞれ1つずつ選び数字に○をつけてください。

■政策1 子どもがすこやかに育つまちを目指します

取組1 みんなで支え合う子育て環境の充実

家庭、地域、企業及び行政が連携・協力し、地域社会全体で子ども・子育てを支援する取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○妊産婦支援事業 ○中央子育て支援センター運営事業(子ども若者家庭センター) ○架け橋プログラム推進事業(幼小中一貫教育推進) ○幼児教育センター事業 ○放課後児童クラブ運営事業 ○児童発達支援事業 ○子ども医療費助成事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組2 未来に輝く若者の育成

幼小中一貫教育を通じて、「自立力」と「社会力」を兼ね備えた、心豊かでたくましい若者を育てる取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○地域とともにある学校づくり推進事業 ○「考える力」育成推進事業 ○健やかな体づくり推進事業 ○ICTを活用した教育推進事業 ○おいしい給食推進事業 ○いじめ防止推進事業、不登校児童生徒等支援推進事業 ○多様なニーズに応える子ども支援推進事業 ○外国人児童生徒等への支援推進事業 ○小・中学校施設維持管理・機能向上事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

■政策2 健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します

取組1 生涯しあわせに暮らす健康づくりの推進

生涯にわたり健康で幸せに暮らせるよう、それぞれの生活や年代に合わせた健康づくりを推進する取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○地域健康意識向上事業（ふくろい健康保健室など） ○子ども健康教育支援事業（乳幼児健康診査・健康相談） ○生活習慣病予防教室等事業 ○市国保特定健康診査等事業 ○がん検診事業 ○健康経営推進事業 ○フッピー健康ポイント事業（＃2961ウォーク） ○こころの健康事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組2 いきいきと暮らせる健康長寿の推進

全ての高齢者が尊重され、住み慣れた地域で健やかに自分らしく暮らし続けられるよう、「地域包括ケアシステム」の充実を推進する取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○地域包括支援センター運営事業 ○総合相談窓口事業 ○生活支援体制整備事業（通いの場開設支援） ○認知症地域支え合い事業 ○認知症総合支援事業（認知症サポーター養成講座） ○介護保険事業 ○介護予防・生活支援サービス事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組3 安心できる地域医療の充実

市民が安心して暮らせるよう、切れ目のない地域医療体制の確保を図るとともに、医療・介護の連携を深める取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○中東遠総合医療センター運営支援 ○聖隷袋井市民病院運営 ○地域医療啓発事業 ○一次救急医療事業 ○在宅医療・介護多職種連携推進事業 ○総合健康センター施設管理運営	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組4 自分らしく暮らせる障がい者支援の推進

障がいのある人が住み慣れた地域で、生きがいを持って生活できる環境を整備する取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○自立支援給付（障がい福祉サービス）事業 ○地域生活支援事業 ○相談員設置事業 ○コミュニケーション支援事業 （聴覚障がい者に対する手話） ○社会福祉施設設備整備費補助事業 ○身体障がい者に対する緊急通報システム貸与事業 ○知的障がい啓発、災害時の要配慮者支援事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組5 誰もがスポーツに親しむまちづくりの推進

市民が生涯にわたり健康でいきいきとした生活を送れるよう、気軽に親しみ、楽しむことのできるスポーツ環境の充実を図る取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○各種スポーツ教室・大会開催事業 ○スポーツ指導者連携強化事業 ○総合体育館等市内公共運動施設運営・維持管理 ○スポーツツーリズム推進事業 （スポーツ飯、スポーツ合宿等） ○スポーツレガシー創出事業（FUKUROI SPORTS DAY開催） ○スポーツ選手激励会・指導者養成事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

■政策3 快適で魅力あるまちを目指します

取組1 暮らしたくなる都市拠点の創出

誰もが安心して快適に暮らせる、いつまでも暮らしたくなるまちづくりを推進する取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○袋井駅南地区まちづくり事業 ○袋井駅南都市拠点土地区画整理事業 ○景観形成推進事業 ○空き家対策推進事業 ○市営住宅施設整備事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組2 誰もが移動しやすいまちづくり

日常生活の移動を円滑にするため道路整備を行い、利用しやすい公共交通と拠点を結ぶネットワークを構築する取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○自主運行バス事業（地域協働運行バスの運行等） ○生活バス路線維持補助事業 ○街路整備事業 ○幹線道路整備事業 ○舗装、橋梁の長寿命化修繕事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組3 花と緑と水のまちづくり

民間活力を活かした憩いの場の創出や、花と緑にあふれるまちづくりを推進する取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○公園施設長寿命化事業 ○街路樹管理事業 ○公園芝生・樹木等管理事業 ○生け垣づくり補助事業 ○花育推進事業 ○みずべ活用推進事業（ミズベリング）	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組4 恵みある河川・海岸づくり

人の生活に欠かせない水や多様な生物が生きる河川・海岸を大切に、河川愛護や海岸保全の活動を推進する取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○河川・排水路維持管理事業 ○河川・海岸愛護事業 ○袋井市静岡モデル防潮堤整備事業 ○福田漁港・浅羽海岸サンドパイパス推進事業 ○浅羽海岸松林保全管理事業（グリーンウェーブ活動）	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組5 豊かな環境の醸成と継承

市民、地域及び企業等との協働により、環境にやさしい持続可能な社会の構築と多様性のある自然環境を保全する取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○ごみの収集・運搬・処理事業 ○バイオマス利活用推進事業 ○古紙等資源集団回収事業奨励金交付事業 ○環境教育推進事業 ○新エネルギー推進事業 ○公共下水道事業 ○合併処理浄化槽普及事業 ○環境美化・不法投棄対策推進事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

■政策4 活力みなぎる産業のまちを目指します

取組1 産業の新たな展開の推進

企業の新たな展開の支援や地域経済を支える企業の誘致を推進するとともに、多様な人材が活躍できる就労支援のための取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○ふくろい産業イノベーション推進事業（コワーキングスペース「BIRDS」） ○工業用地開発推進事業（小笠山・土橋） ○産業立地事業費補助金交付事業 ○スタートアップ推進事業（FUKUROI BizCON-CROWN 2026） ○雇用対策事業（高校生と企業を結ぶ合同企業説明会）	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組 2 戦略的な観光の推進

まちの魅力アップと情報発信に努め、観光交流客を増やす取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○ふくろい観光ルネサンス活用事業（遠州三山風鈴まつり等） ○特産品開発事業 ○ニューツーリズム推進事業（観光×農業等） ○ふくろい観光ブランド発信事業（SNSによる情報発信等） ○インバウンド推進事業 ○観光案内所運営事業 ○袋井市観光協会支援事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組 3 経営力の高い農業の振興

消費者や市場に選ばれる「信頼される産地」を目指し、安全・安心で質の高い農産物の栽培に努めるとともに、効率的な農業経営を確立する取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○担い手農業者育成支援事業 ○農業振興推進事業 ○耕作放棄地対策事業 ○多面的機能支払交付金事業 ○農地基盤整備 ○水田ICT水管理システム事業の推進 ○クラウンメロン振興事業 ○袋井茶振興事業 ○6次産業化促進支援事業 ○環境保全型農業直接支援対策事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組 4 魅力的な商業の振興

商店の個性ある魅力づくりや経営力の向上を支援し、にぎわいあふれるまちづくりを推進する取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○中心市街地活性化推進事業 ○創業支援事業 ○個店魅力アップ事業 ○消費生活相談事業 ○消費者啓発事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

政策 5 安全・安心に暮らせるまちを目指します

取組 1 万全な危機管理体制の構築

市民、地域、企業及び行政が一体となって万全な危機管理体制を構築し、災害等による「人命被害ゼロ」を目指す取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○木造住宅耐震補強助成事業 ○家庭内減災対策推進事業 ○地域防災訓練推進事業 ○自主防災隊育成事業 ○津波避難対策事業 ○袋井市静岡モデル防潮堤整備事業 ○予防接種事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組 2 風水害に強いまちづくりの推進

市民が安全・安心に暮らせるよう、流域治水に取り組むとともに土砂災害に対する市民意識の高揚を図り、風水害に強いまちづくりを目指す取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○治水対策事業（袋井駅南地区） ○河川改良事業（松橋川・油山川） ○土砂災害防止事業 ○水防運営事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組 3 交通安全・防犯対策の推進

地域、学校及び警察等の関係団体と連携し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○交通安全対策推進事業（交通安全教室・街頭指導等） ○交通安全施設整備事業 ○防犯灯設置事業 ○防犯対策推進事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組 4 消防・救急救助体制の充実

迅速な消防・救急救助対応を図るとともに、市民一人ひとりの防火・防災意識が高く、安心して暮らせるまちづくりを推進する取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○消防団員運営事業 ○消防団施設維持管理事業 ○外国人市民への防火防災啓発事業 ○普通救命講習受講促進事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組 5 安全な水の安定供給

水道施設の計画的な更新と適正な管理を行い、安全でおいしい水道水を安定的に供給する取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○基幹管路耐震化（更新）事業 ○水道施設（ハコモノ）耐震化（更新）事業 ○水道料金定期見直し・経営戦略改定事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

■政策 6 市民がいきいきと活躍するまちを目指します

取組 1 市民と行政の協働によるまちづくり

自治会、まちづくり協議会及び市民活動団体等が役割を分担し、共通の目標を持ち、継続的な地域づくりを推進する取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○自治会（連合会）関係支援事業 ○コミュニティ施設整備支援事業 ○コミュニティ活動支援事業 ○協働まちづくり事業 ○ICTコミュニティ情報発信事業 ○自治会DXトライアル事業 ○特色ある地域づくり推進事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組 2 教養豊かな人づくり

子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが生涯を通じて学びや文化活動により自己実現を図り、自ら進んで地域づくり、まちづくりに活躍する人を育てる取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○こども交流館あそびの社整備事業 ○文化施設管理運営事業 ○まちじゅう図書館推進事業 ○成人式開催事業（はたちの集い開催事業） ○生涯学習推進事業 ○大学を活かしたまちづくり事業 ○子ども読書活動推進事業 ○ブックスタート事業 ○袋井市文化財保存活用地域計画推進事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

取組 3 共生社会の確立

多文化共生意識や人権意識等の向上を図るとともに、多様性を尊重し、それぞれの個性・能力が十分に発揮できるまちの実現を目指す取組	満足度					重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	高い	やや高い	やや低い	低い	わからない
【主な事業】 ○男女共同参画参画プラン推進事業（講演会等） ○国際交流推進事業（イベント開催等） ○多文化共生推進事業（日本語教室・外国人相談窓口の設置） ○生活保護事業 ○生活困窮者自立支援事業 ○家庭児童相談事業	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0

◇ お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

ご記入が終わりましたら・・・

ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、
6月5日(金)までにポストへ投函してください。
 （切手の貼付や住所、氏名の記入は不要です）

令和 8 年度
袋井市総合計画推進に係る市民意識調査
調査結果報告書

令和 8 年 8 月
発行／袋井市企画部総合政策課企画調整係
〒437-8666 袋井市新屋一丁目 1 番地の 1
電 話：0538-44-3105
F A X：0538-44-3150